

MAX[®]

LETARI

テープワープロ[レタリ]
LM-2000

取扱説明書

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書はかならず保管してください。

📖 使って便利な索引付き! 動詞と名詞で
ダブルアクセス

はじめに

このたびは、マックステープワープロLM-2000「レタリ」をご購入いただき、まことにありがとうございました。

本機は、簡単な操作で高度なデザインラベルが作成できる、本格派タイプのテープワープロです。本書をよくお読みのうえ、オフィスで、お店で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

この装置は第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しくお使いください。

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、本機の取り扱いについては、下記の事項に特にご注意ください。よろしくお願い申し上げます。

- 本機は精密機械です。落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。



- テープカセットカバーをつかんで持ち上げないでください。カバーがはずれ本体が落下することがあります。
- 寒い屋外から暖房のきいた室内に持ち込んだときなど、急激な温度変化により、本体内部が結露（けつろ）することがあります。このときは室内に30分以上放置して、露がとれたことを確かめてから使用してください。
- 次のような場所でのご使用や保管はおやめください。
 - ・ 直射日光の当たるところ
 - ・ ほこりの多いところ
 - ・ ストープやスチームなどの近くなど、極端に温度や湿度の高いところ
ご使用の目安となる温度・湿度は、それぞれ10-35℃、20-80%です。
 - ・ 振動の多いところ
 - ・ テレビやラジオ、ステレオなど強い磁界を発生するものの近く
 - ・ 水滴のかかるところ
- 重いものや水の入ったものを、本体の上へのせないでください。
- 分解は絶対におやめください。



- 本体内部にクリップなどの異物を入れないでください。また、ドライバーなどを突っ込んだりしないでください。
- テープをテープカセットから引き出さないでください。

- テープ出口からテープを絶対に引っ張らないでください。



- テープ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。
- プリンターヘッドは高温になります。絶対に手で触れないでください。やけどをすおそれがあります。
- 印字品質を確保するため、長時間連続でのプリントはおやめください。
- お手入れの際、シンナーやベンジンなどは使用しないでください。ケースの変形や変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、電池を抜いてから保管してください。電池が液漏れして故障の原因となることがあります。なお、電池を抜くと、本体内部に保存されているファイルなどはすべて消えますのでご了承ください。
- 保管するときや輸送するときは、テープカセットやオプションカートリッジを抜き、ご購入時の梱包箱をお使いください。

万一誤って水滴がかかったときや水が内部に入ってしまったとき、異物を内部に落としてしまったり取れないときは、至急、ご購入店またはお近くのマックスサービス（巻末を参照してください）に連絡してください。そのままご使用になると、故障の原因となるばかりではなく、身体上の危険が生じることがあります。

ご注意：

「レタリ」の内部ファイルに保存した文章や、別売のファイルカートリッジに保存した文章は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、当社では一切その責任を負いません。ご了承ください。

警告：

オプション品のファイルカートリッジには、リチウム電池が使われています。リチウム電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまったときは、すぐに下記へ連絡し、その指示を受けてください。

財団法人日本中毒情報センター（24時間受付）

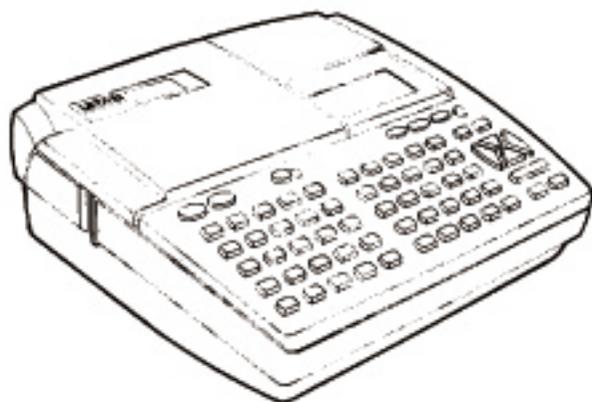
つくば中毒110番：0298-52-9999

大阪中毒110番：06-871-9999

付属品の確認

梱包箱の中に以下のものがそろっているか、確認してください。万一不足しているときは、ご購入店までご連絡ください。

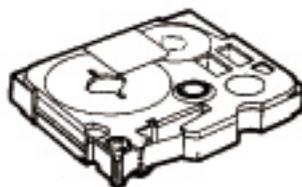
- LM-2000本体



- レタリングスティック
(本体底面にはめ込まれています)



- テープカセット
(タイプL・12mm幅・白テープ)



- 単2マンガン乾電池 (6本)
- 取扱説明書
- 保証書
- アンケートはがき

オプション品として次のものを用意しています。

- ACアダプタ：品番LM-ADBV
コンセントから電源をとるためのものです。
- ファイルカートリッジ：品番LM-MR500
内蔵ファイルの約7倍の容量があります。
- 書体カートリッジ：品番LM-F510
和文書体のゴシック体ほか、英文3書体が使えます。

お願い：

梱包箱は大切に保管し、長期間ご使用にならないときや運搬のときにお使いください。

環境保護のため、梱包箱の緩衝材には古紙再生紙を使用しています。

LM-2000の特長

- **様々な種類のテープが使えます**
汚れに強く、こすっても消えないラミネートテープ(タイプL)、お求めやすい価格のレセプタ(ノンラミネート)テープ(タイプR)、インスタント・レタリングができる転写テープ(タイプP)など用途に応じた多彩なテープが用意されています。
- **テープ幅以上の大きな文字がプリントできる**
文字の上下を分割してプリントすることで、テープ幅を超えた文字がプリントできます。文字の最大サイズはなんと、およそ24mm×48mm/(文字によってサイズは多少異なります)
- **誰でも簡単にデザインラベルが作れる「はやわざ」レイアウト**
「はやわざ」レイアウトを使えば、多彩なデザイン機能を使って作られたラベルが、文字を入力するだけで誰でも簡単に。しかも「はやわざ」レイアウトはオリジナルでも作ることができます。
- **基本は「文字が美しい」**
16、24、32、48ドット系のフォントデータでどのサイズの文字もきれいにプリントされます。大きな文字もスムージング機能でギザギザが目立ちません。
- **多彩な書体、多彩な絵文字・記号**
和文書体は明朝体、英文書体は3書体を標準内蔵しています。オプションの書体カートリッジをセットすると、内蔵書体に加えて和文書体はゴシック体、英文書体もさらに3書体、合計8書体が使えます。
楽しい絵文字や、実用的なシンボル記号もあわせて数多く内蔵されています。
- **簡単入力のかな五十音配列**
キーボードに不慣れな方にも簡単に文字入力ができるよう、マックスオリジナルの五十音かなキー配列になっています。
- **多彩なデザイン機能**
百聞は一見に如かず。次ページの『こんなラベルができる!』を参照してください。
- **用言対応の使いやすい辞書機能**
用言の変化に応じた熟語変換辞書を搭載しています。人名、地名も豊富で、学習機能、熟語登録機能で文字入力がさらに容易にできます。

こんなラベルができる!

「レタリ」で作ったラベルを、原寸で示します。お仕事に、私生活に、本格派テープワープロ「レタリ」をご活用ください。

プライスリストに

レタリミキセーター
¥25,000
☞ 特価 ¥9,800



目 整理

注目を集める大きな文字

備品管理に

品名	LAP TOP PCDX100
管理番号	A - 9 4 - 2 0 1
管理部署	業 務 管 理 部
社名	Advanced Computer

受付に

☺	内線を ご利用ください	☞	総経	理	部	:	2	3	0
			営	理	部	:	2	4	0
			海	業	部	:	2	6	0
			外	務	部	:	2	7	0

おしゃれなプレゼントに

📧 For Your Birthday 📧

郵便受けに

レタリ販売株式会社
〒103東京都中央区日本橋箱崎町55-5
TEL: 03-3000-0000 FAX: 5000-0000

公共のスペースでは



Smoking is not permitted here!

マナーを守りましょう



ファイルの背表紙に

顧客リスト

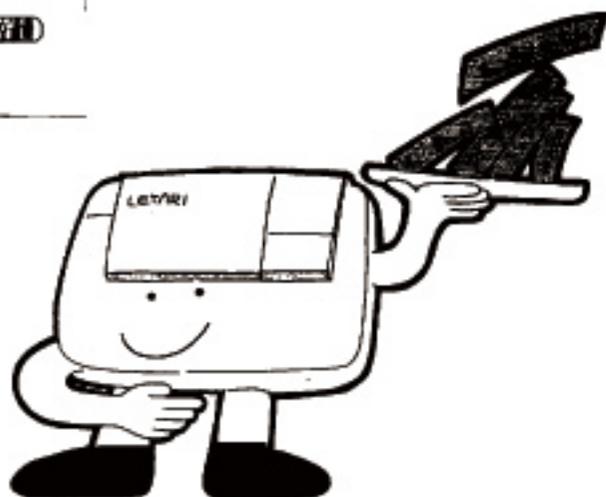


持出厳禁

ファイルのインデックスに

レタリ

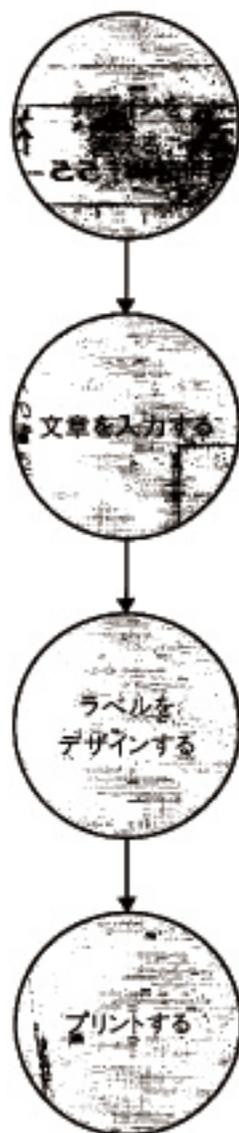
レタリ



ラベルの作りかた

ラベルの作りかたの流れを示します。

全体の流れの概要をつかんだら、それぞれの章を参照して、機能的でセンスあふれるラベルを作ってください。



ラベルを作るときは、まずどんなデザインのラベルにするか考えます。6ページの『こんなラベルができる!』や取扱説明書のあちこちに散りばめられたラベルのサンプルがお役に立ちます。

デザインを決めたら、文字や記号を入力します。「はやわざ」レイアウトを使うと、文字を入力するだけでデザインラベルが完成します。

参照：第2章『基本操作』

第3章『「はやわざ」すればカンタン・キレイ』

入力した文章を、多行組みにしたり、文字の大きさを変えたりなどして、ラベルをオリジナルでデザインします。ここがセンスの見せ所。

参照：第4章『ラベルをデザインする』

完成したラベルをプリントします。同じものを何枚もプリントしたり、テープ幅以上サイズでプリントしたりなどのプリントテクニックも多彩です。

参照：第2章『基本操作』

第5章『プリントテクニック』

本書の読みかた

● ディスプレイ表示

- ・ 操作手順の中で示されているディスプレイ表示は、その操作の結果を示しています。実際のディスプレイと照らし合わせながら操作を進めてください。
- ・ 本書上のディスプレイ表示は、12mm幅のテープカセットがセットされていることを原則としています。また、ご購入直後の状態を前提にして説明をすすめていますので、お客様のご使用状態によっては、本書で示されている表示と異なることがあります(設定を初期値に戻すときは、108ページを参照してください)。

● ラベルサンプル

例として記載しているラベルは、特に断りのない限り12mm幅テープを使っています。また、原則として原寸で表示しています。

● 索引の使いかた

「～するにはどうしたら?」「～って何?」などは、目次(全体目次と各章の扉目次)と索引を活用して、探してみてください。

本書の索引は下記の例のように、「何々を何々する」の目的語と動詞の両方から探せるようになっています。逆引きに便利です。

▼え

選ぶ

縦書き・横書きを	61
「はやわざ」レイアウトを	60

▼は

「はやわざ」レイアウト

イメージ表示	60
選ぶ	60

● テクニックヒント

見栄えのするラベルを作るためのデザインテクニックなどを記載しています。

● 便利

「レタリ」をさらに便利に使うためのヒントや機能を紹介しています。

目次

ご使用上の注意	2
付属品の確認	4
LM-2000の特長	5
こんなラベルができる!	6
ラベルの作りかた	8
本書の読みかた	9
目次	10

■ 第1章 お使いになる前に

本体各部の名前とはたらき	14
キーボード各部の名前とはたらき	16
ディスプレイの見かた	18
乾電池の入れかた	20
ACアダプタ(オプション品)の使いかた	21
テープカセットの種類と入れかた	22
ファイルカートリッジ(オプション品)の入れかた	24
書体カートリッジ(オプション品)の入れかた	26
電源のON/OFF	27
テープ送りのしかた	28

■ 第2章 基本操作—文章を入力してプリントする

文字の入力方法を選ぶ	30
ひらがなを入力する	31
カタカナを入力する	34
漢字を入力する	35
英数字を入力する	40
キーボード上の記号を入力する	41
絵文字や記号を入力する	42
文章を修正する	44
全文章を消去する	47
プリントイメージを表示する	48
プリントする	49
レタリングスティックの使いかた	51

■ 第3章 「はやわざ」すればカンタン・キレイ

どんなラベルが「はやわざ」できる?	54
「はやわざ」を使ってみよう	60
「はやわざ」操作の流れ	64

■ 第4章 ラベルをデザインする	
ラベルをデザインする前に	66
文字の大きさを変える(行単位の設定)	67
文字を装飾する(行単位の設定)	71
書体を変える(行単位の設定)	74
多行組みのラベルを作る	77
多ブロックのラベルを作る	81
行をバランス良くレイアウト(行単位の設定)	85
縦書きにする(行単位・ラベル全体の設定)	89
行を枠で囲む・下線を引く(行単位の設定)	92
ラベル全体では枠囲みいろいろ(ラベル全体の設定)	94
決まった長さのラベルを作る(ラベル全体の設定)	96
その他のラベル全体の設定	105
ラベルデザイン機能のまとめ	107
■ 第5章 プリントテクニック	
同じラベルを何枚も	110
連番をつけてプリントする	111
カットポーズなしで連続プリント	113
テープ幅より大きな文字をプリント	114
■ 第6章 応用操作	
文章をファイル(保存)する	118
「はやわざ」を駆使する	123
熟語を登録する・呼び出す	126
外字を登録する・呼び出す	129
バーコードを作る	139
■ 付録	
エラーメッセージが表示されたときは	144
こんなときは?	148
お手入れのしかた	150
アフターサービスについて	151
ローマ字入力規則表	152
絵文字・記号一覧表	154
区点コード一覧表	156
主な仕様	169
■ 索引	170

第1章

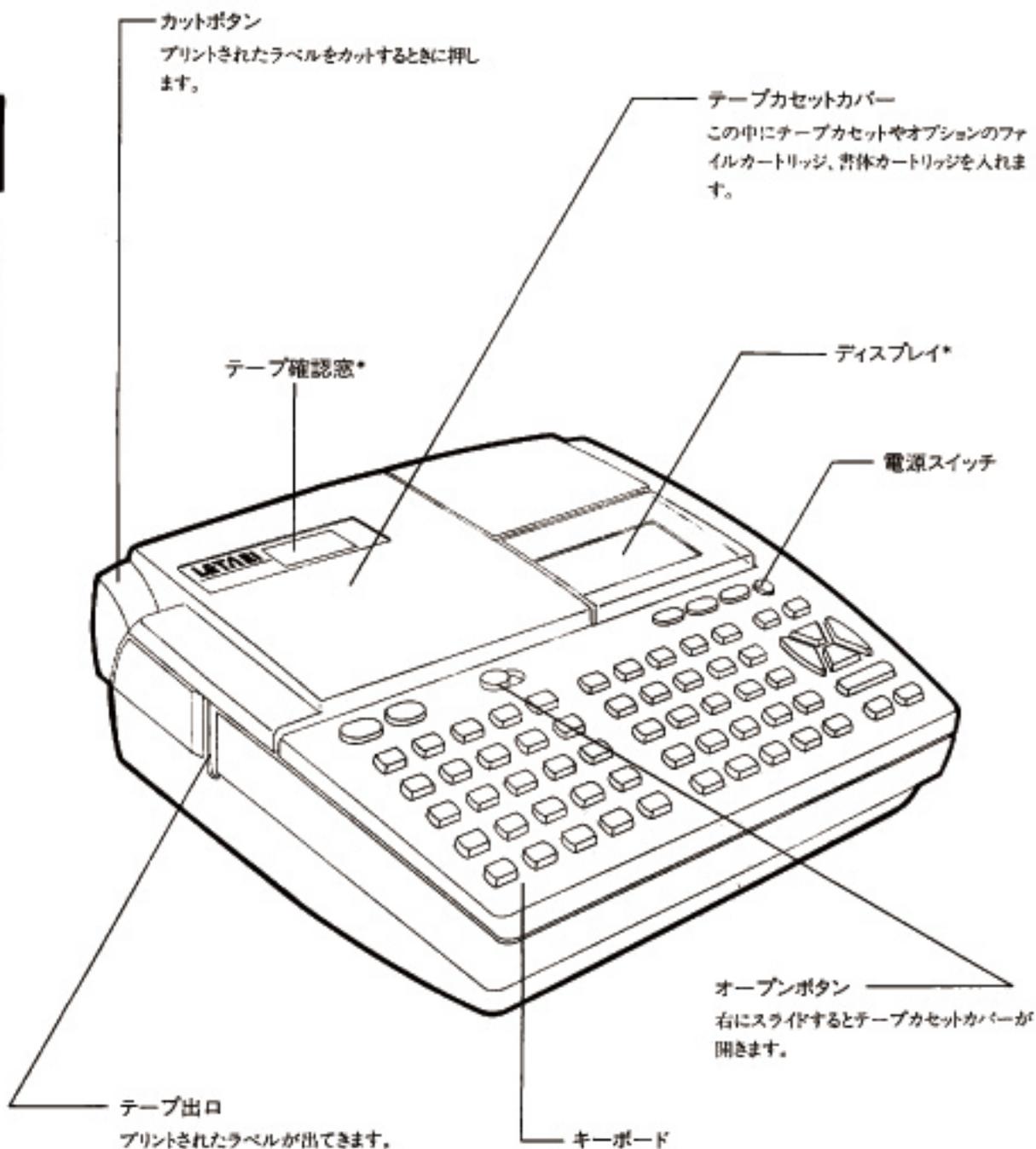
お使いになる前に

ここでは、ご使用上の注意のほか、ご使用になる前の準備などについて説明します。よく読んで正しくお使いください。

本体各部の名前とはたらき	14
キーボード各部の名前とはたらき	16
ディスプレイの見かた	18
乾電池の入れかた	20
ACアダプタの使いかた	21
テープカセットの種類と入れかた	22
フイルカードリッジの入れかた	24
フイルカードリッジの電池の交換	25
書体カードリッジの入れかた	26
電源のON/OFF	27
テープ送りのしかた	28

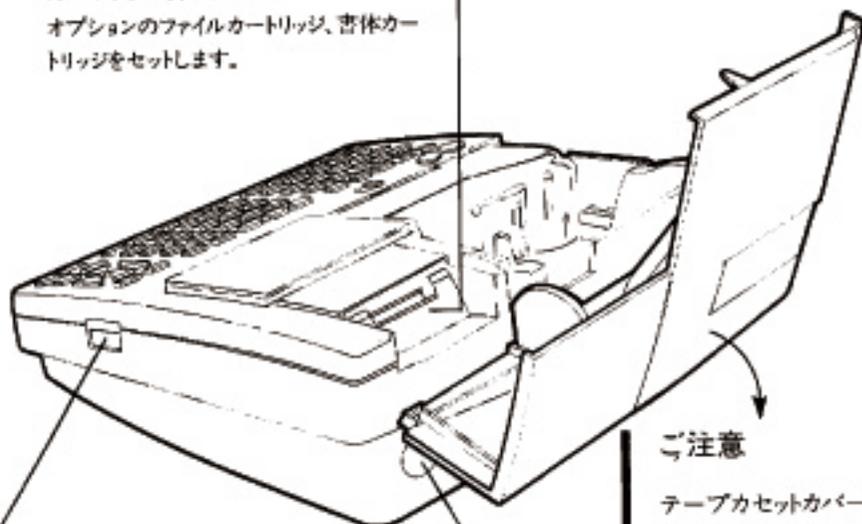


本体各部の名前とはたらき



*印の箇所には、ご購入時には透明の保護シールが貼られています。
手ではがしてからお使いください。

カートリッジ挿入スロット
オプションのファイルカートリッジ、書体カートリッジをセットします。



ご注意

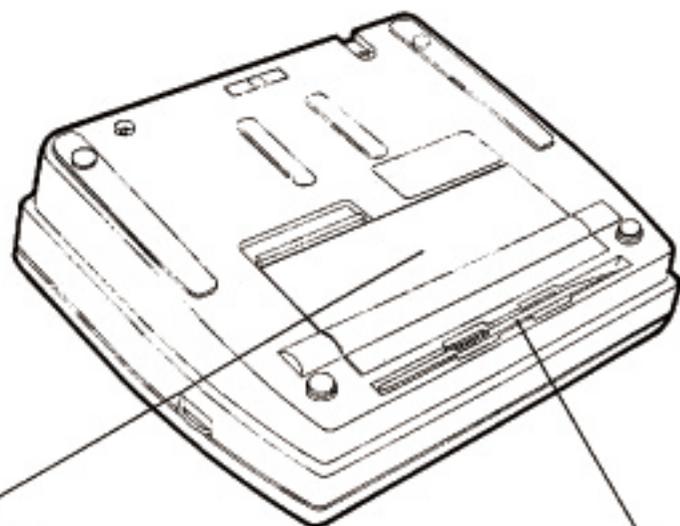
テープカセットカバーは強く開くとはずれるようになっています。テープカセットカバーをつかんで持ち上げないでください。

画面濃度調整つまみ

矢印方向にまわすと、ディスプレイの濃度が薄くなります。適切な濃度でお使いください。

ACアダプタ用端子

専用アダプタのプラグを差し込みます。



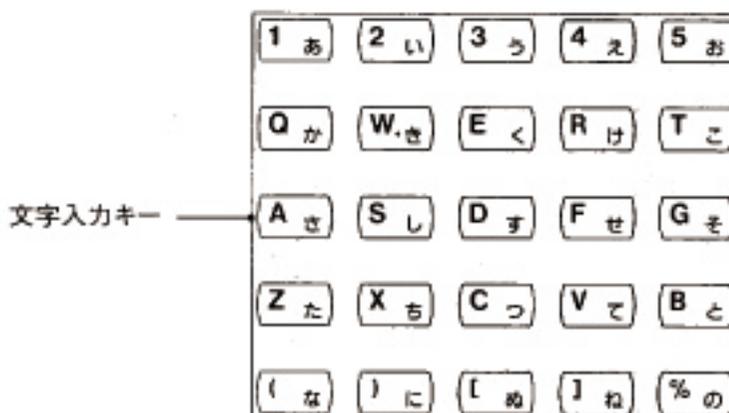
電池カバー

この中に電池を入れます。

レタリングスティック

ラベルの裏紙をはがしたり、転写テープで転写するときに使用します。

キーボード各部の名前とはたらき



はやわざキー

「はやわざ」をはじめるとき、終了するときに押します。

プリントキー

ラベルをプリントするときに押します。

文字入力キー

キーは、アルファベットはJIS配列準拠、かなは左上から50音順に配列されています。

キーボードに黄色で刻印されている記号類は、黄色の  キーを使うと入力できます。

紫色で刻印されている文字は、紫色の  キーと組み合わせて使う機能名を表しています。

機能キー

キーボード上に紫色で刻印されている各機能を使うときに押します。

小文字キー

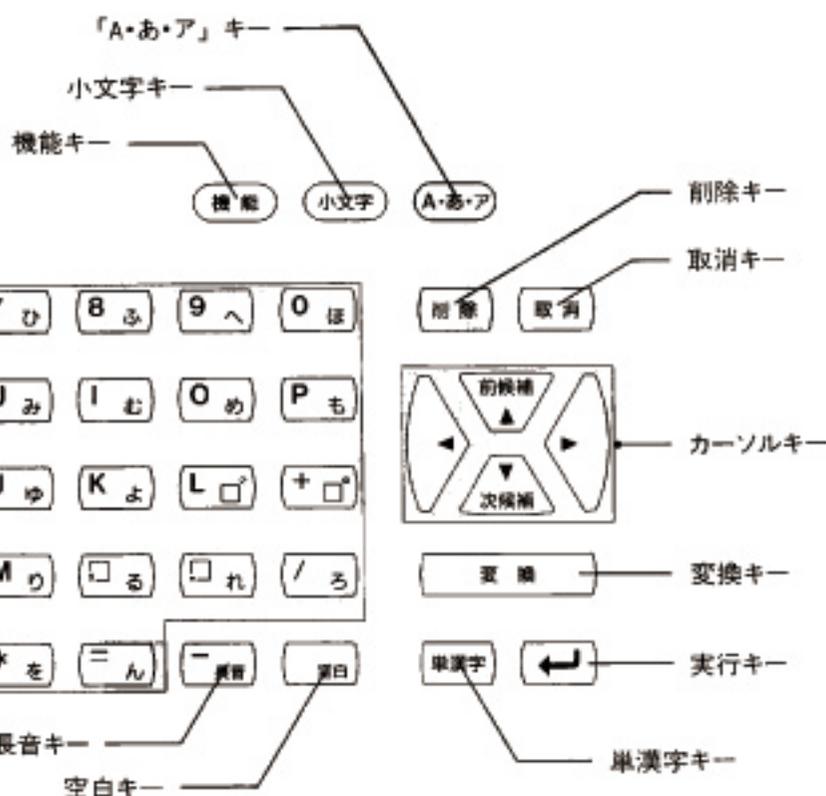
小文字や、キーボード上に黄色で刻印されている記号類を入力するときに使います。

「A・あ・ア」キー

英数入力と日本語入力を切り替えます。

 と組み合わせると、日本語入力の「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えます。

テキスト入力モードで、画面上に反転表示の未確定文字があるときは、カタカナに変換します。

**削除キー**

文字を削除します。

取消キー

多くの操作は、「取消」を押すとその操作を取り消して、一つ前の画面に戻ることができます。操作を間違えても安心です。

カーソルキー

カーソルを矢印方向に移動します。

◀ ▶ ▲ ▼ は漢字変換のとき前候補、次候補を表示します。

書式を設定するとき、項目や設定値の選択に使用します。

変換キー

漢字（熟語）を変換するときなどに押します。

単漢字キー

漢字 1 字を変換するときなどに押します。

実行(Enter)キー

テキスト入力モードで、反転表示の文字があるときは、その入力を確定します。

テキスト入力モードで、反転文字がないときは改行します。

各項目を選択しているときは、選択した項目を設定します。

空白キー

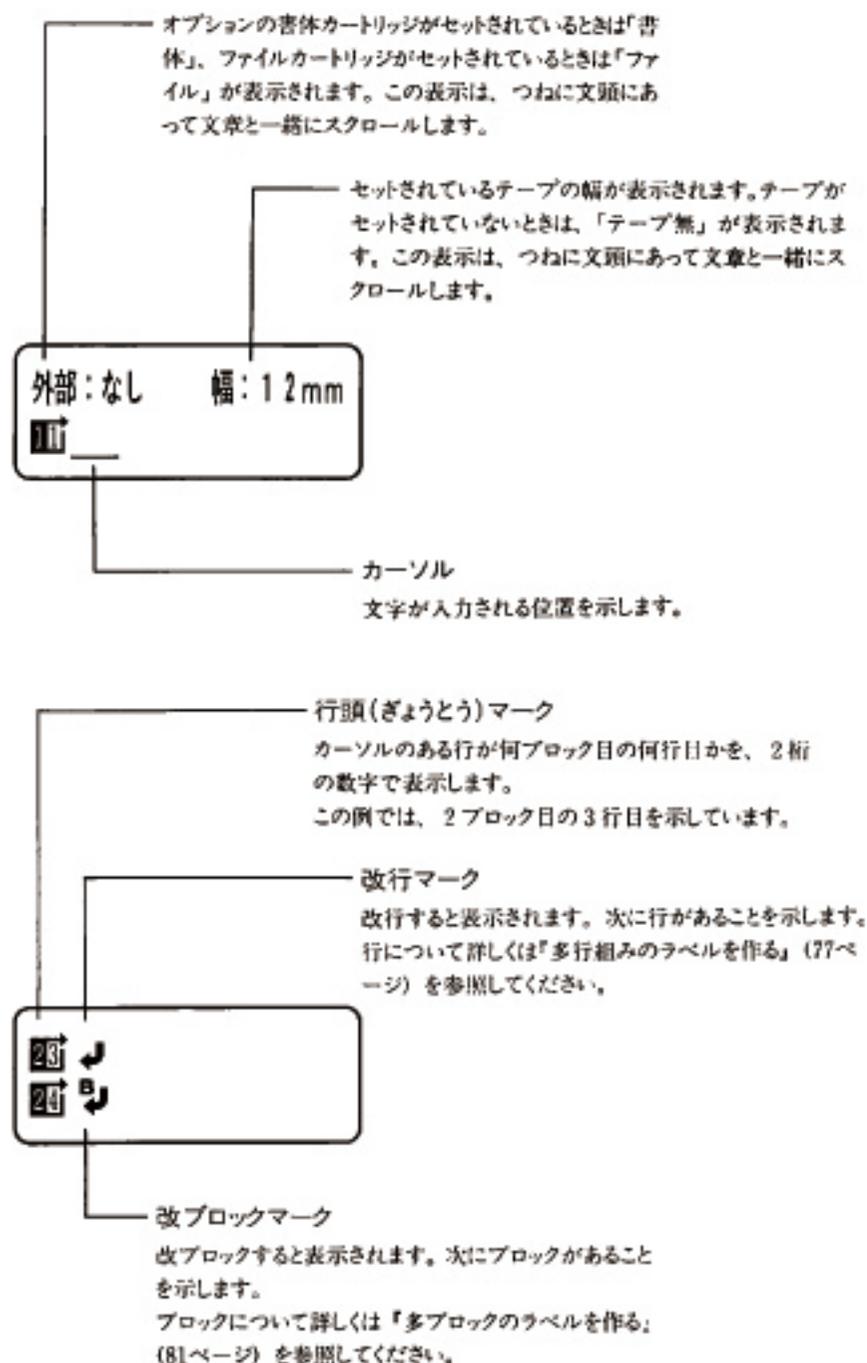
スペースを入力するときなどに使用します。

長音キー

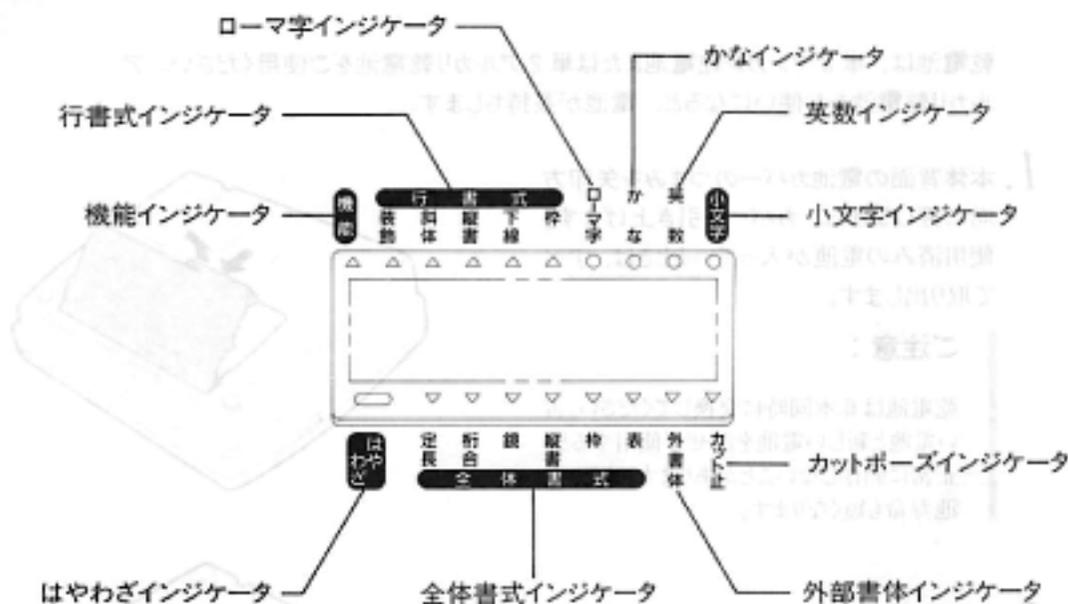
日本語入力の場合は、長音を入力します。

英数入力の場合は、ハイフンを入力します。

ディスプレイの見かた



● インジケータ



機能インジケータ

機能を押すと点灯します。点灯しているときに、キーボード上に紫色で刻印された各機能のキーを押すと、それぞれの機能設定をはじめることができます。

行書式インジケータ

カーソルのある行に行書式が設定されていると、それぞれ対応したインジケータが点灯します。

ローマ字インジケータ

日本語入力に「ローマ字入力」を選択しているとき点灯します。

かなインジケータ

日本語入力に「かな入力」を選択しているとき点灯します。

英数インジケータ

英数入力状態になっているとき点灯します。

小文字インジケータ

小文字を押すと点灯します。英数入力の際はもう一度小文字を押すまで点灯しています。日本語入力の際は、小文字を一文入力すると、または小文字に無効なキーを押すと自動的に消灯します。

カットポーズインジケータ

ラベルの左右の余白の大きさを等しくする、カットポーズ機能が設定されているとき点灯します。

外部書体インジケータ

カーソルのある行に、オプションの書体カートリッジの書体が設定されているとき点灯します。

全体書式インジケータ

全体書式を設定すると、それぞれ対応したインジケータが点灯します。全文消去すると、全体書式は初期値に戻ります。

はやわざインジケータ

「はやわざ」モードに入ると点灯します。

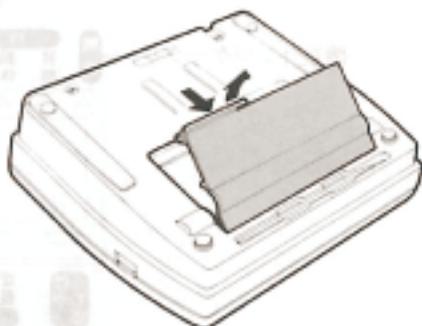
乾電池の入れかた

乾電池は、単2 マンガン乾電池または単2 アルカリ乾電池をご使用ください。アルカリ乾電池をお使いになると、電池が長持ちします。

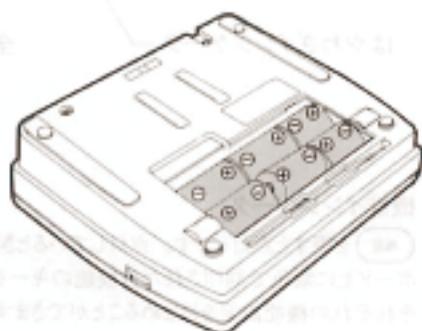
1. 本体背面の電池カバーのつまみを矢印方向に押しながら、カバーを引き上げます。使用済みの電池が入っているときは、すべて取り出します。

ご注意：

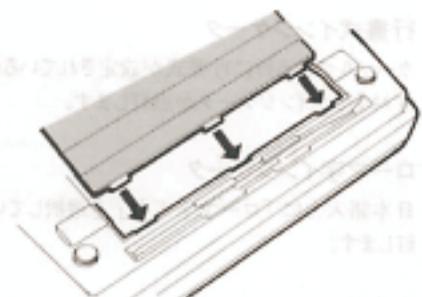
乾電池は6本同時に交換してください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると、正常に動作しないことがあります。また、電池寿命も短くなります。



2. ケース底面に表示されている電池の「+」「-」の方向を確認して、正しい向きで電池を入れます。



3. 図のように、電池カバーの3本のフックを本体にあわせ、パチッと音がするまで押し込みます。



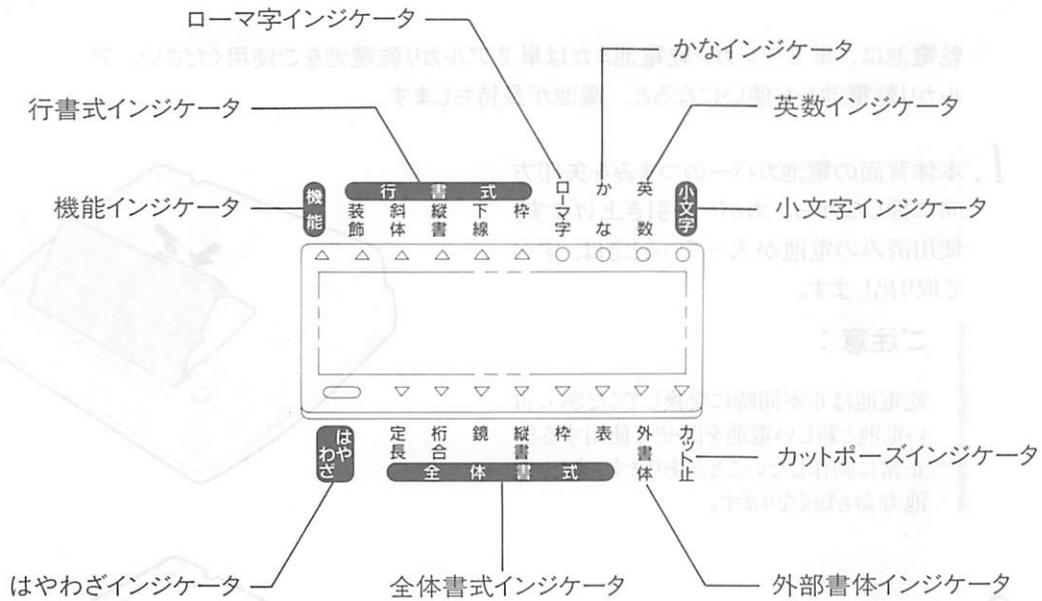
ご注意：

- ・ディスプレイに「電池弱」が表示されたら、できるだけ早く乾電池を交換してください。そのままでもしばらくは動作しますが、プリント途中で電源がOFFになることがあります。
- ・寿命となった乾電池は、環境保護のため各自治体の条例などに従って廃棄してください。

警告：

乾電池の交換は3分以内を目安に手早くおこなってください。電池を抜いたままにしておくと、本体内部に保存されているファイルなどが消えてしまいます。

● インジケータ



機能インジケータ

機能を押すと点灯します。点灯しているときに、キーボード上に紫色で刻印された各機能のキーを押すと、それぞれの機能設定をはじめることができます。

行書式インジケータ

カーソルのある行に行書式が設定されていると、それぞれ対応したインジケータが点灯します。

ローマ字インジケータ

日本語入力に「ローマ字入力」を選択しているとき点灯します。

かなインジケータ

日本語入力に「かな入力」を選択しているとき点灯します。

英数インジケータ

英数入力状態になっているとき点灯します。

小文字インジケータ

小文字を押すと点灯します。英数入力の際にはもう一度小文字を押すまで点灯しています。日本語入力の際には、小文字を一文字入力すると、または小文字に無効なキーを押すと自動的に消灯します。

カットポーズインジケータ

ラベルの左右の余白の大きさを等しくする、カットポーズ機能が設定されているとき点灯します。

外部書体インジケータ

カーソルのある行に、オプションの書体カートリッジの書体が設定されていると点灯します。

全体書式インジケータ

全体書式を設定すると、それぞれ対応したインジケータが点灯します。全文消去すると、全体書式は初期値に戻ります。

はやわぎインジケータ

「はやわぎ」モードに入ると点灯します。

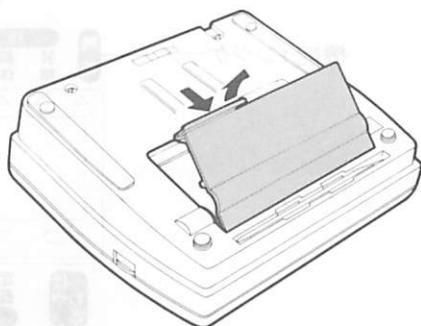
乾電池の入れかた

乾電池は、単2 マンガン乾電池または単2 アルカリ乾電池をご使用ください。アルカリ乾電池をお使いになると、電池が長持ちします。

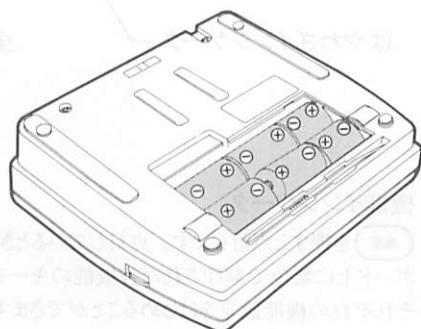
1. 本体背面の電池カバーのつまみを矢印方向に押しながら、カバーを引き上げます。使用済みの電池が入っているときは、すべて取り出します。

ご注意：

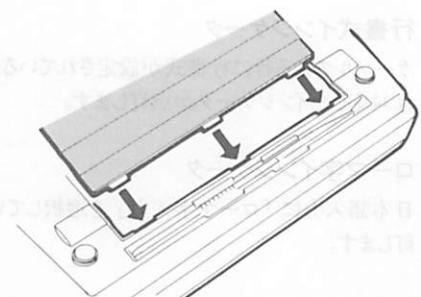
乾電池は6本同時に交換してください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると、正常に動作しないことがあります。また、電池寿命も短くなります。



2. ケース底面に表示されている電池の「+」「-」の方向を確認して、正しい向きで電池を入れます。



3. 図のように、電池カバーの3本のフックを本体にあわせ、パチッと音がするまで押し込みます。



ご注意：

- ・ディスプレイに「電池弱!」が表示されたら、できるだけ早く乾電池を交換してください。そのままでもしばらくは動作しますが、プリント途中で電源がOFFになることがあります。
- ・寿命となった乾電池は、環境保護のため各自自治体の条例などに従って廃棄してください。

警告：

乾電池の交換は3分以内を目安に手早くおこなってください。電池を抜いたままにしておくと、本体内部に保存されているファイルなどが消えてしまいます。

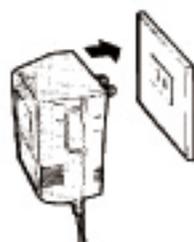
ACアダプタ(オプション品)の使いかた

オプションのACアダプタをお使いになると、コンセントから電源をとることができます。

1. ACアダプタのプラグを、本体のACアダプタ用端子に差し込みます。



2. ACアダプタをコンセントに差し込みます。



ご注意：

バーコードや拡大文字を連続してプリントすると、電池の消耗が激しくなります。ACアダプタでのご使用をおすすめします。

警告：

- ・ ACアダプタは必ず「レタリ」専用のACアダプタ（品番：LM-AD8V）をお使いください。
- ・ 電源は必ず一般家庭用電源（AC100V）をお使いください。
- ・ ACアダプタは屋外では使用しないでください。
- ・ テレビやラジオなどとは別の電源コンセントをお使いください。
- ・ ACアダプタをお使いになるときも、本体内部に保存されているファイルや学習機能などを保護するため、乾電池は入れておいてください。
- ・ ACアダプタのプラグを本体に差し込んだまま、ACアダプタをコンセントから抜いて10分以上放置しないでください。乾電池が入っていても本体内部に保存されているファイルなどが消えてしまいます。
- ・ ACアダプタを接続しACアダプタがコンセントに差し込まれていても、電源をOFFにしたまま10分以上放置すると、上記と同様本体内部のファイルなどが消えてしまいます。ご使用後はすぐにACアダプタのプラグを抜いてください。

テープカセットの種類と入れかた

「レタリ」の大きな特長の一つに、使用できるテープの種類が多いことがあげられます。汚れに強く、こすっても消えないラミネートテープ(タイプL)、お求めやすい価格のレセプタ(ノンラミネート)テープ(タイプR)、インスタント・レタリングができる転写テープ(タイプP)など、用途に合わせてお使いください。

参考：

ご利用いただけるテープの種類について詳しくは、ご購入店などにお問い合わせください。

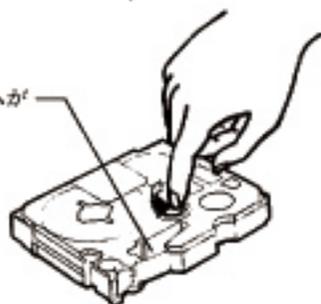
1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

ご注意：

電源がONのときにカバーを開けると、自動的に電源がOFFになります。テープカセットを入れたあと、カバーを閉じて再度電源をONにしてください。

2. 図のように指で2～3回まわして、インクリボンのたるみをとります。

内側の薄いフィルムが
インクリボン



3. テープカセットの透明な面を上にして、パチッと音がするまでまっすぐにはめ込みます。

ご注意：

テープカセットが奥までしっかりはめ込まれていることを確認してください。しっかりセットされていないと、正しくプリントされません。

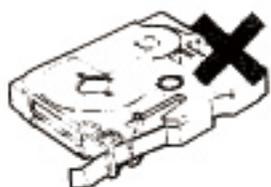


4. テープカセットカバーを閉じます。
パチッと音がすることを確認してください。

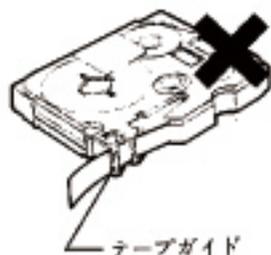
5. テープのたるみをとるため、28ページの手順に従ってテープ送りをしてください。

● テープカセットのご使用上の注意

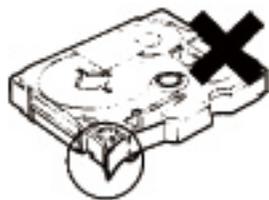
- ・テープは絶対に手で引き出さないでください。
- ・テープカセットは分解しないでください。
- ・テープカセットは使い捨てです。ゼブラパターン（縞模様）のテープが出てきたら、燃えないゴミとして処分してください。
- ・テープカセットを本体にセットするときは、テープの先端が折れ曲がっていないことを確認してください。



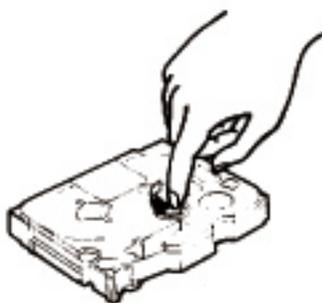
- ・テープがテープガイドから出過ぎているときは、はさみなどで出過ぎたテープをカットしてください。このときテープは絶対に引っ張らないでください。一度引き出したテープは巻き戻して使用できません。



- ・テープがテープガイドからはずれているときは、テープの先端をガイドに通してください。このとき、テープは絶対に引っ張らないでください。



- ・インクリボンがたるんでいるときは、図のように指で矢印方向に回して、たるみをとってください。インクリボンがたるんだままテープカセットをセットすると、テープカセットの破損や本体の故障の原因となります。



ファイルカートリッジ(オプション品)の入れかた

オプションのファイルカートリッジは内蔵ファイルの約7倍の容量があります。ファイルについて詳しくは、「文章をファイル(保存)する」(118ページ)を参照してください。

参考：

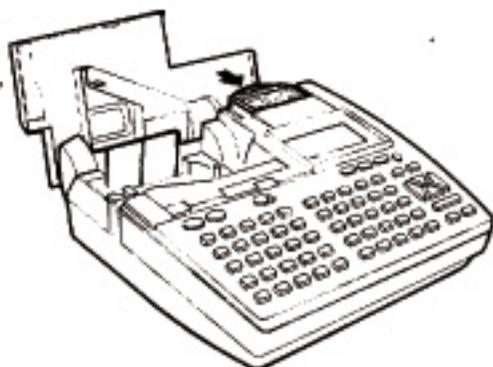
ファイルカートリッジは、書体カートリッジと同時にセットできません。

1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

ご注意：

電源がONのときにカバーを開けると、自動的に電源がOFFになります。ファイルカートリッジを入れたあと、カバーを閉じて再度電源をONにしてください。

2. ファイルカートリッジの切り込みのある方を手前にして置き、矢印方向に押し込みます。

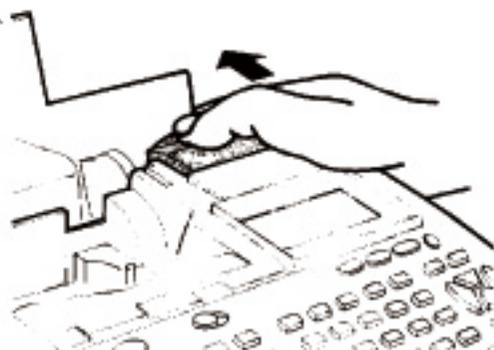


3. テープカセットカバーを閉じます。
パチッと音がすることを確認してください。

● ファイルカートリッジのはずしかた

1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

2. ファイルカートリッジの耳の部分に指をかけ、矢印方向へ引き出します。



■ ファイルカートリッジの電池の交換

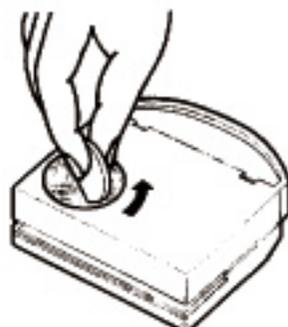
ファイルカートリッジに保存されているファイルは、内蔵のリチウム電池でメモリが保持されています。電池がなくなるとファイルが消えてしまいますので、電池がなくなる前に交換してください。電池交換の目安はご購入後およそ1年です。なお、交換用のリチウム電池は、品番「CR1616」をご購入ください。

ご注意：

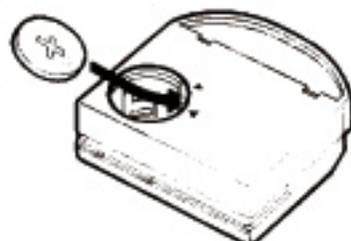
- ・電池の交換は3分以内を目安に手早くおこなってください。
- ・寿命となった電池は、環境保護のため各自自治体の条例などに従って廃棄してください。

1. ファイルカートリッジの裏面のバッテリーカバーを、コインなどで反時計まわりに約45°回してカバーをはずします。

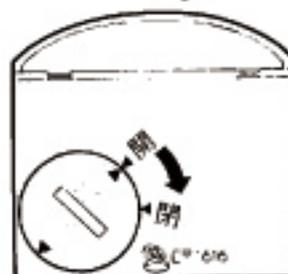
古くなった電池を取り出します。



2. 交換用のリチウム電池の「+」が見える面を上にして、図の方向から斜めに差し込みます。



3. 図のようにバッテリーカバーとファイルカートリッジの位置あわせマークをあわせ、カバーをコインなどで時計まわりに約45°回して固定します。



警告：

- ・リチウム電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまったときは、すぐに下記へ連絡し、その指示を受けてください。

財団法人日本中毒情報センター（24時間受付）

つくば中毒110番：0298-52-9999

大阪中毒110番：06-871-9999

- ・「レタリ」の内部ファイルに保存した文章や、別売のファイルカートリッジに保存した文章は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、当社では一切その責任を負いません。ご了承ください。

書体カートリッジ(オプション品)の入れかた

オプションの書体カートリッジをお使いになると、内蔵の4書体に加え、和文のゴシック体と英数3書体の計8書体が使えます。書体について詳しくは、「書体を変える」(74ページ)を参照してください。

参考：

書体カートリッジは、ファイルカートリッジと同時にセットできません。

1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

ご注意：

電源がONのときにカバーを開けると、自動的に電源がOFFになります。書体カートリッジを入れたあと、カバーを閉じて再度電源をONにしてください。

2. 書体カートリッジの切り込みのある方を手前にして置き、矢印方向に押し込みます。

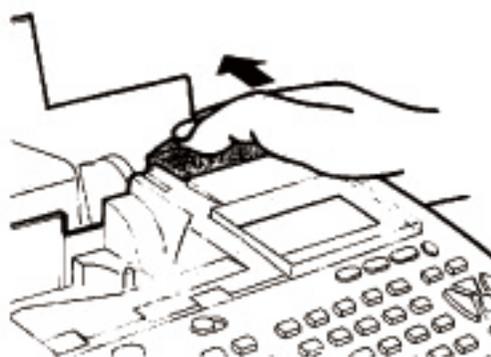


3. テープカセットカバーを閉じます。
パチッと音がすることを確認してください。

● 書体カートリッジのはずしかた

1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

2. 書体カートリッジの耳の部分に指をかけ、矢印方向へ引き出します。



書体カートリッジ(オプション品)の入れかた

オプションの書体カートリッジをお使いになると、内蔵の4書体に加え、和文のゴシック体と英数3書体の計8書体が使えます。書体について詳しくは、「書体を変える」(74ページ)を参照してください。

参考：

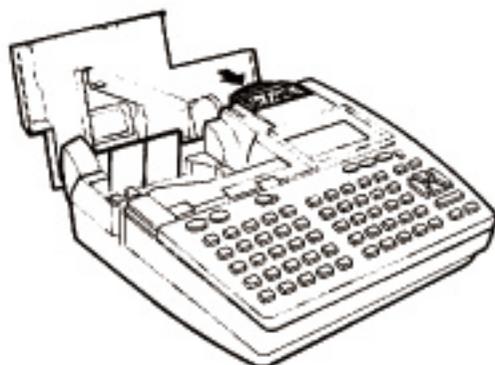
書体カートリッジは、ファイルカートリッジと同時にセットできません。

1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

ご注意：

電源がONのときにカバーを開けると、自動的に電源がOFFになります。書体カートリッジを入れたあと、カバーを閉じて再度電源をONにしてください。

2. 書体カートリッジの切り込みのある方を手前にして置き、矢印方向に押し込みます。

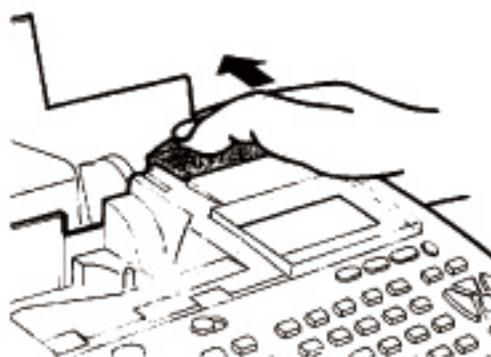


3. テープカセットカバーを閉じます。
パチッと音がすることを確認してください。

● 書体カートリッジのはずしかた

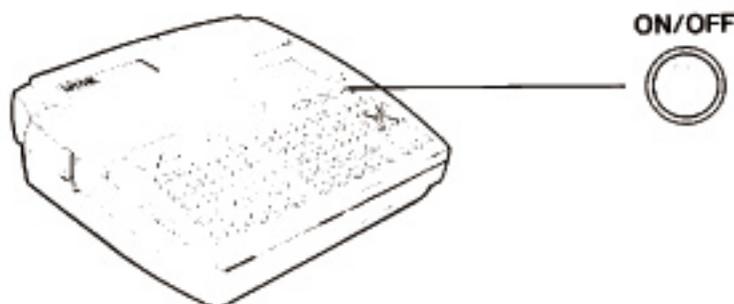
1. オープンスイッチを右にスライドして、テープカセットカバーを開けます。

2. 書体カートリッジの耳の部分に指をかけ、矢印方向へ引き出します。



電源のON/OFF

電源スイッチを押すと、電源がONに、もう一度押すとOFFになります。文章を入力し確定したあと電源をOFFにしても、再度電源をONにしたとき、文章は消えずにそのまま表示されます。



ご注意：

電源がONのときにテープカセットカバーを開けると、自動的に電源がOFFになります。このときはカバーを閉め、もう一度電源スイッチを押してください。

● オートパワーオフ

電源がONのままでおよそ5分間何も操作をしないと、乾電池の消耗を防ぐため、電源が自動的にOFFになります。このとき電源スイッチを押すと電源ONになり、もとの画面はそのまま表示されます。

警告：

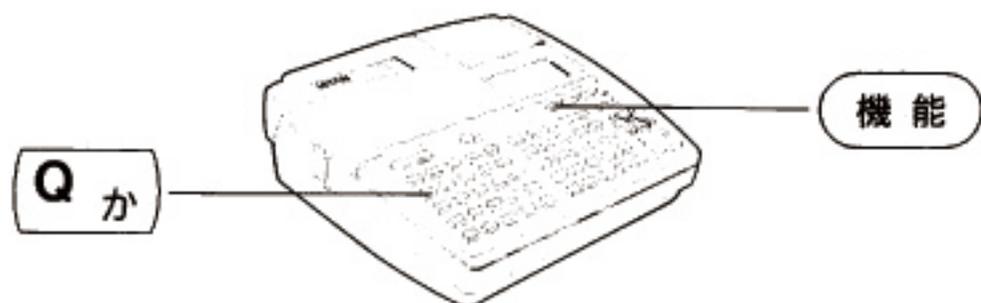
ACアダプタを接続しているときは、ACアダプタがコンセントに差し込まれていても、電源がOFFになって10分以上経過すると、本体内部のファイルなどが消えてしまいます。ご使用後はすぐにACアダプタのプラグを抜いてください。

テープ送りのしかた

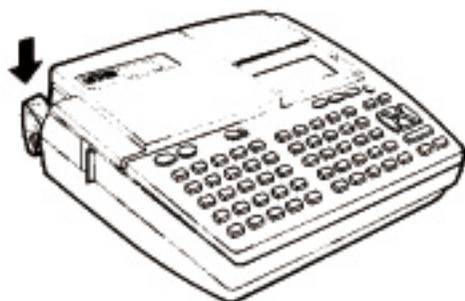
テープカセットを交換したときは、テープのたるみをとるため、必ずテープ送りをしてください。

1. テープをセットしたあと、電源をONにします。

2.  を押して、 を押します。



3. 自動的にテープが送られ、テープ出口からテープが出てきます。
テープが止まったら、カットボタンをしっかりと押し、テープをカットしてください。



ご注意：

- ・テープ出口からテープを絶対に引っ張り出さないでください。
- ・テープ送り中は、カットボタンを押さないでください。カットボタンを押すとテープ送りが中断され、正しくテープ送りができません。

第2章

基本操作

文章を入力してプリントする

この章では、文字入力のしかた、修正のしかた、プリントのしかたなど、ラベルを作るときの基本操作について説明します。

文字の入力方法を選ぶ	30
ひらがなを入力する	
かな入力では	31
ローマ字入力では	33
カタカナを入力する	34
漢字を入力する	
かな で変換する	35
かな で変換する	36
かな漢字混じりを入力する	37
うまく変換できないときは	38
読めない漢字を入力する	39
英数字を入力する	40
キーボード上の記号を入力する	41
絵文字や記号を入力する	42
文章を修正する	
カーソルキーの使いかた	44
文字を削除する	45
文字を挿入する	46
全文章を消去する	47
プリントイメージを表示する	48
プリントする	49
プリント結果は	50
レタリングスティックの使いかた	51



LETARI

文字の入力方法を選ぶ

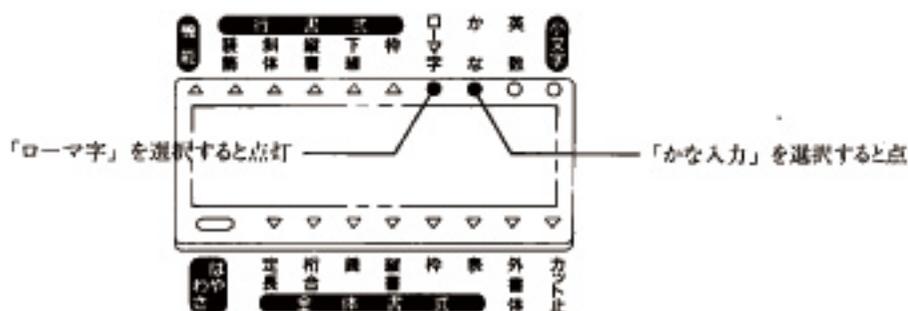
ご購入直後は、ひらがなや漢字などが「ローマ字入力」で入力できるようになっています。日本語を「かな入力」で入力するときは、文字の入力方法を切り替えます。

キーボードにあまりなじみのない方へは、キートップに表示されている文字がそのまま入力される「かな入力」をおすすめします。「レタリ」では、キーが50音順に配列されていますので、入力したい文字を簡単に探すことができます。

「かな入力」に切り替えるには(英数)を押したあと、(かな)を押します。もう一度(英数)を押して(かな)を押すと「ローマ字入力」に戻ります。



選択されている文字の入力状態は、ディスプレイのインジケータで確認してください。



ひらがなを入力する

ひらがなを入力する方法を、「かな入力」と「ローマ字入力」それぞれについて説明します。ひらがなの入力は、このあとカタカナや漢字などを入力するときの基本となりますので、しっかりマスターしてください。

例：「ようこそ」と入力してみましょう。

■ かな入力では

1. **Ⓚ**・**Ⓝ**・**Ⓣ**・**ⓖ**を押します。

入力した文字が反転表示されます。反転表示の文字は、まだ入力が確定されていないこと(未確定文字)を表わしています。

外部：なし 幅：12mm


参考：

- ・キーを押し間違えたときは、**Ⓝ**を押すと入力した文字が消去されます。
- ・**Ⓝ**を押すと、反転表示されている文字がすべて消去されます。
- ・反転表示されている未確定の文字は、15文字まで入力できます。

2. 反転表示された文字を確認して、**Ⓜ**を押します。

反転表示された文字が「白地に黒」になり、入力した文字が確定します。

外部：なし 幅：12mm


参考：

入力して確定した文字を消すときは、「文字を削除する」(45ページ)または「全文章を消去する」(47ページ)を参照してください。

- 濁音や半濁音を入力するときは、濁音・半濁音にする文字を入力したあと、**Ⓛ**・**Ⓚ**を押します。

ご注意：

「ウ」のひらがなはありません。

便利：確定文字も濁音・半濁音に

文字を確定したあとでも、濁音・半濁音にすることができます。このときは、濁音・半濁音にしたい文字のすぐ後ろにカーソルを移動し、**Ⓛ**・**Ⓚ**を押します。

- 促音（小さな「っ」）や「ぁ」などのかな小文字を入力するときは、**かな**を押したあと、入力したい文字のキーを押します。

ご注意：

- ・「かな入力」では、かな小文字の「わ」や「っ」は入力できません。「ローマ字入力」に切り替えて入力するか、『絵文字や記号を入力する』（42ページ）を参照して、記号のジャンル「記述」から「わ」や「っ」を選択してください。
- ・小文字の「か」「け」のひらがなはありません。

- 句読点（「、」や「。」）を入力するときは、**かな**を押したあと、**ろ** **れ**を押します。
- 特殊なかなの入力
「ゐ」は「い」を入力し、「ゑ」は「え」を入力し、それぞれ**かな**を押して変換します。変換の方法について詳しくは、『漢字を入力する』（35ページ）を参照してください。

■ ローマ字入力では

ローマ字入力で「ようこそ」を入力してみます。

参考：

ローマ字のつづりについては、『ローマ字入力規則表』（152ページ）を参照してください。規則表にないつづりを入力しても、ディスプレイには何も表示されません。

1. ローマ字のつづりで **Y** **O** **U** **K** **O** **S** **U** **O** と押します。

入力した文字が反転表示されます。反転表示の文字は、まだ入力が確定されていないことを表わしています。

外部：なし 幅：12mm

☐ようこそ

参考：

- ・ キーを押し間違えたときは、**ESC** を押すと入力した文字が消去されます。
- ・ **ESC** を押すと、反転表示されている文字がすべて消去されます。
- ・ 反転表示されている未確定の文字は、15文字まで入力できます。

2. 反転表示された文字を確認して、**↵** を押します。

反転文字が「白地に黒」になり、入力した文字が確定します。

外部：なし 幅：12mm

☐ようこそ

参考：

入力して確定した文字を消すときは、『文字を削除する』（45ページ）または『全文章を消去する』（47ページ）を参照してください。

- 促音（小さな「っ」）を入力するときは、**N** **L** **X** 以外の子音のキーを続けて2回押したあと、母音のキーを押します。
- 「ぁ」や「わ」などのかな小文字を入力するときは、**L** を押したあと、入力したい文字のキーを押します。

ご注意：

小文字の「か」「ヶ」のひらがなはありません。

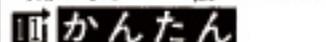
- 撥音（「ん」）を入力するときは、**N** を続けて2回押します。
- 句読点（「、」や「。」）を入力するときは、**、** を押したあと、**、** **。** を押します。ただし、未確定文字があるときは入力できません。
- 拗音（「きゃ」「きゅ」など）や「ゐ」「ゑ」などの特殊なかなの入力は、『ローマ字入力規則表』（152ページ）を参照してください。

カタカナを入力する

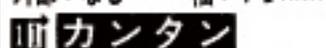
カタカナを入力するには、ひらがなを入力したあと、**カタ**を使ってカタカナに変換します。

例：「カンタン」を入力してみましょう。

1. 「ローマ字入力」「かな入力」いずれかで、「かんたん」と入力します。
入力した文字が反転表示されます。

外部：なし 幅：12mm


2. **カタ**を押します。
反転表示されている文字が、カタカナに変わります。

外部：なし 幅：12mm


参考：

もう一度**カタ**を押すと、ひらがなに変わります。

3. **確定**を押します。
反転表示された文字が「白地に黒」に変わり、入力した文字が確定します。

外部：なし 幅：12mm


● 特殊なカタカナの入力

「かな入力」のとき、「キ」は「い」を入力し、「エ」は「え」を入力し、それぞれ**カタ**を押して変換します。変換の方法について詳しくは、次ページ「漢字を入力する」を参照してください。

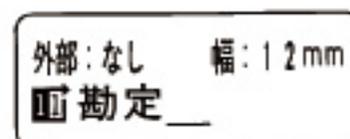
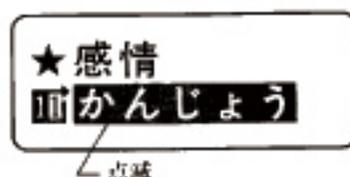
漢字を入力する

漢字を入力するには、その読みをひらがなで入力し、**変換** または **変換** を使って漢字に変換します。**変換** は熟語を変換するときに、**変換** は漢字・文字を変換するときに使います。読みの入力は、ローマ字入力、かな入力のどちらか使いやすい方をお使いください。

例：「勘定」を入力してみましょう。

■ **変換** で変換する

1. 「かんじょう」と入力します。
入力した文字が反転表示されます。
2. **変換** を押します。
上の行に変換候補の漢字が表示されます。下の行には、表示されている漢字の「読み」が点滅しています。
3. **変換** または **変換** を押して、入力したい漢字「勘定」を表示させます。
4. **変換** を押すと、入力が確定します。



● 学習機能について

「レタリ」には、一度変換された漢字を優先的に変換候補として表示する、学習機能があります。「かんじょう」ともう一度入力し、**変換** を押してみてください。今度は「勘定」が、最初の変換候補として表示されます。

■ **漢字** で変換する

「勘定」を **漢字** を使って変換してみます。

1. 「かんじょう」と入力します。
入力した文字が反転表示されます。
2. **漢字** を押します。
変換候補の漢字が6つ同時に表示されます。変換候補で表示されている漢字の読み「かん」が点滅します。
3. 変換したい漢字「勘」が候補として表示されていないので、**漢字** を押します。
次の変換候補が6つ表示されます。
4. **漢字** を押して「勘」を反転表示させます。
5. **確定** を押すと、「勘」の入力が確定します。
次の「じょう」は、未確定のままです。手順2以降と同様に、「定」に変換してください。

外部：なし 幅：12mm
かんじょう

★ **干刊甘缶完官**
かんじょう

点滅

★ **卷勘寒間感漢**
かんじょう

★ **卷勘寒間感漢**
かんじょう

外部：なし 幅：12mm
勘じょう

■ かな漢字混じりを入力する

漢字とかなの混じった文章は、一度に入力して、**変換**や**半角漢字**などを使い分けながらまとめて変換していくこともできます。ただし、一度に入力できる文字は15文字までです。

例：「ご自由にお使ください」を入力してみます。

参考：

変換や**半角漢字**などのキーを押し間違えたときは、**取消**を押してください。もとの画面に戻ります。

1. 「ごじゆうに」と入力します。

参考：

ディスプレイに表示しきれない文字（7文字以上）を入力すると、反転表示のまま、左にスクロールされていきます。

外部：なし 幅：12mm

☐ ごじゆうに

2. まず、最初の一文字「ご」だけをひらがなにしたいので、**半角漢字**を押します。

変換候補の先頭に、ひらがな「ご」が反転表示されています。

参考：

半角漢字を押してもひらがなが表示されないときは、表示されるまで何度か押してください。誤って押し過ぎたときは、さらに**半角漢字**を何度か押すとひらがなが表示されます。

★ ごゴ五互午伍

☐ ごじゆうに

3. **確定**を押すと、「ご」の入力が確定します。

「じゆうに」以下の文字は、反転表示（未確定文字）のままです。

外部：なし 幅：12mm

☐ ごじゆうに

4. 次は「自由」という熟語を変換したいので、**変換**を押します。

最初の変換候補に「自由」が表示されます。

★ 自由

☐ ごじゆうに

← 点滅

5. を押すと、「自由」の入力が確定します。「に」は反転表示（未確定）のままです。

外部：なし 幅：12mm
 ご自由 

6. 「に」は漢字に変換しないので、を押します。

外部：なし 幅：12mm
 ご自由に__

7. 「おつかいください」を入力し、同様にして確定させてください。

■ うまく変換できないときは

やを押すと、未確定文字の先頭から漢字にできる最も長い読みまで、を読みとして変換候補を表示します。例えば、「みかんりょう」と入力してを押すと、「レタリ」が一度に漢字に変換できる最も長い読み「みかん」、が最初の変換候補の読みとなり「蜜柑」が表示されます。これを最長一致変換機能と言います。この最長一致変換機能により、うまく変換候補が表示されないことがあります。このときは、読みの長さを変えて変換候補を表示させます。

例：「未完了」と入力してみましょう。

1. 「みかんりょう」と入力して、を押します。
 最長一致変換機能により、「蜜柑」が表示されます。「みかん」がその読みとして点滅しています。

★蜜柑
 みかんりょう

点滅

2. 読みの長さを短くしたいので、もう一度を押します。
 漢字に変換できる次に長い読み、「みか」を読みとする変換候補が表示されます。

★美佳
 みかんりょう

点滅

3. さらに読みを短くしたいので、もう一度 **変換** を押します。
「み」を読みとする変換候補が表示されます。

参考：

さらにもう一度 **変換** を押すと、手順1に戻ります。誤って **変換** を押し過ぎたは、変換したい読みの長さになるまで **点滅** を押してください。

★未
みかんりょう

点滅

4. **確定** を押すと、「未」の入力が確定します。

外部：なし 幅：12mm
未かんりょう

5. 未確定で残っている「かんりょう」は、**変換** を使って変換し、確定させてください。

■ 読めない漢字を入力する

読めない漢字を入力するときは、読みを入力して変換する代わりに、4桁の区点コードを入力して変換します。

それぞれの漢字の区点コードは、「区点コード一覧表」(156ページ)を参照してください。

例：「胃」を入力してみましょう。

1. 「胃」の区点コード「7084」を入力します。

ご注意：

「かな入力」をお使いの方は、次ページ「英数字を入力する」を参照して、英数入りに切り替えてください。

外部：なし 幅：12mm
7084

2. **変換** を押します。
「胃」が確定入力されます。

キーボード上の記号を入力する

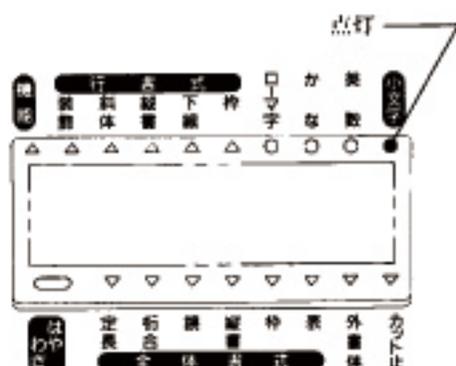
キートップに白い文字で表示されている「%」や「#」などの記号は、「ローマ字入力」または「英数入力」でその文字キーを押すと入力できます。キーボード上に黄色の文字で表示されている「!」や「¥」などの記号は、「かな入力」、「ローマ字入力」、「英数入力」いずれのときでも、**(Shift)**を使って入力します。

参考：

キーボードから直接入力できる記号も、次ページ「絵文字や記号を入力する」方法を使っても入力できます。

例：「¥」を入力してみましょう。

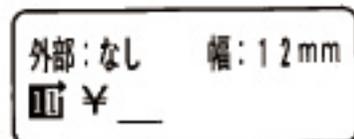
1. **(Shift)**を押します。
小文字インジケータが点灯します。



2. **(%)**を押します。
「¥」が確定入力されます。

参考：

「かな入力」「ローマ字入力」のときは、小文字インジケータが消えます。



絵文字や記号を入力する

「レタリ」には、楽しい絵文字や実用的な記号類が豊富に用意されています。「絵文字・記号一覧表」(154ページ)を参照して、より注目度の高いラベルを作ってください。

例：記号のジャンル「矢印」にある「」を入力してみましょう。

1. [記号] を押します。

記号のジャンルが6つ同時に表示されます。

参考：

入力したい絵文字や記号のジャンルが表示されていないときは、表示されるまで

を押してください。

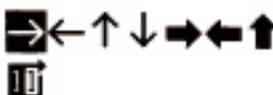
記述：省略：矢印
○△：丸囲：単位

2. を押して、「矢印」を反転表示させます。

記述：省略：矢印
○△：丸囲：単位

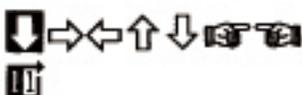
3. を押します。

入力の候補が7つ同時に表示されます。



4. 入力したい候補がないので、を押します。

次の入力候補が7つ表示されます。



5. を押して「」を反転表示させ、を押します。

「」が入力されます。

外部：なし 幅：12mm
 

参考：

記号の選択にも学習機能が働きます。選択された記号のジャンルと記号は、次に記号を入力するときの第一候補として表示されます。

便利：

- ・手順5で Ⓜ を押すかわりに Ⓜ を押して Ⓜ を押すと、続けて記号を入力することができます。
- ・各記号や絵文字の項目名の読み（下表）を入力して Ⓜ を押すと、ダイレクトで入力候補の記号などが表示されます。

項目名	読み	項目名	読み	項目名	読み
記述	んき	省略	んりゃく	矢印	んや
○△	んきご	丸開	んまる	単位	んたん
数字	んかず	上付	んうえ	下付	んした
表示	んひよ	仕事	んし	道具	んど
季節	んきせつ	天候	んてん	宇宙	んう
映画	んえい	音楽	んおん	娯楽	んご
飲食	んしょく	人物	んひと	生物	んいき
乗物	んのる	建物	んけん	ギリシャ	んぎ
ロシア	んろ	ヨーロッパ	んよ	数学	んがく
年号	んねん	星座	んほし	干支	んえと

文章を修正する

ここではいったん入力した文字の、削除と挿入のしかたを説明します。

「レタリ」は一般のワープロなどと違って、文字の移動はできません。文字を移動するときはいったん削除して、再度入力してください。ただし、移動する文字が3文字以内のときは、「復活」機能（次ページ参照）を使うと便利です。

■ カーソルキーの使いかた

カーソルは、カーソルキーを押すとその矢印の方向に移動します。文字がディスプレイに表示できる範囲を超えて入力されているときは、カーソルキーで画面はスクロールします。

 カーソルは入力されている文章の先頭まで、左に1文字ずつ移動します。を押してを押すと、カーソルは行の先頭にジャンプします。

 カーソルは入力されている文章の末尾まで、右に1文字ずつ移動します。を押してを押すと、カーソルはカーソルのある行の末尾にジャンプします。

 カーソルのある行が1ブロックの1行目のときは、カーソルはカーソルのある行の先頭にジャンプします。上に行があるときは、上の行にジャンプします。を押してを押すと、カーソルはカーソルのブロックの先頭にジャンプします。

 カーソルのある行が最終ブロックの最終行のときは、カーソルは行の末尾にジャンプします。下に行があるときは、下の行の同じ文字数のところへジャンプします。を押してを押すと、カーソルは次のブロックの先頭にジャンプします。次のブロックがないときは、カーソルのあるブロックの末尾にジャンプします。

ご注意：

未確定文字があるときは、カーソルは未確定文字の中でしか移動しません。

参考：

行については「多行組みのラベルを作る」(77ページ)、ブロックについては「多ブロックのラベルを作る」(81ページ)を参照してください。

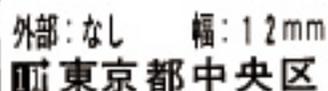
■ 文字を削除する

例：「東京都中央区」から「東京都」を削除します。

1. 削除する文字「東」の下にカーソルを移動します。

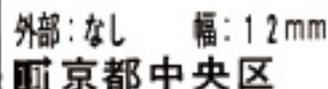
テクニックヒント：

複数の文字を削除するときは、削除する文字の先頭にカーソルを移動しておくと、楽に削除できます。

外部：なし 幅：12mm


2. を押します。

「東」が削除され、文章が1文字分左に詰まります。そのままを2回押すと、削除したい文字がすべて削除されます。

外部：なし 幅：12mm


ご注意：

カーソルの上に文字がないときにを押すと、カーソル位置の直前の文字が削除されます。ただし、カーソルが行頭にあつて、文字がカーソルの上にないときは、を押しても何も削除されません。

便利：削除した文字を復活させる

誤って文字を削除したときは、を押したあとを押してください。3文字まで復活することができます。ただし、未確定文字は削除すると復活しません。この復活機能を使って、3文字までの文字を移動することができます。まず、移動したい文字を削除し、移動したい位置にカーソルを移動して、を押したあとを押してください。削除した文字がカーソルの位置に挿入されます。

■ 文字を挿入する

「東京都中央区」の前に「〒103」を挿入します。

1. 文字を挿入したい位置「東」にカーソルを合わせます。

外部：なし 幅：12mm
〒 東京都中央区

2. 「〒103」を入力し、確定させます。

参考：

「〒」は記号のジャンル「仕事」の中にあります。

外部：なし 幅：12mm
〒103 東京

ご注意：

「レタリ」で入力できる文字数には制限があります。行数やブロック数が増えると入力できる文字数が減少します。5ブロック5行構成のときの制限文字数は、改行・改ブロックマークを含んで160文字まで、1ブロック1行のときは、280文字までになります。これらの制限文字数を超えて文字を入力・挿入しようとすると、「字数オーバー！」が表示され、入力・挿入できません。

全文章を消去する

本体に乾電池が入っているときは、電源をOFFしても、再度電源をONしたときに、入力された文章は消えずにそのまま表示されます。文章を消去するときには全消去してください。

参考：

文章を消去したくないときには、「文章をファイル（保存）する」（118ページ）を参照してファイルに保存してください。

ご注意：

全文消去すると、行書式、全体書式ともすべてクリアされ初期値に戻ります。行書式、全体書式については、第4章「ラベルをデザインする」を参照してください。

1.  を押して  を押します。

参考：

消去をやめるときは、 を押してください。

消去選択
全消去 行消去

2. 「全消去」が反転表示されていることを確認して、 を押します。
全文消去を確認するメッセージが表示されます。

便利：行を特定して消去する

行をいくつかまとめて消去することもできます。また、全体書式を初期値に戻したくないときも「行消去」を使います。詳しくは「行を消去するには」（79ページ）を参照してください。

全消去しますか
全消去 行消去

3.  を押します。
ディスプレイに表示されていた文章がすべて消去されます。

外部：なし 幅：12mm
 _

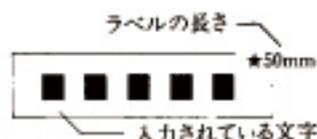
プリントイメージを表示する

プリントをする前に、ラベルのプリント結果をイメージ表示で確認する習慣をつけていただくと、テープの無駄な消耗を防ぐことができます。

イメージ表示では、文字は表示されませんが、文字の大きさやプリント位置などを見ることができます。

1. **ESC**を押したあと**イメージ**を押します。

入力されている文字が、■で表示されます。画面の右上に表示される数値は、プリントしたときのラベルのおよその長さです。



- **←**または**→**を押すと、イメージ表示が左右にスクロールして、画面に隠れている部分を見ることができます。
- **拡大**または**縮小**を押すと、イメージ表示の大きさを変えることができます。
- **ESC**を押すと、画面の右上のラベルの長さ表示を消すことができます。もう一度押すと、表示されます。
- イメージ表示のまま**印刷**を押すと、プリントがはじまります。
- イメージ表示を消すには、**ESC**を押します。

便利：イメージ表示を確認しながら書式を変える

イメージ表示を消さないで、文字の大きさなどの行書式を変更したり、全体書式を変更したりできます。書式の変更が終わると、変更した書式にもとづいて、プリントイメージとラベルの長さが再び表示されます。書式の変更については、第4章「ラベルをデザインする」を参照してください。

プリントする

入力した文章をプリントするときは、**プリント**を押します。

ご注意：

- ・プリント中は画面表示に従って操作してください。
- ・テープ出口からテープを絶対に引っ張り出さないでください。
- ・プリント中は、カットボタンを押さないでください。カットボタンを押すとプリントが中止され、テープが無駄になります。
- ・プリント中にゼブラパターン（Zebra Pattern）のテープが出てくるとテープカセットは終了です。このときは**取消**を押してプリントを取り消してください。

警告：

- ・使い終わったテープカセットをセットしたまま**プリント**を押さないでください。プリンターヘッドが加熱したり、カッターの故障の原因となります。

1. 何か文章を入力・確定させて、**プリント**を押します。
ここでは、「商品企画課」を例として入力しています。

ご注意：

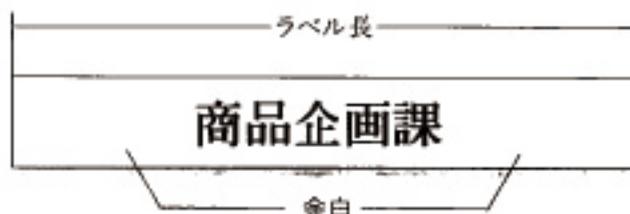
何も入力されていないときは、**プリント**を押しても「入力データがありません!」と表示され、何もプリントされません。また、画面に未確定文字（反転表示されている文字）があるとき**プリント**を押しても何もプリントされません。

2. プリントがはじまります。
画面がもとに戻りプリントが終了したら、カットボタンを押してテープをカットしてください。



■ プリント結果は

プリントされたラベルを少し見てみましょう。これは12mm幅のテープを使ってプリントしたものです。



文字を入力して **印刷** を押すと、ラベルはあらかじめ設定されているデザイン上の書式（初期値といいます）に従ってプリントされます。

文字の大きさや、装飾、ラベルの長さ、余白の大きさなどラベルのプリント結果は、書式を変更することでさまざまに変えることができます。

第3章「『はやわざ』すればカンタン・キレイ」、第4章「ラベルをデザインする」を参照して、文章の内容に合わせた適切な書式を設定し、実用性の高い、アピール度の高いラベルを作ってください。

● 余白の設定を変えると

余白の設定を初期値の「大」から他の設定値に変えると、前ページの手順1で **印刷** を押したあと、「テープをカットして下さい」が表示され、いったんプリントが中断します。

このときは、メッセージに従ってカットボタンを押し、テープをカットしてください。プリントが再開します。

テープをカット
して下さい

参考：

これは、ラベルの左右の余白を均等にするための機能で、「カットポーズ」機能といいます。カットポーズ機能は「なし」にすることもできます。詳しくは、「カットポーズなしで連続プリント」（113ページ）を参照してください。

● 文字サイズの自動調整について

下のラベルは、同じ文章を18mm幅のテープにプリントした結果です。上のラベルサンプルとは、文字の大きさが違います。

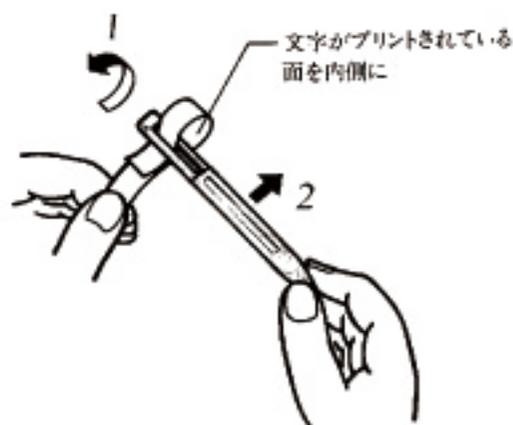
このように「レタリ」は、文字の大きさを指定しないときは、セットされているテープ幅にプリントできる最大サイズの文字を自動的に選び、プリントします。

商品企画課

レタリングスティックの使いかた

付属品のレタリングスティックを使うと、ラベルの裏紙を簡単にはがすことができます。

1. レタリングスティックのスリット部にプリント面を上にしてラベルを通し、図のように手前に巻きつけます。



2. やや強め力で、向こう側に引っ張ります。裏紙の一部がはがれます。

ご注意：

ラベルを貼るものの表面がぬれていたり、汚れていたりすると、ラベルの粘着力が弱くなります。きれいにふきとってから貼ってください。

● 転写のしかた

転写テープにプリントした文字は、下記の要領で転写してください。

1. 転写したい位置にラベルを置きます。
2. ラベルが動かないようしっかり手で押さえ、レタリングスティックで文字を強くこすります。

ご注意：

- ・転写テープでプリントしたあとは早めに転写してください。長時間放置すると、転写しにくくなります。
- ・ラベルを貼るものの表面がぬれていたり、汚れていたりするときれいに転写できません。また、凹凸のある面にも転写できません。

第3章

「はやわざ」すれば カンタン・キレイ

ラベルは、適切な大きさの文字が、適切な長さで、バランスよく美しくデザインされてはじめて、実用に耐えるものになります。「レタリ」には用途に適したデザインのラベルが誰でも簡単に作れるよう、「はやわざ」機能が用意されています。ここでは、この「はやわざ」の基本的な使いかたを説明します。

どんなラベルが「はやわざ」できる?.....	54
「はやわざ」を使ってみよう.....	60
「はやわざ」操作の流れ	64

3

LETARI

どんなラベルが「はやわざ」できる? _____

「レタリ」には、多様な用途にお応えする47種類の「はやわざ」レイアウトがあらかじめ用意されています。これらの「はやわざ」レイアウトを使えば、画面の指示に従って文章を入力するだけで、多彩なデザイン機能を使って作られたラベルが、簡単に完成します。

新しく「はやわざ」をはじめると、47種類の「はやわざ」レイアウトのうち、本体にセットされているテープの幅やタイプに応じて、使用できる適切なレイアウトタイトルが表示されます。

それぞれのテープ幅ごとにサンプルを示しますので参照してください。

ご注意：

- ・レイアウトタイトルが同じものは、テープ幅が異なっても、同じデザインでプリントされます。
- ・ラベルの長さがあらかじめ設定されているレイアウトタイトルは、入力された文字数に関係なく、その長さでプリントされます。

参考：

「はやわざ」レイアウトは、プリントするときに縦書き・横書きを選ぶことができます。

● 6mm幅テープ

使用できる「はやわざ」レイアウトのタイトル	設定されたラベル	
オーディオ カセットテープ	85mm	横
オーディオ DATテープ	68mm	横
1行印刷 A	なし	横

オーディオ カセットテープ

高木文生記念講座「日本語の歴史と文化」 創立25周年記念事業 平成6年×月×日



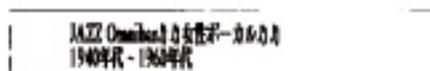
オーディオ DATテープ

JAZZ Orchestraの女性メンバー 1940年代-1960年代

● 9mm幅テープ

使用できる「はやわざ」対応 レイアウトのタイトル	設定されている ラベルの長さ	縦／横
ビデオ8mm&Hi8テープ	73mm	横
オーディオ カセットケース	98mm	横
オーディオ DATケース	56mm	横
ファイル小	83mm	横
1行印刷 A-C	なし	横
2行印刷 A	なし	横

オーディオ DATケース



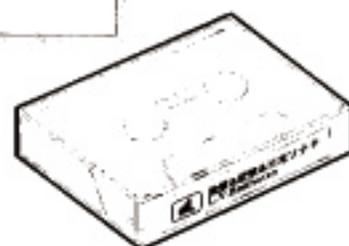
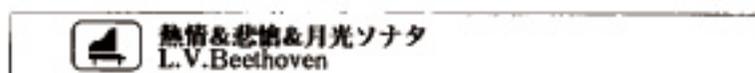
ビデオ 8mm & Hi 8 テープ



ファイル



オーディオ カセットケース



● 12mm幅テープ

使用できる「はやわざ」レイアウトのタイトル	ラベル	向き
ビデオ8mm&Hi8ケース	92mm	横
ビデオ VHS-Cテープ	44mm	横
オーディオ カセットケース	98mm	横
オーディオ DATケース	56mm	横
ファイル小	83mm	横
管理 備品 (小)	70mm	横
写真 アルバム	100mm	横
写真 スライド	44mm	横
1行印刷 A~C	なし	横
2行印刷 A	なし	横
3行印刷 A	なし	横



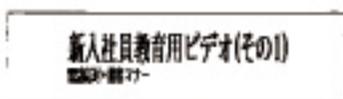
写真 スライド



管理 備品 (小)



ビデオ VHS-Cテープ



ビデオ8mm & Hi8ケース

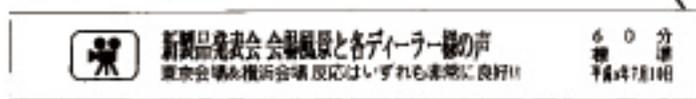
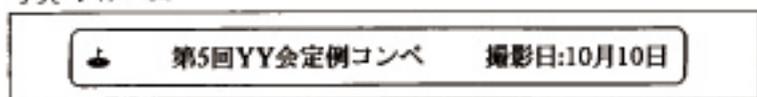


写真 アルバム



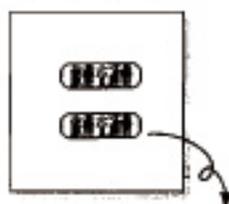
● 18mm・24mm幅テープ

種類	巻かれているテープの長さ	縦/横
ビデオ VHSテープ*	142mm	横
ビデオ VHS-Cケース*	88mm	横
名前 名札 大	74mm	横
名前 名札 小	50mm	横
名前 住所	90mm	横
名前 書類宛名	70mm	横
名前 手紙宛名	90mm	横
ファイル 大 (縦)	200mm	縦
ファイル 中 (縦)	140mm	縦
ファイル インデックス**	23mm	横
フロッピー 3.5インチ	69mm	横
フロッピー 5インチ	83mm	横
管理 備品 (大)	85mm	横
管理 歳時	70mm	縦
プライスカード 大	60mm	横
プライスカード 小	45mm	横
プライスカード 値引き	60mm	横
1行印刷 A~E	なし	横
2行印刷 A~F	なし	横
3行印刷 A~E	なし	横
4行印刷	なし	横
5行印刷	なし	横

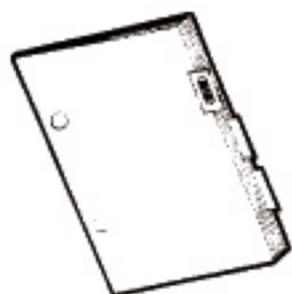
*は18mm幅テープ専用です。

**は24mm幅のレセプタ (ノンラミネート) テープ (タイプB) 専用です。

ファイル インデックス



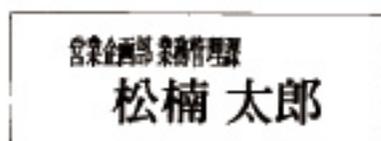
片方入力すれば、もう一つは自動コピーされます!



名前 名札 (大)



名前 名札 (小)



名前 住所



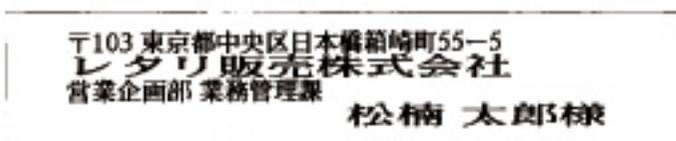
ファイル 中 (70%に縮小しています)

35冊
在庫月数
チェックリスト

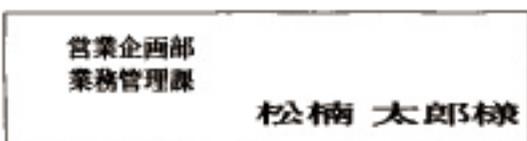
1994

1

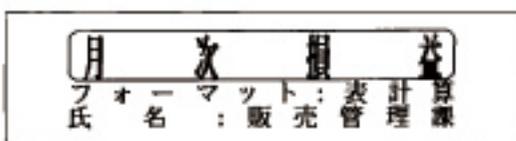
名前 手紙宛名



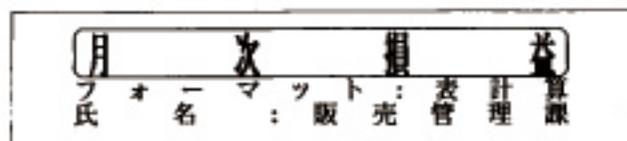
名前 書類宛名



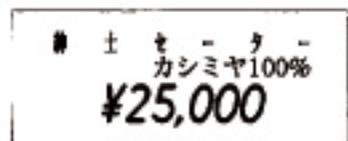
フロッピー 3.5インチ



フロッピー 5インチ



ブライスカード 小



管理 備品 (大)

品名	LAP TOP PCDX100
管理番号	A - 9 4 - 2 0 3
管理部署	業務管理部
社名	Advanced Computer

プライスカード 値引き

カシミヤセーター
~~¥25,000~~
 特価 ¥9,800



プライスカード 大

婦人セーター
 カシミヤ100%
 ¥25,000

ビデオ VHS-Cケース

 **新製品発表会 会場風景**
 東京会場&横浜会場 反応がいずれも非常に良好!
 60分
 7月10日

ビデオ VHSテープ (70%に縮小しています)

 **新製品発表会 会場風景**
 東京会場&横浜会場 反応がいずれも非常に良好!
 60分
 7月10日

ファイル 大 (70%に縮小しています)

35期

在庫月数チェックリスト

1994

1

第3章

どんなラベルが「はやわざ」できる?

「はやわざ」を使ってみよう

8mmビデオ用のこんなラベルを、12mm幅のテープで作ってみましょう。ちょっと難しく見えますが、「はやわざ」を使えば、メッセージに従って文章を入力するだけですから、カンタンです。



新製品発表会 会場風景と各ディーラー様の声
東京会場&横浜会場 反応はいつでも非常に良好!!

60分
標準
74-078106

参考：

文字や記号、絵文字などの入力のしかたがわからないときは、第2章を参照してください。

1. を押します。

「ウェルカムメッセージ」のあと、「はやわざ」レイアウトを選択するメッセージが表示されます。

レイアウトを選択して下さい
ファイルの呼び出し……

ご注意：

を押したとき、何か他の文章が入力されているときは、「全消去しますか」というメッセージが表示されます。このときは を押すと、表示されている文章をすべて消去して「はやわざ」モードに入ります。全消去しないときは、を押してください。もとの画面に戻ります。

参考：

「ファイルの呼び出し」については「「はやわざ」を駆使する」(123ページ)を参照してください。

2. または を押して、使用するレイアウトタイトルを表示させます。

便利：レイアウトのイメージ表示を見るときは

タイトル名が表示されているとき、を押したあと を押すと、それぞれのレイアウトのプリントイメージを見ることができます。

イメージ表示を消すときは、を押します。

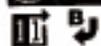
イメージ表示について詳しくは、「プリントイメージを表示する」(48ページ)を参照してください。

レイアウトを選択して下さい
ビデオ 8mm&Hi8ケース

レイアウトタイトル

3. を押します。
選択したレイアウトの、最初の行の入力をガイドするメッセージが表示されます。

① シンボルは？



参考：

「はやわざ」レイアウトによっては、あらかじめ文字が一部入力されているものもあります。

4. 「シンボルは？」のメッセージに従い、罫を記号のジャンル「映画」から選んで入力します。

① シンボルは？



参考：

入力する行に行書式や全体書式が設定されているときは、それぞれ対応するインジケータが点灯します。書式について詳しくは、第4章「ラベルをデザインする」を参照してください。

5. を押します。
次の行の入力をガイドするメッセージが表示されます。

② タイトルは？



参考：

を押しすぎたときは、を押すと前の行に戻ります。

6. ラベルを参照して「新製品発表会」会場風景・・・と入力します。
入力のあとを押すと、次の行の入力待ちになります。以下同様にして、メッセージに従い1行ずつ入力します。

③ コメントは？



参考：

「」はスペース（空白）を入力します。実際の画面には何も表示されません。

7. 最後の行の入力を終えてを押すと、「プリントキーを押して下さい」が表示されますので、を押します。
縦書き／横書きを選択する画面が表示されます。

選択して下さい
縦書 横書

便利：

同じラベルを何枚も連続してプリントするなどのプリントテクニックが使えます。詳しくは第3章「プリントテクニック」を参照してください。

8. 横書きでプリントしたいので、「横書」が反転表示されていることを確認して、を押します。プリントがはじまります。

新規作成？

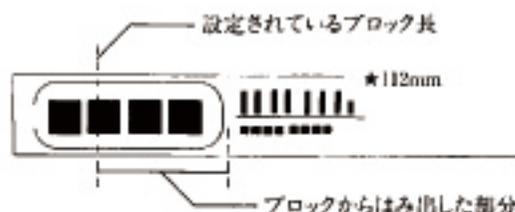
どうです？メッセージに従って文章を入力しただけで、きれいなデザインのリベルがうまくなりました、ね？

このあと、終了するときは次ページの「プリントしたあと「はやわざ」を終了するときは」、続けて別のレイアウトを試してみるときは「プリントしたあと続けて別のリベルを作るときは」を参照してください。

● うまくいかないときは

各「はやわざ」レイアウトのうち、あらかじめリベルの長さが決められている（定長といいます）ものには、入力できる文字数に制限があります。制限を超えて文字が入力されているときは、プリントがはじまらずに、「ブロック長オーバー！」や「定長オーバー！」が表示されます。

このときは何かキーを押してエラーメッセージを消し、プリントイメージを表示させてください。再び同じエラーメッセージが表示されたあと、イメージ表示でどの程度制限をオーバーしているかを見ることができます。イメージ表示を確認しながら、これらの制限を超えない範囲で再度入力してください。



定長やブロック長について詳しくは、「決まった長さのリベルを作る」(96ページ)を参照してください。

● プリントしたあと「はやわざ」を終了するとき

1. 右の画面のとき **取消** を押します。
「はやわざ」モードに戻ります。

新規作成？

2. **終了** を押します。
終了を確認するメッセージが表示されます。

参考：

文章を入力中は、「はやわざ」はいつでも終了できます。

はやわざモード
を終了しますか

3. **戻る** を押すと「はやわざ」を終了し、通常の文章入力画面に戻ります。
作成した文章や書式はそのまま文章入力画面に表示されます。

参考：

- ここで「はやわざ」で作成した文章を参照して文章を削除・挿入したり、書式を変更したり、ファイルに登録したりできます。書式を変えるときは、第4章「ラベルをデザインする」、ファイルに登録するときは、「文章をファイル（保存）する」（118ページ）を参照してください。
- 「はやわざ」で作成した文章や書式を全消去して「はやわざ」を終了するとき、右の画面のとき **取消** を押します。

レイアウトを選択して下さい
ファイルの呼び出し・・・

ご注意：

「はやわざ」モードを終了しないで電源OFFにしたときは、再度電源ONのとき、ふたたび「はやわざ」モードになります。

● プリントしたあと続けて別のラベルを作るとき

1. 右の画面のとき **戻る** を押します。
レイアウトを選択する画面が表示されますので、以降は60ページの手順2以下を参照してください。

ご注意：

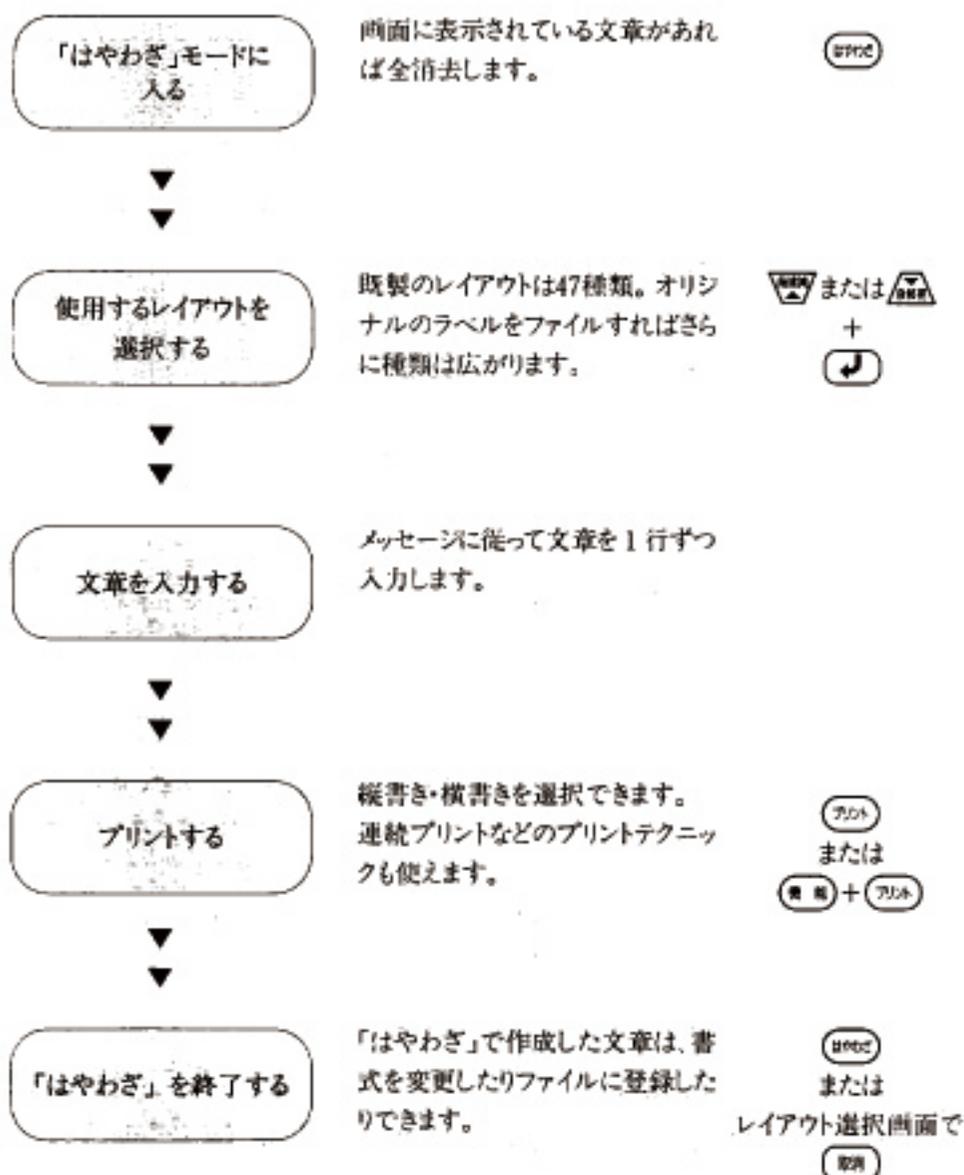
このとき、前のラベルは消去されます。保存したいときは、**取消** を押して、「はやわざ」をいったん終了してください。

新規作成？

レイアウトを選択して下さい
ファイルの呼び出し・・・

「はやわざ」操作の流れ

「はやわざ」の基本的な操作の流れをまとめますので、確認してください。



参考：

オリジナルの「はやわざ」レイアウトを作ることができます。第4章を参照してラベルをデザインしたあとファイルに登録します。この登録されたファイルは「はやわざ」レイアウトとして使用できます。つまり、「はやわざ」がオリジナルのさらに使い勝手のよいものに。

詳しくは、「「はやわざ」を駆使する」(123ページ)を参照してください。

第4章

ラベルをデザインする

ラベルのデザインは、ある特定の行に対して設定するもの(行書式)と、ラベル全体を設定するもの(全体書式)とに大きく分けられます。この章では、「レタリ」のもつ豊富なデザイン機能のすべてを説明します。設定操作はとても簡単ですから、これらをいろいろ組み合わせて、オリジナルのラベルデザインを楽しんでください。

ラベルをデザインする前に	66
文字の大きさを覚える(行単位の設定)	67
文字を装飾する(行単位の設定)	71
書体を覚える(行単位の設定)	74
多行組みのラベルを作る	77
多ブロックのラベルを作る	81
行をバランス良くレイアウト(行単位の設定)	85
縦書きにする	
ラベル全体を縦書きに(ラベル全体の設定)	89
縦書き・横書き混在ラベル(行単位の設定)	90
行を持って囲む・下線を引く(行単位の設定)	92
ラベル全体では枠囲みいろいろ	
(ラベル全体の設定)	94
決まった長さのラベルを作る(ラベル全体の設定)	
ラベルの長さを設定する	96
ブロックの長さを設定する	99
ブロックをレイアウトする	101
その他のラベル全体の設定	
ラベルの余白を調整する(ラベル全体の設定)	105
文字間隔を調整する(ラベル全体の設定)	105
文字の桁合わせをする(ラベル全体の設定)	106
全文を鎖文字にする(ラベル全体の設定)	106
ラベルデザイン機能のまとめ	107
書式を初期値に戻す	108



ラベルをデザインする前に

ラベルのデザインをはじめる前に、ラベルらしいラベルを作るためのヒントについてふれてみます。詳しい操作のしかたなどについては、次ページ以降の各項目の説明の中でふれていきますので、ここではどんなラベルを作ろうかと考えるときの参考にしてください。

まず、このラベルを見てください。これは、ラベルにしたい内容をただ入力しただけの結果です。これでは、ラベルになりませんね。

顧客リストあ行・か行持出厳禁

では、このラベルのブロック構成と行構成を変えてみます。上のラベルをまず4ブロックにします。次に3ブロック目を2行にします。そのあと、ファイルの背表紙にしたいので全体を縦書きに設定してみました。これだけでも、ずいぶん見栄えが違ってきます。このように、ラベルを作るときは、まずブロック構成と行構成を考えながら文章を入力します（行とブロックについては、それぞれ77ページ・81ページを参照してください）。

顧客リスト あ行 か行 持出厳禁

ラベルの構成が決まったあとは、それぞれの行に対してサイズを変えたり、装飾をしたり、罫で囲んだりなどのデザイン処理をしていきます。文字の量と大きさとのバランスなども考慮に入れてデザインを決めてください。
この程度のラベルになると十分実用的ですね。感性を活かしてあれこれ試してみてください。

顧客リスト あ行 か行 持出厳禁

顧客リスト あ行 か行 持出厳禁

最後に、決まった長さのラベルに文章をバランスよくレイアウトできるようになると、「レタリ名人」です。この例は150mmに長さを決めてレイアウトしたものです。本章を参照してぜひチャレンジしてみてください。

顧客リスト あ行 か行 持出厳禁

文字の大きさを変える

文字のサイズは、まず高さをSS・S・M・L・LL・VLの6種類から、そして高さに加えて文字の幅を、標準・平体（へいたい）・長体（ちょうたい）の3種類から、行単位で選ぶことができます。つまり、文字サイズは $6 \times 3 = 18$ 種類の中から選択することができます。

ただし、セットしているテープ幅によって、設定できる文字の高さは下記のように異なります。

- 24mm幅テープ : VL, LL, L, M, S, SS
- 18mm幅テープ : VL, LL, L, M, S, SS
- 12mm幅テープ : L, M, S, SS
- 9mm幅テープ : L, M, S, SS
- 6mm幅テープ : S, SS

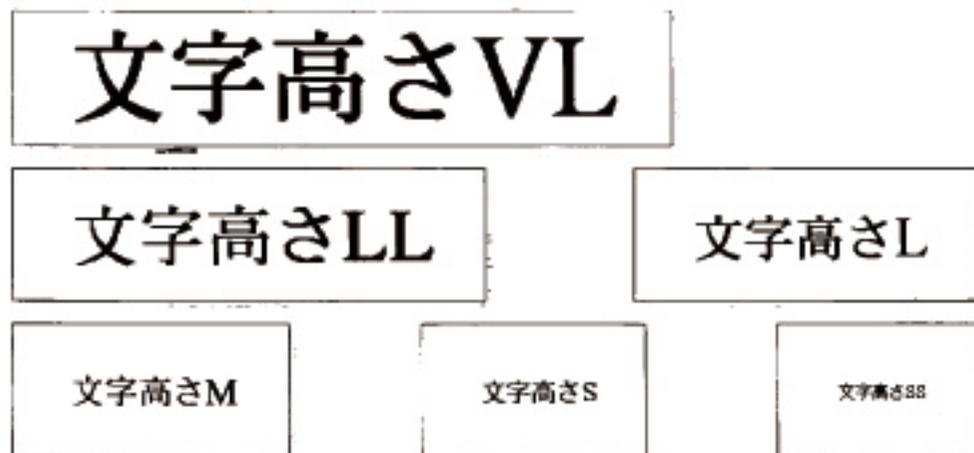
文字サイズの設定をしていないときは、文字の高さはそれぞれのテープ幅で印字できる最も大きな文字（高さ：自動）、文字幅は標準、が初期値としてプリントされます。

ご注意：

- ・制限を超えて文字の高さを設定すると、プリントするときに「サイズオーバー！」が表示され、プリントできません。
- ・多行組みのラベルを作るときは、入力する行数によってもプリントできる文字の高さに制限があります。詳しくは「多行組みラベルを作る」（77ページ）を参照してください。

● 文字の高さのプリントサンプル

各文字の高さを、18mm幅テープでプリントして原寸で例示します。



● 文字幅のプリントサンプル

文字高さ「L」で、文字幅「長体」、「標準」、「平体」の文字をそれぞれ原寸で例示します。

文字幅は標準に比べて、平体は2倍、長体は半分になります。

文字幅: 長体 標準 平体

● ご注意:

縦書きのラベルでは、横書きのラベルと反対に、「平体」では文字が縦長になり、「長体」では横長の文字になります。

長体 標準 平体

● 文字サイズを設定する

では、文字サイズを設定してみましょう。何か文章を入力してください。文字サイズが「高さ:M、幅:平体」のラベルを作ってみます。

1. を押して、を押します。

カーソルがある行の行頭マーク(この例では1ブロック目の1行目)が反転表示しています。また、現在設定されている、文字の高さと幅もそれぞれ表示されています。

行 高さ 幅
1 自動 標準

行頭マーク反転

2. を押します。

現在設定されている文字の高さ(この例では「自動」)が反転表示します。

行 高さ 幅
1 自動 標準

3. またはを押し、設定したい高さ「M」を反転表示させます。

行 高さ 幅
1 M 標準

4. 次は幅を設定するため、を押します。
現在設定されている「標準」が反転表示します。

行 頭	高さ M	幅 標準
--------	---------	---------

5. またはを押し、設定したい幅「平体」を反転表示させます。

行 頭	高さ M	幅 平体
--------	---------	---------

6. 設定した内容を確認し、を押します。
文字サイズが「高さ：M」「幅：平体」で設定され、画面はもとに戻ります。

参考：

多行組みラベルのときは、を押す前にで行頭マークを反転表示させ、またはを押すと、他の行の設定を続けておこなうことができます。ただし、行頭マークが表示されない行（発生していない行）の設定はできません。

便利：他の行へジャンプ

多行組みラベルのときは、設定項目を反転表示させたまま、を押してまたはを押すと、他の行の同じ項目の設定を続けておこなうことができます。

テクニックヒント：

先ほどプリントした文字を、「文字高さ：L」「文字幅：標準」でプリントした文字と比べてみてください。文字高さを「M」にしても、文字幅を「平体」にするとけっして小さな文字にはなりません。テープ幅や行数などで文字高さに制限があっても、幅を「平体」にすれば大きな文字が使えます。

文字高さ：M、文字幅：平体

鞠子 Monroe

文字高さ：L、文字幅：標準

鞠子 Monroe

ご注意：

- ・長い文章を大きな文字で設定したときなど、ラベルが1m以上になるときは、「入力オーバー！」が表示され、プリントできません。
- ・画数の多い文字は、文字高さ「SS」や「S」、文字幅「長体」にしたときに文字がつぶれることがあります。
- ・手順6でを押しても画面はもとに戻りますが、書式は設定されません。

便利：テープ幅以上の大きな文字がプリントできる！

テープ2枚を使って、テープ幅を超えたサイズの文字をプリントするウルトラテクニックがあります。詳しくは「テープ幅より大きな文字をプリント」(114ページ)を参照してください。

● 文字サイズを初期値に戻すときは

1. **ESC**を押して、**3 3**を押します。
設定されている、文字の高さと幅が表示されます。

行	高さ	幅
10	M	平体

2. **DEL**を押して高さ「M」を反転表示させ、**ESC**を押します。
文字高さの初期値「自動」が表示されます。

行	高さ	幅
10	自動	平体

3. **DEL**を押して幅「平体」を反転表示させ、**ESC**を押します。
文字幅の初期値「標準」が表示されます。

行	高さ	幅
10	自動	標準

便利：

ESCを押して**ESC**を押すと、文字高さ、文字幅とも同時に初期値に戻ります。多行組みのときは、すべての行が初期値に戻ります。

4. **ESC**を押します。
文字サイズがもとの初期値で設定され、画面はもとに戻ります。

文字を装飾する

文字装飾は、袋影、影、立体、袋、太字の5種類のうちいずれかと、斜体(しやたい)にする・しないを組み合わせ、行単位で設定することができます。つまり $5 \times 2 = 10$ 種類(装飾なしを含めると12種類)の中から選択することになります。

装飾の設定をしていないときは、「装飾：なし」、「斜体：なし」、が初期値としてプリントされます。

● 装飾のプリントサンプル

各装飾文字を、12mm幅テープでプリントして原寸で例示します。

装飾:太字

装飾:袋

装飾:立体

装飾:影

装飾:袋影

ご注意：

- ・文字高さ「S」や「SS」などの小さな文字や両数の多い文字を装飾すると、文字がつぶれて見にくくなる場合があります。

● 斜体のプリントサンプル

文字を「装飾：袋、斜体：あり」で設定したラベルを、12mm幅テープの原寸で例示します。その他の組合せはご自由にお試しください。

⊙ 装飾:袋斜体

テクニックヒント：

線文字を装飾すると思わぬ効果が出る場合があります。これもいろいろ試してみてください。

● 文字の装飾を設定する

では、文字を装飾してみましょう。何か文章を入力してください。「装飾：袋、斜体：あり」のラベルを作ってみます。

顧客リスト

1. を押して、を押します。

カーソルがある行の行頭マーク（この例では1ブロック目の第1行）が反転表示しています。また、現在設定されている、装飾と斜体の有無もそれぞれ表示されています。

行	装飾	斜体
☐	なし	なし

2. を押します。

現在設定されている装飾（この例では「なし」）が反転表示します。

行	装飾	斜体
☐	なし	なし

3. またはを押し、設定したい装飾「袋」を反転表示させます。

行	装飾	斜体
☐	袋	なし

4. 次は斜体を設定するため、を押します。
現在設定されている「なし」が反転表示します。

行	装飾	斜体
☐	袋	なし

5. またはを押し、斜体「あり」を反転表示させます。

行	装飾	斜体
☐	袋	あり

6. 設定した内容を確認し、を押します。

文字の装飾が「装飾：袋」「斜体：あり」で設定され、画面はもとに戻ります。装飾の5種類のうちいずれかを設定すると、装飾インジケータが点灯します。斜体を設定すると斜体インジケータが点灯します。

参考：

多行組みラベルのときは、を押す前にで行頭マークを反転表示させ、またはを押すと、他の行の設定を続けておこなうことができます。ただし、行頭マークが表示されない行（発生していない行）の設定はできません。

便利：他の行へジャンプ

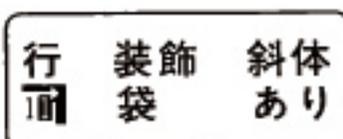
多行組みラベルのときは、設定項目を反転表示させたまま、を押してまたはを押すと、他の行の同じ項目の設定を続けておこなうことができます。

ご注意：

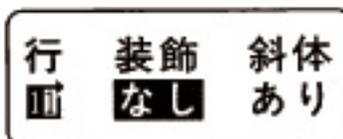
手順6でを押しても画面はもとに戻りますが、書式は設定されません。

● 装飾を初期値に戻すときは

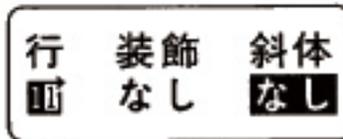
1. を押して、を押します。
設定されている、文字の装飾と斜体の有無が表示されます。



2. を押して装飾「袋」を反転表示させ、を押します。
文字の装飾の初期値「なし」が表示されます。



3. を押して斜体「あり」を反転表示させ、を押します。
斜体の初期値「なし」が表示されます。



便利：

を押してを押すと、装飾、斜体とも同時に初期値が表示されます。多行組みのときは、すべての行が初期値に戻ります。

4. を押します。
文字の装飾がもとの初期値で設定され、画面はもとに戻ります。インジケータも消灯します。

書体を変える

特に英数字混じりのラベルでは、書体を変えてデザインすると表現力が豊かに広がります。文字の書体は、和文は明朝体の1書体ですが、英数字はA、B、Cの3書体から、行単位で選ぶことができます。また、オプションの書体カートリッジ（品番:LM-F510）をセットすると、内蔵の書体に加えて、和文は角ゴシック体、英数字はD、E、Fの3書体が使えます。

書体の設定をしていないときは、和文は「明朝体」、英数字は「英：A」が初期値としてプリントされます。

● 内蔵書体のプリントサンプル

内蔵されている書体を、12mm幅テープでプリントして原寸で例示します。

明朝体：

標準書体は明朝体

英数字書体：A

Sample : font-A !

英数字書体：B

Sample : font-B !

英数字書体：C

Sample : font-C !

● 外部書体（品番:LM-F510）のプリントサンプル

角ゴシック体

角ゴシック体も魅力

英数字書体：D

Sample : font-D !

英数字書体：E

Sample : font-E !

英数字書体：F

Sample : font-F !

● 書体を設定する

では、文字の書体を変えてみましょう。「英：C、和：明朝体」のラベルを作ってみます。和文と英数字、記号の混じった「ON SALE / お得です!」と入力してください。

オプションの書体カートリッジ（品番:LM-F510）をセットしているかたは、和文を角ゴシック体に見てみてください。

参考：

「**□**」はスペースを入力します。実際の画面には何も表示されません。

1. を押して、を押します。

カーソルがある行の行頭マーク（この例では1ブロック目の第1行）が反転表示しています。また、現在設定されている、英文と和文の書体もそれぞれ表示されています。

行	英	和
	A	明朝体

2. を押します。

現在設定されている英数字書体（この例では「A」）が反転表示します。

行	英	和
		明朝体

3. またはを押し、設定したい英数字書体「C」を反転表示させます。

参考：

書体カートリッジをセットしている方は、英数字書体「D・E・F」が選択できます。

を押すと、和文書体「ゴシック」が選択できます。

行	英	和
		明朝体

4. 設定した内容を確認し、を押します。

書体が設定され、両面はもとに戻ります。

参考：

- ・ 多行組みラベルのときは、を押す前にで行頭マークを反転表示させ、またはを押すと、他の行の設定を続けておこなうことができます。ただし、行頭マークが表示されない行（発生していない行）の設定はできません。
- ・ 外部書体を設定すると、設定した行にカーソルがあるときは外書体インジケータが点灯します。

便利：他の行へジャンプ

多行組みラベルのときは、設定項目を反転表示させたまま、**◀**を押して**▶▶▶**または**▶▶▶▶**を押すと、他の行の同じ項目の設定を続けておこなうことができます。

ご注意：

手順4で**▶▶▶**を押しても画面はもとに戻りますが、書式は設定されません。

サンプルを見ておわかりのように、英数書体の設定はキーボードから入力できる「/」や「?」など一部の記号にも有効です。

ON SALE! お得です!

● 書体を初期値に戻すときは

1. **◀**を押して、**⑤**を押します。
設定されている、英数字と和文の書体がそれぞれ表示されます。

行 英 和
⑤ Cゴシック

2. **▶**を押して英数書体「C」を反転表示させ、**▶▶▶**を押します。
英数書体の初期値「A」が表示されます。

行 英 和
▶▶▶ Aゴシック

3. **▶▶▶**を押して和文書体「ゴシック」を反転表示させ、**▶▶▶▶**を押します。
和文書体の初期値「明朝体」が表示されます。

行 英 和
▶▶▶▶ A 明朝体

参考：

▶▶▶を押して**▶▶▶▶**を押すと、英数書体、和文書体とも同時に初期値に戻ります。多行組みのときは、すべての行が初期値に戻ります。

4. **▶▶▶▶▶**を押します。
書体が初期値で設定され、画面はもとに戻ります。外書体インジケータも消灯します。

多行組みのラベルを作る

ラベルを多行組みにすると、狭いスペースで多くのことを効果的に伝えることができます。「レタリ」は最大5行までのラベルを作ることができます。ただし、セットしているテープ幅によって、入力できる行数は下記のように異なります。

- 24mm幅テープ : 5行
- 18mm幅テープ : 5行
- 12mm幅テープ : 3行
- 9mm幅テープ : 2行
- 6mm幅テープ : 1行

ご注意：

制限以上に行が入力されると、プリントするときに「行数オーバー！」が表示され、プリントできません。

また、多行組みにしたときに設定できる文字の高さの組み合わせは、下表のようになります。

テープ幅	行数	文字高さの組み合わせ
24mm 18mm	5行	S(SS)+SS+SS+SS+SS
	4行	L(M, S)+SS+SS+SS
		M(S, SS)+S(SS)+S(SS)+SS S(SS)+S(SS)+S(SS)+S(SS)
	3行	L(M)+M(S, SS)+SS, L+S+S
		M(S, SS)+M(S, SS)+S
2行	LL+S(SS) L(M, S, SS)+L(M, S, SS)	
1行	VL(LL, L, M, S, SS)	
12mm	3行	SS+SS+SS
	2行	M+SS, S(SS)+S(SS)
	1行	L(M, S, SS)
9mm	2行	S(SS)+S(SS)
	1行	L(M, S, SS)
6mm	1行	S(SS)

ご注意：

制限を超える文字高さの文字を組み合わせると、プリントするときに「サイズオーバー！」が表示され、プリントできません。

参考：

24mm、18mm幅テープの印字幅は同じですが、カラーテープをお使いのときなど、24mm幅テープの方が余白が多い分、より見栄えのするラベルが作れます。

● 多行組みのラベルを作る

多行組みのラベルを作るには、文章を入力しながら、改行したいところで  を押します。ワープロ感覚で簡単です。

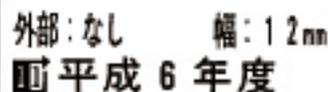
文章を入力したあと、改行したい位置に改行マークを押入することもできます。

| ご注意：

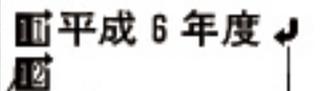
6行以上を入力しようとする、改行操作の時点で「5行までです!」が表示され、6行目以降の入力操作は受け付けません。

1. まず、1行目を入力します。

ここでは、「平成6年度」と入力してみてください。


2. 改行をするために、 を押します。

改行マークが表示され、2行目の行頭マークが表示されます。

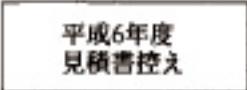


2行目の行頭マーク

改行マーク

3. 2行目の「見積書控え」を入力してください。

では、プリントしてみてください。文字サイズを設定していないときは、入力されている行の文字高さがすべて等しくて、かつ最大になるサイズでプリントされます。12mm幅テープでプリントした下記のサンプルでは、上下の行とも「文字高さ：S」でプリントされています。また、ラベルの上下の余白も等しくなるようにプリントされます。



| 便利：文字の桁合わせをする

このラベルは、上下の行の文字数は同じなのに、1行目に数字が入っているために上下の行で文字がそろっていません。こんなときは、「文字の桁合わせをする」(106ページ)を参照して、上下の行をそろえてみてください。

● 行を挿入するときは

先に文章を入力して、あとで改行マークを挿入するときは、挿入したい文字の下にカーソルを移動し、を押します。

ご注意：

- ・ 行の途中で改行マークを挿入すると、新しく挿入した改行マークの直後の行は、行書式すべてが初期値に変わります。
- ・ 行の先頭で行を挿入すると、新しく挿入した改行マークのある行にはもとの行の行書式がそのまま設定されています。

● 行を連結するには

2行を1行にすることを、行の連結といいます。

行を連結するには、改行マークの下にカーソルを移動し、を押します。

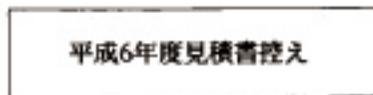
ご注意：

行を連結すると、後ろの行に設定されていた文字サイズなどの行書式は消えます。

連結前



連結後



● 行を消去するには

行を文章ごと消去するには、「全文消去」の中の「行消去」を使います。

上の例の2行目をすべて消去してみましょう。

1. 消去したい行の任意の位置に、カーソルを移動します。

2. を押して、を押します。
「全消去」が反転表示されています。

3. を押して、「行消去」を反転表示させます。

消去選択
全消去 **行消去**

4. を押すと「行消去」が選択されます。
消去する先頭の行（カーソルのある行）が反転表示され、あわせて、どの行まで消去するかメッセージが表示されます。

どの行まで？
見積書控え

5. ここでは1行だけを消去するので、このまま を押します。
行消去を確認するメッセージが表示されます。

行消去しますか
見積書控え

参考：

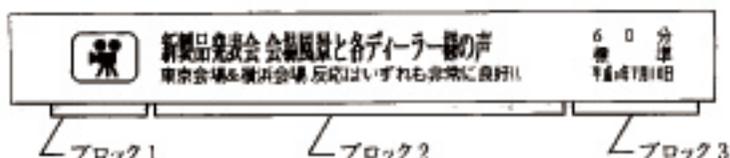
隣り合っている複数の行を削除するときは、または を押して削除する最終行を表示させ、を押します。

6. を押します。
選択した行が、文章ごとすべて消去されます。

多ブロックのラベルを作る

第3章で「はやわざ」を使ってみた方は経験済みですが、1枚のラベルに1行組みと多行組みの部分が混在しているラベルを作ることができます。「ブロック」は、56ページでも見てきたように、実用的で見栄えのするラベルを作る上での大きなポイントです。

「レタリ」では、1枚のラベルを最大5つのブロックで構成することができます。



参考：

ブロックは、何枚かの小さなラベルをつなぎあわせていったものが1枚のラベルになる、と考えるとわかりやすいかもしれません。

● 多ブロックのラベルを作る

多ブロックのラベルを作るには、多行組みのラベルと同様、文章を入力しながら、改ブロックしたいところで **Ⓜ** を押して **Ⓝ** を押します。
文章を入力したあと、改行したい位置に改ブロックマークを挿入することもできます。前者の方法で、1行組みと2行組みの2ブロックで構成されたラベルを作ってみます。

ご注意：

6ブロック以上を入力しようとする、改ブロック操作をした時点で「5ブロックまでです!」が表示され、6ブロック目以降の入力操作は受け付けません。

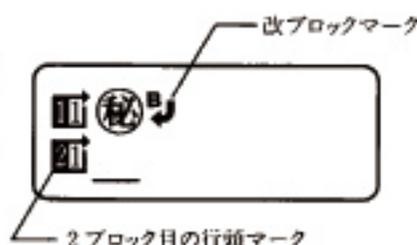
1. まず、最初のブロックの文章を入力します。

ここでは、「Ⓜ」と入力してみてください。

参考：

「Ⓜ」は記号のジャンル「省略」の中にあります。

2. 改ブロックをするために、**改**を押して**↓**を押します。
改ブロックマークが表示され、2ブロック目の行頭マークが表示されます。



3. 77ページを参照して、2ブロック目の「平成6年度見積書控え」を2行で入力してください。

平成6年度 ↓
見積書控え

では、プリントしてみてください。文字サイズを設定していないときは、各ブロックごとに、入力されている行の文字高さがすべて等しくて、かつ最大になるサイズでプリントされます。12mm幅テープでプリントした下記のサンプルでは、1ブロック目は「文字高さ：L」で、2ブロック目は上下の行とも「文字高さ：S」でプリントされています。

平成6年度
見積書控え

テクニックヒント：

これまで見てきたように、文字のサイズや装飾などは行単位で設定します。ところが見かけは1行でも、ブロックで分割すれば、1行の中に異なった文字のサイズや装飾などを混在させることができます。

例えば下記のラベルは、3ブロックで構成されています。最初のブロック「禁」は「文字高さ：L」「装飾：袋影」、次のブロックは「文字高さ：M」「文字幅：長体」「斜体：あり」、最後のブロック「煙」は「文字高さ：L」「装飾：袋影」で設定されています。

禁 1-2をすてきない煙

● ブロックを挿入するときは

先に文章を入力して、あとで改ブロックマークを挿入するときは、挿入したい文字の下にカーソルを移動し、**改**を押して**↓**を押します。

ご注意：

- ・改ブロックマークを挿入した行に書式が設定されていても、新しく挿入された改ブロックマークの直後の行の書式は、すべて初期値に変わります。
- ・ブロックの先頭に挿入された、新しい改ブロックマークの直後の行には、もとの行の書式がそのまま設定されています。

● **ブロックを連結するには**

2つのブロックを1つのブロックにまとめることを、ブロックの連結といいます。ブロックを連結すると、後ろのブロックに入力されていた文章は、前のブロックの行の下に送り込まれます。

先ほど作った2ブロックのラベルを1ブロックに連結してみましょう。

1. カーソルを改ブロックマークの下に移動します。

2. **秘**を押します。

改ブロックマークが改行マークになります。

3. カーソルを移動して各行の行頭マークを確認してください。

2ブロック目の1行目にあった行が、1ブロック目の2行目に送り込まれています。2ブロック目の2行目にあった行は、1ブロック目の3行目に送り込まれました。

これを12mm幅テープでプリントしてみます。1ブロック3行のラベルが「文字高さ：SS」でプリントされています。先程の2ブロック構成のラベルと比べてみてください。違いがよくわかります。

**ご注意：**

- ・ブロックを連結したときに前のブロックが5行以上になってしまうときは、「5行までです。」が表示され、ブロック連結の操作を受け付けません。
- ・ブロックを連結しても、後ろの行に設定されていた文字サイズなどの行書式は消えません。「サイズオーバー」にならないよう気をつけてください。

● **ブロックを消去するには**

ブロックを文章ごと消去するには、消去したいブロックの1行目から最終行までを「行消去」します。詳しくは、「行を消去するには」(79ページ)を参照してください。

参考：

「行消去」を使えば、隣り合った複数のブロックをまとめて消去することができます。また、ブロックの途中から他のブロックの途中までの行も消去することができます。ただし、このときブロックは連結されません。

行をバランス良くレイアウト

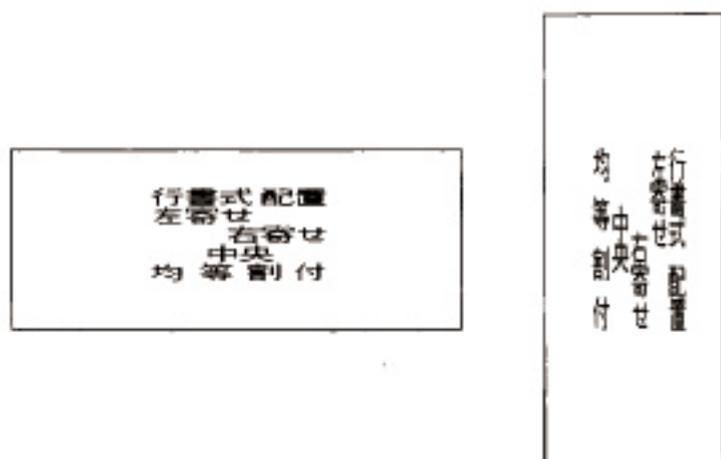
美しいと感じるラベルを作るには、余白と文章とのバランス、行と行とのバランスが大きなポイントになります。これらがうまくレイアウトできるようになればしめたもの、いろいろ試してみてください。

行のレイアウト（配置）は、その行を**ブロック**の中で、左寄せするか、均等割付するか、中央揃えにするか、右寄せするかの4つの中から選択します。行のレイアウト（配置）を設定していないときは、初期値の「左寄せ」でプリントされます。

参考：

余白を「大」以外に設定したときのプリント前のカットポーズも、ラベルの左右の余白を均等にしてバランスを保ち、ラベルをより美しく見せるための機能の一つです。

● 行の配置のプリントサンプル



参考：

ブロックの長さは、ブロック長を設定していないときは、そのブロックにある最も長い行の長さになります。行の配置はブロックの中での配置ですから、上のプリントサンプルの1行目「行書式 配置」は、行の配置を何に設定しても結果はすべて同じです。また、同様の理由で、1行組みのときも行の配置の結果はすべて同じです。ブロック長について詳しくは、「決まった長さのラベルを作る」(96ページ)を参照してください。

● 行のレイアウト（配置）を設定する

では、行の配置を設定してみましょう。2行のラベルを作って、1行目を「配置：中央」にしてみます。

2行組みの文章を何か入力してください。レイアウトの効果を確認するため、文字のサイズを1行目は「文字高さ：SS」、2行目は「文字高さ：S」「文字幅：平体」で設定してください。文字サイズの設定は「文字の大きさを定める」(67ページ)を参照してください。

1. を押して、を押します。
カーソルがある行の行頭マークが反転表示しています。レイアウト（配置）を設定したい行が表示されていないときは、またはで表示させてください。

行 配置 縦書
 左寄 なし →

参考：

下の行の右端にある矢印は、行書式で設定できる項目がまだあることを示しています。

2. を押します。
現在設定されている配置（この例では「左寄」）が反転表示します。

行 配置 縦書
 **左寄** なし →

3. またはを押して、設定したい配置「中央」を反転表示させます。

行 配置 縦書
 **中央** なし →

4. 設定した内容を確認し、を押します。
行の配置が「中央」に設定され、画面はもとに戻ります。

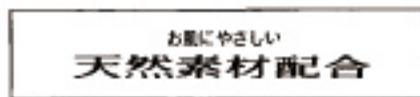
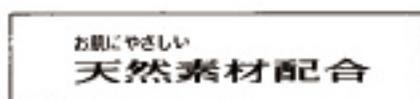
参考：

- ・を押す前にで行頭マークを反転表示させ、またはを押すと、他の行の設定を続けておこなうことができます。
- ・を押す前に手順2以降と同様にして、「縦書き」など他の行書式の設定を続けておこなうことができます。

便利：他の行へジャンプ

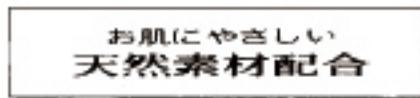
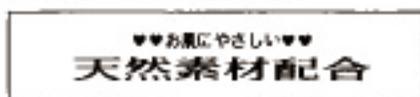
多行組みラベルのときは、設定項目を反転表示させたまま、を押してまたはを押すと、他の行の行書式の設定を続けておこなうことができます。

初期値（左寄）のままのものと、上の手順でレイアウトしたものを比べてみてください。どちらが美しく見えるか、レイアウト効果を確認してください。

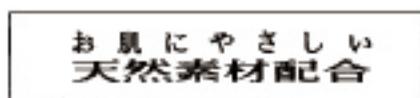
**テクニックヒント：**

上下の2行の長さに極端な差をつけないということも、より美しく見せるためのテクニックの一つです。このために、文字数を調整したり、絵文字などの飾りをつけたり、サイズを変えたりして、さらにバランスを高める工夫をします。

1行目に絵文字で飾りを加えた例と、サイズを「文字幅：平体」にした例とを下記に示しますので、デザインの参考にしてください。



もう一つ、下のラベルは、1行目を「文字高さ：自動」「文字幅：標準」「配置：均等」で設定した例です。この3つのうち、感性にぴったりなのはどれでしょうか？



● 配置を初期値に戻すときは

1. を押して、を押します。
カーソルのある行に設定されている、行書式の値が表示されます。

行	配置	縦書
☐	中央	なし→

2. を押して、もとに戻したい書式（この例では「配置：中央」）を反転表示させます。

行	配置	縦書
☐	中央	なし→

3. を押します。
配置の初期値「左寄」が反転表示します。

行	配置	縦書
☐	左寄	なし→

4. を押します。
行の配置が初期値で設定され、画面はもとに戻ります。

便利：

手順2でを押して、を押すと、すべての行の行書式（配置、縦書き、罫線）を初期値に戻すことができます。

縦書きにする

ファイルの背表紙などは縦書きのラベルにすると読みやすくて機能的です。ここでは、ラベル全体を縦書きにする方法と、1枚のラベルに縦書き・横書きを混在させる方法について説明します。

■ ラベル全体を縦書きに

では、ラベル全体を縦書きにしてみましょう。何か文章を入力してください。

1. を押して、を押します。
全体書式の設定画面が表示されます。

参考：

全体書式は、ラベル全体を規制します。したがって、行書式とは異なり、カーソルはどの行に位置していてもかまいません。

罫線：なし
配置：左寄せ

2. を押して、縦書きを設定する画面を表示させます。
初期値の「なし」（＝横書き）が反転表示されています。

縦書き：なし
鏡像：なし

3. またはを押して、「あり」を反転表示させます。

参考：

再び横書きに戻すときは、ここでを押すか、またはを押して「なし」を反転表示させます。

縦書き：あり
鏡像：なし

4. 設定した内容を確認し、を押します。
全体書式が「縦書き：あり」で設定され、画面はもとに戻ります。全体書式の縦書インジケータと、行書式の縦書インジケータが点灯します。

企画書 (控へ) 1994年7月-1994年12月

営業課 課長 課員 課員 課員

サンプルを見ながら、縦書きにするときの留意事項を説明します。

上のラベルは、1ブロック目は1行、2ブロック目は2行で構成されています。2ブロックの2行目は「文字幅：平体」「配置：均等」が設定されています（そのほかは初期値）。

縦書きにすると、行はラベルの右から1行目、2行目…の順にプリントされます。「文字幅：平体」では、縦長の文字になります。また、「配置：左寄」ではブロックの上に、この例にはありませんが「配置：右寄」ではブロックの下にそれぞれレイアウトされます。

■ 縦書き・横書き混在ラベル

縦書きラベルの中に一部横書きの行を、また、横書きのラベルに縦書きの行を混在させることができます。たとえば、上のラベルサンプルは、下の例のように2ブロックの1行目を横書きにした方が数字が読みやすそうです。この例で続けてやってみましょう。

企画書 (控へ) 1994年7月-1994年12月

営業課 課長 課員 課員 課員

1. を押して、を押します。

横書きにしたい行の行頭マーク（この例では2ブロック1行目）が反転表示されていないときは、またはを押して表示させます。

「縦書：あり」が表示されていることを確認してください。

行 配置 縦書
2 左寄 あり →

参考：

全体書式で「縦書き」を設定すると、すべての行の行書式は自動的に「縦書き：あり」に変わります。

2. を押して縦書「あり」を反転表示させ、を押します。
縦書きの初期値「なし」が表示されます。

行 配置 縦書
2 左寄 なし →

3. を押します。

2ブロック1行目が横書きに設定され、画面がもとに戻ります。

インジケータで確認してみましょう。

またはを押して、カーソルをすべての行に移動してみてください。全体書式が縦書きに設定されているので、全体書式の縦書インジケータは、カーソル位置にかかわらず点灯しています。しかし、行書式の縦書インジケータは、横書きに戻した行にカーソルを移動すると消灯します。

ご注意：

縦書き・横書きの混在ラベルを作るときは、全体書式を縦か横に設定したあと、行書式を設定してください。縦・横の行書式を設定したあとで全体書式を設定すると、先に設定した縦・横の行書式は、すべての行で全体書式と同じになります。

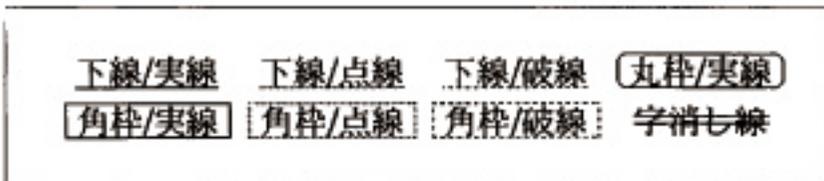
参考：

90ページの2枚のラベルを比べてみてください。ラベルの長さがちがいます。このように数字や英文字は、縦書きのときと横書きのときとで文字の送り幅（ピッチ）が異なります。

行を枠で囲む・下線を引く

罫線は、下線が実線・点線・破線の3種類、角枠（かどわく）が実線・点線・破線の3種類、そのほか実線の丸枠と字消し線の計8種類が用意されています。これらのうちどれか一つを選んで、行単位で設定できます。罫線を設定していないときは、初期値の「罫線：なし」でプリントされます。

● 罫線のプリントサンプル



● 罫線（行書式）を設定する

では、罫線を設定してみます。何か文章を入力してください。行に下線を実線で引いてみます。

1. を押して、 を押します。
行書式の設定画面が表示されます。カーソルがある行の行頭マークが反転表示しています。配置を設定したい行が表示されていないときは、 または で表示させてください。

行 配置 縦書
 左寄 なし →

2. 「罫線」が表示されるまで を押します。
現在設定されている罫線の種類（この例では「なし」）が反転表示しています。

行 罫線
 ← **なし**

3. または を押し、設定したい罫線の種類「下線/実線」を反転表示させます。

行 罫線
 ← **下線/実線**

4. 設定した内容を確認し、を押します。

罫線が「下線/実線」で設定され、画面はもとに戻ります。行書式の下線インジケータが点灯します。

参考：

- を押す前にで行頭マークを反転表示させ、またはを押すと、他の行の設定を続けておこなうことができます。
- を押す前に手順2以降と同様にして、「配置」など他の行書式の設定を続けておこなうことができます。
- 字消し線を選んだときにも、下線インジケータが点灯します。丸枠と角枠を選択したときは、行書式の枠インジケータが点灯します。

便利：他の行へジャンプ

多行組みラベルのときは、設定項目を反転表示させたまま、を押してまたはを押すと、他の行の行書式の設定を続けておこなうことができます。

ご注意：

- 行書式で罫線を設定すると、設定した行の文字と罫線が多少重なることがあります。
- 文字サイズの設定などにより、上下の行で罫線が重なることがあります。

● 罫線を初期値に戻すときは

罫線を設定するときの手順2で、を押すと罫線の初期値「なし」に戻ります。また、設定の手順1のあと、を押してを押すと、すべての行の行書式（配置、縦書き、罫線）が初期値に戻ります。

ラベル全体では枠囲みいろいろ

ラベル全体を囲む罫線には、角枠（かどわく）が実線・点線・破線の3種類、丸枠が実線で1種類、表形式に枠を囲む表罫が実線・点線・破線の3種類、飾り罫（イラスト枠線）が7種類、の計14種類が用意されています。罫線を設定していないときは、初期値の「罫線：なし」でプリントされます。

● 罫線のプリントサンプル

飾り罫（イラスト枠線）でラベル全体を囲むと、人目を引く楽しいラベルが作れます。備品の管理用ラベルなどには表罫が便利です。表罫はブロック間と行間に自動的に罫線を引きます。



● 罫線（全体書式）を設定する

では、罫線を設定してみましょう。何か文章を入力してください。「リボン」で全体を開んでみます。

1. を押して、を押します。
全体書式の設定画面が表示されます。罫線の初期値「なし」が反転表示しています。

参考：

全体書式は、ラベル全体を規制します。したがって、行書式とは異なり、カーソルはどの行に位置していてもかまいません。

罫線：なし
配置：左寄せ

2. またはを押して、設定したい罫線の種類（この例では「リボン」）を反転表示させます。

参考：

再び初期値に戻すときは、ここでを押します。

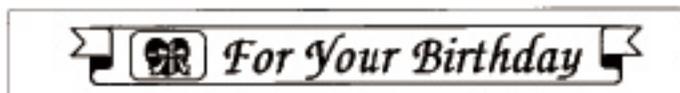
罫線：リボン
配置：左寄せ

3. 設定した内容を確認し、を押します。
全体書式が「罫線：リボン」で設定され、画面はもとに戻ります。全体書式の枠インジケータが点灯します。

参考：

罫線を設定すると、全体書式の表インジケータが点灯します。

では、プリントしてみてください。リボンの形をした罫が自動的に引かれました。



参考：

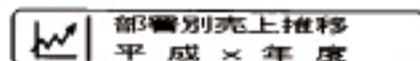
サンプルを見てお気付きのように、行書式で罫囲みした上に、全体書式で枠をつけることができます。つまり、行書式の罫線と全体書式の罫線のプリント位置は異なります。

決まった長さのラベルを作る

これまでラベルの長さは、入力された文章や行の長さに応じて自動的に決められていました。ところが、ビデオテープやフロッピーディスク、レター・トレーなどは、ラベルを貼るスペースが限られています。こんなときは、全体書式の定長（ていちょう）を設定して、ラベルの長さを決めます。定長を設定できるラベルの最小値は20mm、最大値は250mmです。

■ ラベルの長さを設定する

右の例のような3.5インチのフロッピーディスクのラベルを、12mm幅テープで作ってみましょう。ラベルの長さは72mmで設定します。



まず、文章を入力してください。1ブロック目は記号のジャンル「仕事」から「

参考：

定長を設定するときは、イメージ表示で確認しながらおこなうと失敗が少なくて済みます。

ご注意：

定長で設定する長さは、およその値です。設定値とプリント結果との多少の誤差はあらかじめご了承ください。

1. 文章の入力と書式の設定が済んだら、を押して を押します。

プリントイメージが表示されます。画面の右上には、ラベルの長さが「80mm」と表示されています。

80mmでは3.5インチのフロッピーディスクに取りまきられません。



2. 定長を設定するために、を押してを押します。
全体書式の設定画面が表示されます。

罫線：**丸枠/実線**
配置：**左寄せ**

3. 定長を設定したいので、定長「自動」が反転表示されるまでを押します。

余白：**小**
定長：**自動**

4. またはを押して、設定したい長さ「72」を表示させます。

余白：**小**
定長：**72**

参考：

- ・を押すと、定長設定できる最小値「20」（単位はmm）が表示されます。
- ・を押すと、定長設定できる最大値「250」が表示されます。
- ・またはを押してすぐ離すと、数値は「1」ずつ変わります。押し続けると、数値は「10」ずつ変わります。
- ・ここでを押すと、定長の初期値「自動」に戻ります。

便利：キーボードから数値入力

設定値は、カーソルキーの代わりにキーボードから数値で入力することができます。
この例では「0」「7」「2」と3桁で数値を入力します。

5. を押します。
ブロック長の設定を選択する画面が表示されます。

ブロック長設定 **49**
しない **する**

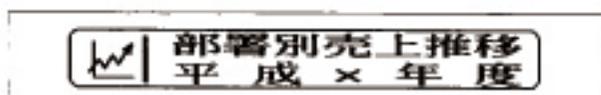
参考：

画面右上の数字は、設定できるブロック長の(複数のブロックがあるときはその合計の)最大値です。

6. ここではブロック長は設定しないので、「しない」が反転表示されたままを押します。
再び、プリントイメージの表示画面に戻り、定長インジケータが点灯します。
ラベルの長さが「72mm」と表示されています。

を押して、プリントしてください。「定長印刷中」というメッセージが表示されます。うまくできましたか？

定長を設定していないラベルを下に示しますので、96ページの定長でプリントしたラベルと比べてください。



2ブロック目の「文字高さ」は「自動」で設定したので、定長を設定していないラベルでは、セットしているテープ幅に2行でプリントできる最大の文字高さ「S」でプリントされています。

ところが、定長を設定すると、設定されたラベルの長さに文章を収めるために、文字高さが自動的に「SS」に変えられています。

このように、定長を設定すると、「自動」で設定されている文字高さは、定長に収まる最大の大きさに自動的に変えられます。

ご注意：

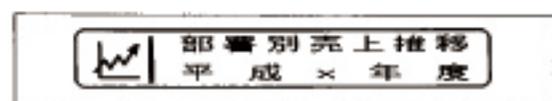
文章が長すぎたり、文字高さの設定が大きすぎて、設定した定長に収まりきれないときは、イメージ表示をすると「定長オーバー」が表示されます。エラーメッセージのあと、ラベルからどの程度はみ出ているかがイメージ表示され、現在のラベルの長さが表示されます。イメージ表示を確認しながら、文章を削るか、行書式設定を変えるかなどしてください。



● ラベルのバランスを整えるには

ところで、定長でプリントしたラベルを見てください。枠の右側に余白があり、あまりバランスが良くありません。

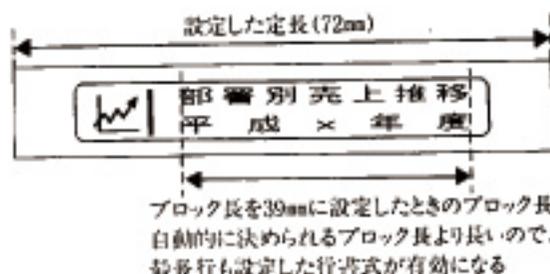
ところが、右のようなラベルだとどうでしょうか。2ブロック目の2行とも枠内に均等に割り付けられ、バランスが良いですね。



ブロック長は、この図のように、初期値「設定しない」では入力された行のうち最長の行と等しくなります。したがって、ブロック長を設定しないときは、ブロックの中の最長行（この例では「部署別売上推移」）は、行書式の配置を何で設定しても結果は同じになります。



ブロックの最長行を均等に割り付けるには、この図のように自動的に決められるブロック長より長いブロック長を設定します。



参考：

- ・ブロック長は、文字の量と書式によって自動的に決まる最長行の長さ、または、任意の設定値のうちのいずれかで決まります。
- ・1ブロックのラベルに定長を設定すると、例外としてブロック長は設定された定長に収まる最大値となります。

■ ブロックの長さを設定する

では、先ほど作ったラベルにブロック長を設定してみます。

1. を押して を押します。
全体書式の設定画面が表示されます。

罫線：丸枠/実線
配置：左寄せ

2. を押します。
ブロック長の設定を選択する画面が表示されます。

参考：

画面右上の数字は、設定できるブロック長の(複数のブロックがあるときはその合計)の最大値です。

ブロック長設定 49
しない する

ご注意：

定長が設定されていないときは、ブロック長設定画面になりません。

3. ブロック長を設定したいので、 を押して「する」を反転表示させ、 を押します。
各ブロックごとに、現在設定されているブロック長が表示されます。この例ではブロックが2つ入力されているので、「ブロック長1：自動」「2：自動」が表示されています。

ブロック長1：自動
2：自動

参考：

ブロック長の番号は、入力されている順に(横書きのラベルでは左から順に)つけられます。

4.  または  を押して設定するブロック長を反転表示させ、 または  を押して、設定したい長さを表示させます。

ここでは、ブロック長1に「10」をブロック長2に「39」を設定します。

ブロック長 1 :	1 0
2 :	3 9

参考：

-  または  を1度押すと、設定できる最大値が表示されます。
-  または  を押してすぐ離すと、数値は「1」ずつ変わります。押し続けると、数値は「10」ずつ変わります。
- 設定したい長さをキーボードから入力することもできます。このときは、数値を3桁（この例のときでは「010」、「039」）で入力してください。
- ブロック長の値が反転表示しているときに  を押すと、初期値「自動」に戻ります。

ご注意：

- 自動的に決められるブロック長よりも小さな値を設定すると、イメージ表示のときやプリントのとき「ブロック長オーバー!」が表示されます。ブロック長を大きくするか、文字を削除したり、書式の設定を変えてください。
- 設定できるブロック長の合計の最大値（この例では「49」）より大きな値を設定すると、「定長オーバー!」が表示されます。何かキーを押してもう一度設定をやり直してください。

5.  を押します。

ブロック長が設定され、画面がもとの文章入力画面に戻ります。

イメージ表示で見てください。

 を押して  を押してください。設定したブロック長の右端が点線で表示されます。



ご注意：

設定したブロック長が小さすぎて文章が収まらないときは、「ブロック長オーバー!」が表示されます。エラーメッセージのあと、ブロック長の右端がイメージ表示されますので、ブロック長の設定を変えてください。

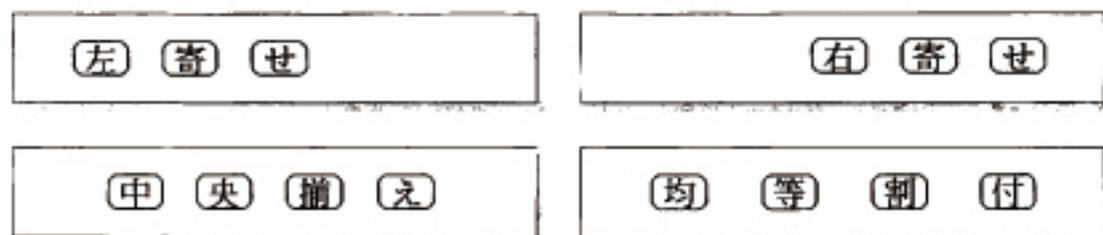
プリントしてみてください。長い方の行にも行書式で「配置：均等」を設定していたので、ブロック長を長くしたときにブロックの中で均等配置されています。これでバランスの良いラベルができましたね。

■ ブロックをレイアウトする

ブロックが複数あるときは、各ブロックをラベルのどこにレイアウト（配置）するかということもデザイン上の大きなポイントになります。ブロックのレイアウトは、全体書式の「配置」の中の左寄せ・均等割付・中央揃え・右寄せの4つから選択します。

● ブロックの配置のプリントサンプル

3ブロックと4ブロックのプリントサンプルを例示します。



参考：

定長を設定していないとき、ラベルの長さは、入力されているブロックを端からつめて配置したときの長さになります。ブロックの配置は、ラベル長の中での配置ですから、定長を設定していなければブロックのレイアウトは意味を持ちません。上のプリントサンプルは、定長「70」、ブロック長は各「10」で設定しています。3つまたは4つのブロックが、ラベルの中でそれぞれレイアウトされていることを確認してください。

● ブロックの配置を設定する

では、ブロックの配置を設定してみます。96ページで作った、ブロック長を設定する前のラベルを使って、「中央揃え」を設定してみましょう。

参考：

定長やブロック長、ブロックの配置の設定は、イメージ表示をしてからはじめると、わかりやすく失敗がありません。

1. を押して、 を押します。
全体書式の設定画面が表示されます。

罫線：丸枠/実線
配置：左寄せ

2. を押して配置「左寄せ」を反転表示させます。

罫線：丸枠/実線
配置：左寄せ

3.  または  を押して、「中央揃え」を反転表示させます。

参考：

ここで  を押すと、ブロックの配置が初期値「左寄せ」に戻ります。

罫線：丸枠/実線
配置：中央揃え

4.  を押します。
ブロック長を設定する画面が表示されます。

ご注意：

定長が設定されていないときは、ブロック長設定画面は表示されません。

ブロック長設定 5 1
しない する

5. ここでは、ブロック長を設定しないので、「しない」が反転表示されたまま  を押します。
ブロックの配置が設定され、画面がもとの文章入力画面に戻ります。

これも、プリントしてみてください。99ページで作ったラベルとは異なるバランスのラベルができました。
同じ文章を使って「左寄せ」「右寄せ」「均等割付」で配置した例を示しますので、参照してください。

中央揃え

 | 部署別売上推移
平成 × 年度

左寄せ

 | 部署別売上推移
平成 × 年度

右寄せ

 | 部署別売上推移
平成 × 年度

均等割付

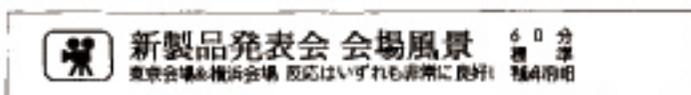
 | 部署別売上推移
平成 × 年度

● 多ブロックのレイアウトテクニック

ブロックの中での行のレイアウトやラベル全体の中でのブロックのレイアウトは、ラベルを美しく見せるための大切なテクニックです。特に、多ブロックのラベルに定長を設定したときは、腕の見せどころ。ブロック長の設定とブロックの配置、さらに行書式の配置をうまく組み合わせて、「差のつく」ラベルを作ってください。

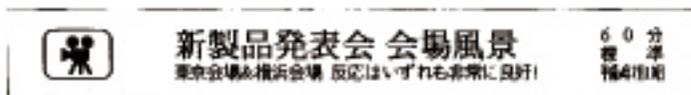
行とブロックのレイアウトの効果をより明確に理解し、そのテクニックを身につけるために例題をやってみましょう。

1. 12mm幅のテープを使って下のラベルを入力してください。
3ブロック目は3行とも行書式で「均等」を設定します。定長を92mm、ブロック長「設定：しない」で設定してください。



ラベルの右端のスペースが大き過ぎてバランスが悪いですね。

2. この3つのブロックを均等に割り付けてみます。
全体書式で「配置：均等割付」を設定してください。

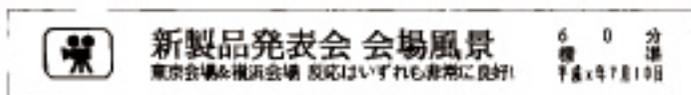


3つのブロックがラベル全体に均等に配置されています。でも3ブロック目に文字が詰め込まれ過ぎていて、やはりバランスがよくないという印象です。

3. 今度はブロック長を設定してみましょう。
全体書式設定画面を表示し()を押すと、再びブロック長の設定画面になります。
今回は、ブロック長設定「する」を選択してください。この例では、設定できる3つのブロック長の合計の最大値は79mmです。
99ページの手順3～5を参照して、ブロック長をブロック1は「10」、ブロック2は「50」、ブロック3は「14」で設定してください。

参考：

ブロック長の合計を最大値で設定すると、全体書式の配置はどれを選択しても結果は同じになります。



今度はどうでしょうか？3つのブロックがバランスよく収まっていると思われませんか？

もう一例、66ページのサンプルのブロック長と行の配置を種明かししますので、参考にしてください。



- ブロック1：ブロック長15、行の配置：左寄せ
 - ブロック2：ブロック長55、行の配置：均等
 - ブロック3：ブロック長25、行の配置：中央（2行とも）
 - ブロック4：ブロック長30、行の配置：右寄せ
- なお、全体書式の配置は「左寄せ」です。

第4章

ラベルをデザインする

ラベルのデザインは、ある特定の行に対して設定するもの(行書式)と、ラベル全体を設定するもの(全体書式)とに大きく分けられます。この章では、「レタリ」のもつ豊富なデザイン機能のすべてを説明します。設定操作はとても簡単ですから、これらをいろいろ組み合わせて、オリジナルのラベルデザインを楽しんでください。

ラベルをデザインする前に	66
文字の大きさを覚える(行単位の設定)	67
文字を装飾する(行単位の設定)	71
書体を覚える(行単位の設定)	74
多行組みのラベルを作る	77
多ブロックのラベルを作る	81
行をバランス良くレイアウト(行単位の設定)	85
縦書きにする	
ラベル全体を縦書きに(ラベル全体の設定)	89
縦書き・横書き混在ラベル(行単位の設定)	90
行を持って囲む・下線を引く(行単位の設定)	92
ラベル全体では枠囲みいろいろ	
(ラベル全体の設定)	94
決まった長さのラベルを作る(ラベル全体の設定)	
ラベルの長さを設定する	96
ブロックの長さを設定する	99
ブロックをレイアウトする	101
その他のラベル全体の設定	
ラベルの余白を調整する(ラベル全体の設定)	105
文字間隔を調整する(ラベル全体の設定)	105
文字の桁合わせをする(ラベル全体の設定)	106
全文を鎖文字にする(ラベル全体の設定)	106
ラベルデザイン機能のまとめ	107
書式を初期値に戻す	108



その他のラベル全体の設定

ここでは、全体書式の中のその他の項目について説明します。それぞれの設定のしかた、設定の解除のしかたは「ラベル全体を縦書きに」(89ページ)などを参照してください。

■ ラベルの余白を調整する

プリントするときにはできるラベルの左右の余白を、なし・小・中・大の4つの中から選択することができます。「なし」では、およそ4mmの余白ができます。「小」では8mm、「中」では12mm、「大」では25mmです。
余白を設定しないときの初期値は「大」です。

ご注意：

- ・転写テープなど一部の種類のテープでは、余白の設定をしてもすべて「大」でプリントされるものがあります。
- ・余白「大」以外をを設定すると、カットポーズありでプリントされます。

余白なし

余白小

余白中

余白大

■ 文字間隔を調整する

全体書式の「文字間」では、文字と文字の間隔を設定します。設定できるのは、標準・広い・狭いの3種類で、初期値は「標準」です。

文字間狭い

文字間標準

文字間広い

■ 文字の桁合わせをする

文字の桁合わせとは、上下の行の文字位置をきれいにそろえることをいいます。英数文字は漢字やひらがななどとは文字のピッチが違うため、英数文字と和文書体が混在しているときは、上下の行で文字の位置がそろいません。

文字の桁合わせをするときは、全体書式の「桁合わせ：あり」を選択します。初期値は「なし」です。

「桁合わせ：あり」に設定すると、全体書式の桁合インジケータが点灯します。

桁合わせ：なし

平成6年度
見積書控え

桁合わせ：あり

平成6年度
見積書控え

■ 全文を鏡文字にする

鏡文字とは、鏡に写したように左右逆さまにプリントされた文字のことです。透明のテープに鏡文字でプリントして、ガラス窓などの内側に貼り、外側から見ると、文字を正像で読むことができます。

鏡文字の初期値は「なし」で、「あり」に設定すると全体書式の鏡インジケータが点灯します。

㊦ あ字文鏡

鏡文字なし

ラベルデザイン機能のまとめ

これまで見てきたように、「レタリ」のラベルデザイン機能は非常に多彩です。それぞれの項目と設定値を組み合わせることで、その表現力はほとんど無限とも思えるほどです。

行書式と全体書式を一覧でまとめます。これらを駆使して、仕事に、私生活に「レタリ」を大いに活用してください。

● 行書式

使用するキー	設定項目	設定値 (印刷時の表示は別紙を参照してください)
3 3 3	文字高さ	自動 SS S M L LL VL
	文字幅	標準 長体 平体
4 4 4	装飾	なし 太字 袋 立体 影 袋影
	斜体	なし あり
5 5 5	英数字体	A B C D* E* F*
	和文書体	明朝体 ゴシック体*
2 2 2	配置	左寄せ 右寄せ 中央揃え 均等割付
	縦書き	なし あり
	罫線	なし 下線/実線 下線/点線 下線/破線 角枠/実線 角枠/点線 角枠/破線 丸枠/実線 字消し線

*はオプションの書体カートリッジ (品番:LM-F510) をセットしたとき設定できます。

● 全体書式

使用するキー	設定項目	設定値 (太字は初期値です)
	罫線	なし 角罫/実線 角罫/点線 角罫/破線 丸罫/実線 表罫/実線 表罫/点線 表罫/破線 (飾り罫) キャンディ、サッカー、花たば、メモ、吹き出し、表札、リボン
	配置	左寄せ 右寄せ 中央揃え 均等割付
	余白	大 中 小 なし
	定長	自動 20~250mm (1単位)
	文字間	標準 狭い 広い
	桁合わせ	なし あり
	縦書き	なし あり
	鏡像	なし あり

■ 書式を初期値に戻す

本文中でも説明していますが、もう一度、設定した書式の初期値への戻しかたを説明します。

1. を押して、を押します。
全体書式を設定する画面が表示されます。
2. を押してを押し、を押します。
全体書式がすべて初期値に戻り、画面はもとに戻ります。インジケータの消灯も確認してください。

「サイズ」「装飾」「書体」「行書式」についても同様です。

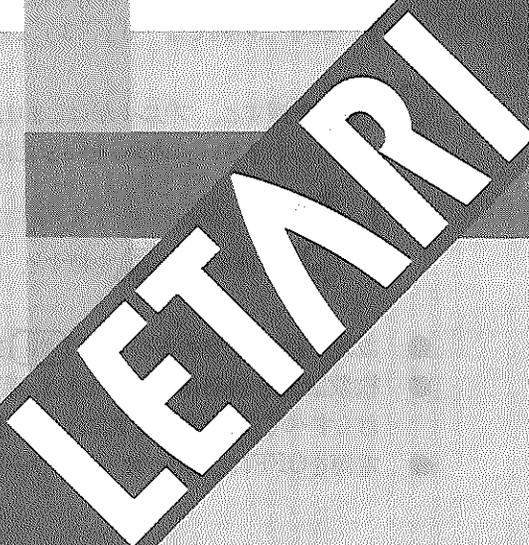
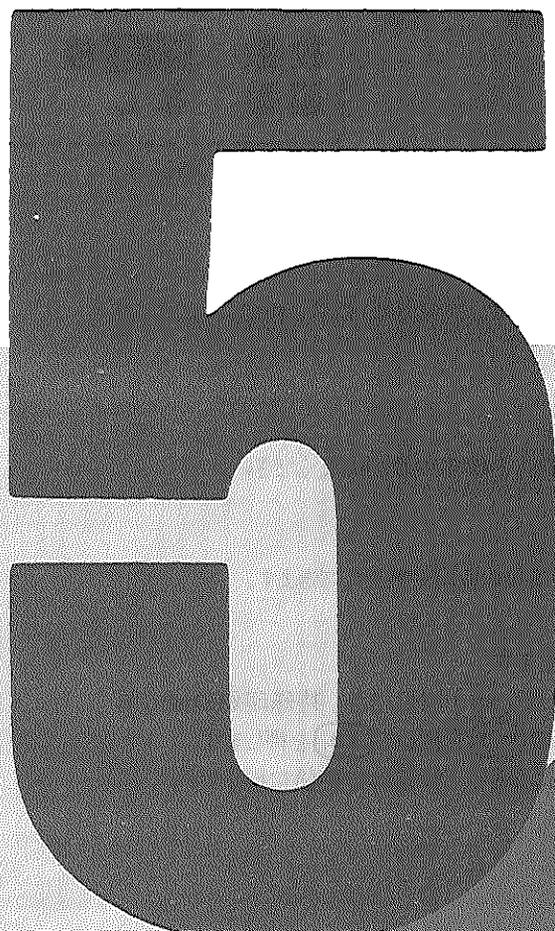
- 文章を消去してすべての書式を初期値に戻すには、全文消去をしてください(47ページ参照)。

第5章

プリントテクニック

ここでは、同じラベルを何枚も印刷したり、連番をつけたりなど、プリントするときの便利な機能（「特殊印刷」といいます）をご紹介します。

同じラベルを何枚も	110
連番をつけてプリントする	111
カットポーズなしで連続プリント	113
テープ幅より大きな文字をプリント	114



同じラベルを何枚も

同じラベルを何枚もプリントするときは、プリント枚数を設定すると、枚数を間違えずに楽にプリントできます。「レタリ」では、これを99枚まで設定することができます。初期値は「1枚」です。

では、プリント枚数を設定してみましょう。ここでは3枚をプリントすることにします。何か文章を入力してください。

ご注意：

- ・連続プリント中に「電池弱」状態になったときは、エラーメッセージを表示したあとプリントを継続します。
- ・連続プリント中に「電池交換」状態になったときは、エラーメッセージを表示したあとプリントを強制的に中止します。
- ・連続プリントをするときはACアダプタのご使用をおすすめします。

1. を押して、を押します。

特殊印刷の設定画面が表示されます。

枚数の設定値（ここでは「1」）が反転表示されているのを確認してください。

枚数：  枚
連番： なし

2. またはを押して、プリントしたい枚数「3」を表示させます。

参考：

またはを押してすぐ離すと、数値は「1」ずつ変わります。押しつづけると「5」ずつ変わります。

便利：

枚数をキーボードから入力することができます。このときは、必ず2桁で入力してください。この例では「0」「3」と入力します。

枚数：  枚
連番： なし

3. を押すと、プリントがはじまります。

「カットして下さい」のメッセージに従って、1枚ずつカットしてください。

参考：

を押す前にを押すと、他の項目の設定が続けてできます。

- 設定を途中でやめるときは、を押します。
- 枚数設定を初期値に戻すときは、手順1でを押します。特殊印刷の値の項目もすべて初期値に戻すには、手順1でを押してを押します。
- 電源をOFFにしたり、オートパワーオフになると、設定は初期値に戻ります。

連番をつけてプリントする

複数枚のラベルをプリントするときに、そこに含まれている数字を自動的に1ずつ加算しながら(連番)プリントすることができます。備品管理用のラベルなど、同じ内容で番号だけを変えたいときなどに威力を発揮します。

連番は1つのラベルに1ヶ所、任意の位置に設定でき、印刷枚数の設定とあわせておこないます。初期値は「連番：なし」です。

では、連番を設定してみましょう。

品名	LAP TOP PCDX100
管理番号	A - 9 4 - 2 0 1
管理部署	業 務 管 理 部
社 名	Advanced Computer

このラベルの管理番号を「201」から「210」までの連番にして、10枚プリントしてみます。

参考：

- ・このラベルは、24mm幅のテープで「はやわざ」レイアウトの「管理備品(大)」を使って作っています。1ブロック目はすべて入力済みですので、2ブロック目だけを入力してください。
- ・特殊印刷の設定は、イメージ表示画面や「はやわざ」からもはじめることができます。

1. を押して、を押します。
特殊印刷の設定画面が表示されます。

枚数：  枚
連番： なし

2. またはを押して「枚数：10」を設定し、を押します。

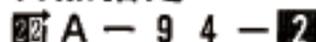
枚数： 1 0 枚
連番： 

3. またはを押して連番「あり」を反転表示させ、を押します。
連番を開始する数字がどれかを指定する画面が表示されます。

始点指定
 A - 9 4 - 2

4. ここでは3桁の数字を連番にしたいので、3桁目の「2」を始点として指定します。
カーソルを「2」の下に移動し、を押します。
始点に指定した「2」が反転表示され、終点を指定する画面になります。

終点指定



5. 1桁目の数字「1」の下にカーソルを移動します。
連番を開始する数字「201」が反転表示されます。

終点指定



ご注意：

- 例えばここで、始点を1桁目の「1」、終点も同じく「1」と指定すると、連番の対象は1桁目の数字になり、10枚目のプリント結果は「2010」となります。
- 数字以外の文字を含んで始点・終点は指定できません。
- 指定できる最大桁数は5桁です。5桁の数字を指定して、6桁目に桁上がりするときは、途中でプリントが終了します。
- 定長が設定されているとき、桁上がりすると定長を超えると途中でプリントが終了します。

参考：

手順4と5で、先に1桁目の「1」を始点として指定し、3桁目の「2」を終点として指定してもかまいません。

6. を押すと、連番プリントがはじまります。
「カットして下さい」のメッセージに従って、1枚ずつカットしてください。
プリントが終了すると、もとの画面に戻ります。最初に入力した「201」が自動的に「10」加算されて「211」になっていることを確認してください。

参考：

を押す前に  または  を押すと、他の項目の設定が続けてできます。

- 設定を途中でやめるときは、を押します。
- 連番プリントを初期値に戻すときは、手順3で を押します。特殊印刷の他の項目もすべて初期値に戻すには、手順1で を押して を押します。
- 電源をOFFにしたり、オートパワーオフになると、設定は初期値に戻ります。

カットポーズなしで連続プリント

ラベルを複数枚プリントするときは、カットポーズがあると1枚ずつカットしなければならぬので、ちょっと面倒と思われるかもしれません。カットポーズは「なし」にすることができます。

では、さっそくやってみましょう。何か文章を入力してください。

参考：

特殊印刷の設定は、イメージ表示画面や「はやわざ」からもはじめることができます。

1. を押して、を押します。
特殊印刷の設定画面が表示されます。

枚数： **10**枚
連番： なし

2. カットポーズ「あり」が反転表示されるまで、を押します。

カットポーズ： **あり**
拡大： なし

3. またはを押してカットポーズ「なし」を反転表示させ、を押します。
カット止インジケータが消灯し、プリントがはじまります。今度は設定した枚数のプリントが終了するまで止まりません。ラベルはプリントが終了したあと、はさみなどでカットしてください。

参考：

実行を押す前にまたはを押すと、他の項目の設定が続けてできます。

ご注意：

カットポーズの設定は、電源をOFFにしたり、オートパワーオフになっても初期値に戻りません。

- 設定を途中でやめるときは、を押します。
- カットポーズを初期値に戻すときは、手順2でを押します。特殊印刷の他の項目もすべて初期値に戻すには、手順1でを押してを押します。

テープ幅より大きな文字をプリント

設定できる文字高さには、テープ幅によってそれぞれ制限がありました。ところが拡大プリントをすると、制限高さの倍の大ききでテープに文字の上下を半分ずつプリントして、テープ幅を超えた大きな文字をプリントすることができます。このとき文字の幅も自動的に倍になります。

では、さっそくやってみましょう。何か文章を入力してください。文字サイズは「高さ：自動」で設定します。「文字幅：平体」にすると文字幅はさらに倍になります。

参考：

特殊印刷の設定は、イメージ表示画面や「はやわざ」からもはじめることができます。

1. を押して、を押します。
特殊印刷の設定画面が表示されます。

枚数： **01** 枚
連番： なし

2. 拡大「なし」が反転表示されるまで、を押します。

カットポーズ： **あり**
拡大： **なし**

3. またはを押して拡大「あり」を反転表示させ、を押します。
プリントがはじまります。文字の上下が半分ずつプリントされています。上下の余白はカッターなどで切って貼りあわせてください。

テクニックヒント：

透明テープを使うと、余白をカットせずにきれいに上下を貼りあわせることができます。

ご注意：

何度も拡大プリントをするときは、ACアダプタのご使用をおすすめします。

下のラベルは、「レタリ」でプリントできる最大のサイズの文字です。24mmテープを使い、「文字幅：平体」で設定しています。

最大

ご注意：

- ・長い文章などでは、上下の文字を合わせたとき、微妙なズレが生じることがあります。
- ・枚数の設定は無効です。複数枚の設定をしても、1枚しかプリントされません。

テクニックヒント：

- ・テープの色を変えて2回プリントすると、上下の色が異なった楽しいラベルが作れます。
- ・偶数の行数のラベルを拡大プリントすると、文字をカットせずにテープを貼りあわせることができます。

- 設定を途中でやめるときは、**ESC**を押します。
- プリントが終了すると、自動的に初期値に戻ります。

文章をファイル(保存)する

ラベルを作ったあとファイルしておく、あとで何度でも呼び出して使えるので大変便利です。苦勞して作ったラベルは、ぜひファイルしてください。

ファイルに登録できる文章は最大100まで、または最大文字数約2,300文字までです。オプションのファイルカートリッジをセットすると、さらにその約7倍までをファイルすることができます。

便利：

内蔵ファイルに登録すると、「はやわざ」レイアウトとして使うことができます。詳しくは、「オリジナルの「はやわざ」レイアウトを作る」(123ページ)を参照してください。

参考：

外字を登録すると、ファイルに登録できる総文字数は少なくなります(最小で約1,600文字程度)。

警告：

「レタリ」の内部ファイルに保存した文章や、別売のファイルカートリッジに保存した文章は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、当社では一切その責任を負いません。ご了承ください。

● ファイルを新しく登録する

では、文章をファイルに登録してみましょう。何か文章を入力してください。

参考：

ファイルの登録を途中でやめるときは、を押します。

1. を押して、を押します。
ファイルのモード選択画面が表示されます。

モード選択
呼出 登録 削除

2. を押して「登録」を反転表示させ、を押します。
ファイルの登録番号が表示されます。

登録選択



参考：

登録番号は、登録できる最も若い番号が表示されます。またはを押して、任意の番号に登録することができます。

便利：使用するテープ幅も登録

このとき **登録** を押すと、画面の右上にテープ幅が表示されます。**登録** を押すたびに、6mm→9mm→12mm→18mm→24mm→自動（表示なし）→6mm…と切り替わります。テープ幅を表示させて文章をファイルに登録しておく、ファイルを呼び出すときなど、文章とともに使用するテープ幅が表示されて大変便利です。

3. **戻る** を押します。

ファイルが登録され、もとの画面に戻ります。

● ファイルを上書きして登録する

いったんファイルした文章を呼び出して訂正を加えたとき、もう一度新しいファイルとして登録するのは無駄です。こんなときは、もとのファイルに上書きして登録します。

1. **登録** を押して、**戻る** を押します。

ファイルのモード選択画面が表示されます。

モード選択
呼出 登録 削除

2. **登録** を押して「登録」を反転表示させ、**戻る** を押します。

ファイルを登録する番号が反転表示されます。

登録選択 **0**

3. **上書き** または **上書き** を押して、上書きするファイルを表示させます。

登録されているファイルが、登録番号と文章の先頭の文字とともに表示されます。

登録選択 **0** **12mm**
0 × × × × × × × ×

登録番号と先頭の文字

参考：

- ・このとき **戻る** を押すと、隠れていた文章がスクロールして表示されます。
- ・もとの文章をファイルするときにテープ幅を表示させてファイルしておく、画面の右上に、表示されているファイルで使われているテープ幅が表示されます。

4. **戻る** を押します。

上書きを確認するメッセージが表示されます。

上書きしますか
0 × × × × × × × ×

5. を押します。
ファイルが上書きされ、もとの画面に戻ります。

● 外部ファイルに登録する

外部ファイルに登録するときは、の代わりにを使います。その他の操作は、内蔵ファイルの操作と同様です。

外部ファイルは8つのディレクトリ（ファイルをしまう「机の引き出し」のようなもの）にわかれていて、A～Hの名前がついています。

外部ファイルに登録するときは（呼び出すときや削除するときも）、モード選択画面でまたはを押すと、ディレクトリを指定することができます。

A モード選択
呼出 登録 削除

■ ファイルした文章を呼び出す

登録したファイルの呼び出しには、画面に表示されている文章に呼び出したファイルを上書きするか、連結するか、の2つの方法があります。

● 上書きして呼び出す

画面に表示されている文章があるとき、ファイルを上書きして（連結しないで）呼び出すと、画面に表示されていた文章は全消去されます。

1. を押して、を押します。
ファイルのモード選択画面が表示されます。

モード選択
呼出 登録 削除

2. 「呼出」が反転表示しているのを確認して、を押します。
登録されているファイルが、登録番号と文章の先頭の文字とともに表示されます。

呼出選択 12mm
0 XXXXXXX

参考：

- このときまたはを押すと、隠れていた文章がスクロールして表示されます。
- もとの文章をファイルするときにテープ幅を表示させてファイルしておくと、画面の右上に、表示されているファイルで使われているテープ幅が表示されます。

3.  または  を押して呼び出したいファイルを表示させ、 を押します。

4. 「しない」が反転表示されていることを確認して、 を押します。

ファイルが呼び出され、もとの文章は消えています。

連結
しない する

参考：

両面に文章が何も入力されていないときは、この画面は表示されずファイルが呼び出されます。

● **ファイルを連結して呼び出す**

上記の手順3で、連結「する」を反転表示させ、 を押すとファイルを連結します。

ファイルを連結して呼び出すと、画面のカーソル位置に呼び出されたファイルが挿入されます。このとき、もとの文章はカーソル位置で改ブロックされ、呼び出したファイルは、新しいブロックとして挿入されます。

ご注意：

- ・ 連結させたとき、全体書式は両面にはじめに表示されていた文章の書式になります。
- ・ 全体書式でブロック長が設定されていても、連結させたときは両方とも初期値「自動」に変わります。
- ・ ファイルを連結すると5ブロックを超えてしまうときには、「5ブロックまでです!」が表示され、連結できません。
- ・ 「レタリ」で入力できる文字数には制限があります。行数やブロック数が増えると入力できる文字数が減少します。5ブロック5行構成のときの制限文字数は、改行、改ブロックマークを含んで160文字まで、1ブロック1行のときは、280文字までになります。ファイルを連結するとこれらの制限文字数を超えてしまうときには、「文字数オーバー!」が表示され、連結できません。

■ ファイルした文章を削除する

不要になったファイルは削除します。

1. を押して、を押します。
ファイルのモード選択画面が表示されます。

モード選択
呼出 登録 削除

2. を押して「削除」を反転表示させ、を押します。
登録されているファイルが、登録番号と文章の先頭の文字とともに表示されます。

削除選択 12mm
0 × × × × × × ×

← 登録番号と先頭の文字

参考：

- ・このとき を押すと、隠れていた文章がスクロールして表示されます。
- ・このとき を押して を押すと、登録されているすべてのファイルを削除することができます。

3. または を押して削除したいファイルを表示させ、を押します。
削除されるファイルが反転表示され、削除を確認するメッセージが表示されます。

削除しますか？
0 × × × × × × ×

4. を押します。
ファイルが削除され、もとの画面に戻ります。

「はやわざ」を駆使する

オリジナルの「はやわざ」が作れるのが、「レタリ」の大きな特長です。オフィスやお店の実情にピッタリのオリジナルの「はやわざ」を作って、「レタリ」を活用してください。

■ オリジナルの「はやわざ」レイアウトを作る

すでにご紹介したように、内蔵ファイルに登録された文章はすべて「はやわざ」として使うことができます。ここでは、既製の「はやわざ」レイアウトを流用してオリジナルの「はやわざ」レイアウトを作る方法を説明します。

1. を押します。

「ウェルカムメッセージ」のあと、「はやわざ」レイアウトを選択する画面が表示されます。

レイアウトを選択して下さい
ファイルの呼び出し……

2. またはを押して流用したいレイアウトタイトルを表示させ、を押します。

選択したレイアウトの最初の行の入力を促すメッセージが表示されます。

メッセージに従って文字の入力を続けます。入力が終わると、「プリントキーを押して下さい!」のメッセージが表示されます。

①シンボルは?



3. このとき を押して入力した文章を何か表示させ、を押します。

「はやわざ」の終了を確認するメッセージが表示されます。

はやわざモード
を終了しますか

4. を押します。

「はやわざ」が終了し、通常のテキスト入力モードに戻ります。

5. イメージ表示を確認しながら、書式を変更してください。

すでに書式が設定されているので、部分的に変更するのは簡単です。

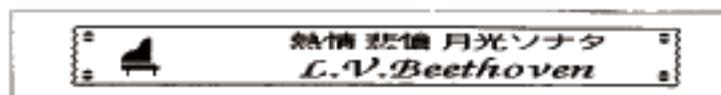
6. 納得のいくデザインができたなら、内蔵ファイルに登録してください。

内蔵ファイルに登録すると、このあと「はやわざ」の「ファイル呼び出し」で、オリジナルの「はやわざ」レイアウトとして使うことができます。

参考：

ファイル登録については、「文章をファイル(保存)する」(118ページ)を参照してください。

次の例は55ページの「はやわざ」レイアウトを利用して作成したラベルです。



■ オリジナルのファイルを「はやわざ」する

ここでは、内蔵ファイルに登録した文章を、「はやわざ」レイアウトとして使う方法について説明します。

1. を押します。

「ウェルカムメッセージ」のあと、「はやわざ」レイアウトを選択する画面が表示されます。

レイアウトを選択して下さい
ファイルの呼び出し・・・

2. 「ファイルの呼び出し」が表示されていることを確認して、を押します。

登録されているファイルが、登録番号と文章の先頭の文字とともに表示されます。

呼出選択 12mm

0 × × × × × × ×

登録番号と先頭の文字

参考：

- ・このときを押すと、隠れていた文章がスクロールして表示されます。
- ・もとの文章をファイルするときにはテープ幅を表示させてファイルしておく、画面の右上に、表示されているファイルで使われているテープ幅が表示されます。

3. またはを押して呼び出したいファイルを表示させ、を押します。呼び出したファイルの1行目が、画面の上の行に反転表示されます。上の行に表示された文字を参照しながら、文字を入力してください。

① × × × × × × ×

便利：行をコピーする

ほとんど同じようなラベルを作る時など、画面の上の行(メッセージ行)に表示されている文字をコピーして使うと大変便利です。

画面の上の行に反転表示されている文字をコピーしたいときは、文字を入力する前にを押してください。また、このときを押してを押すと、すべての行を一度にコピーできます。

4. 以降は、既製の「はやわざ」レイアウトを使うときと同様です。「はやわざ」を使ってみよう」(60ページ)を参照してください。

● ファイル呼び出しとの違い

通常のファイル呼び出しと、「はやわざ」のファイル呼び出しとの違いについてまとめてみます。

「はやわざ」では、レイアウトを呼び出して文字を入力するだけで、あらかじめ設定されているデザインでプリントされます。つまり「はやわざ」は、書式について詳しく知らない方でもデザインラベルが簡単に作れることを目的としています。したがって、誤ってラベルのデザインを壊してしまうことがないよう、ラベル作成上いくつかの制約を設けています。

一方、通常のファイル呼び出しは、これらの制約はもちろんいっさいありません。書式などについてよく知っていて、あれこれバリエーションあふれるラベルを試してみたい方は、通常のファイル呼び出しをお使いください。

	通常のファイル呼び出し	「はやわざ」のファイル呼び出し
文章の入力	○	○
改行・改ブロック	×	○
行やブロックの連結	×	○
書式の設定・変更	×*	○

*縦書き・横書きの選択を除く

熟語を登録する・呼び出す

よく使う語や文章、入力にくい語などは登録しておく便利です。「レタリ」はこれらの語を熟語として登録し、いつでも呼び出して使えます。登録できるのは10熟語、または100文字までです。

では、熟語を登録してみましょう。よく使う会社名を登録してみます。

参考：

熟語の登録を途中でやめるときは  を押します。

1.  を押して、 を押します。
熟語を登録する画面が表示されます。

登録して下さい

参考：

- ・熟語の登録画面では、熟語として登録できる残りの文字数が数秒間表示されます。
- ・熟語が何か登録されているときは、登録されている熟語が表示されます。このときは、 または  を押して熟語の登録画面を表示させてください。

2. 文字を入力します。
ここでは、「レタリ販売株式会社」と入力してください。

参考：

絵文字やスペース、区点コードによる漢字の入力もできます。ただし、外字は熟語として登録できません。

3. 入力が終了したら、 を押します。
熟語の登録が終了し、もとの画面に戻ります。

参考：

 を押す前に  を押すと、熟語を続けて登録することができます。

ご注意：

入力した語を登録すると熟語の制限文字数100文字を超えたときには「メモリーオーバー」が表示され、登録できません。

■ 登録した熟語を使う

登録した熟語を使ってみます。ここで選択した熟語は、画面のカーソル位置に押入されます。

参考：

登録した熟語は、「はやわざ」で文字を入力するときも使うことができます。

1. を押して、を押します。
登録されている熟語の数と熟語が表示されます。

参考：

熟語が未登録のときは、登録画面になります。

登録数 1/10
 レタリ販売

2. またはを押して、使用したい熟語を表示させます。

参考：

このときを押すと、隠れていた語がスクロールして表示されます。

3. を押します。
画面がもとに戻り、選択した熟語が入力されています。

外部：なし 幅：12mm
 売株式会社__

■ 熟語を削除する

1. を押して、を押します。
登録されている熟語の数と熟語が表示されます。

参考：

熟語が未登録のときは、登録画面になります。

登録数 1/10
 レタリ販売

2. またはを押して、削除したい熟語を表示させます。

参考：

このときを押すと、隠れていた語がスクロールして表示されます。

3. を押してください。
削除を確認するメッセージが表示されます。画面の下の行には削除される語が表示されています。

削除しますか？
 レタリ販売

参考：

このとき、を押してを押すと、登録している熟語すべてを削除することができます。

4. を押します。
選択した熟語が削除され、もとの画面に戻ります。

外字を登録する・呼び出す

「レタリ」に内蔵されていない文字や絵文字、マークなどを、オリジナルで作ることができます。内蔵されている文字や絵文字などを参照して作ることもできますので、便利です。

外字の数は3文字まで、オプションのファイルカートリッジをセットしているときは6文字まで、登録できます。

では、外字の登録を試みましょう。外字は16ドットで作ります。

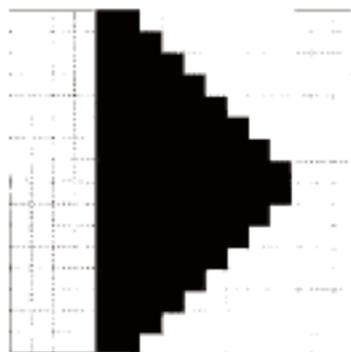
参考：

- ・外字の作成を途中でやめたり、前の画面にもどるときは **取消** を押してください。
- ・外字を登録すると、ファイルに登録できる総文字数が少なくなります。

まず、「レタリ」は横において、方眼紙を用意し16×16のマスを枠で囲みます。この枠内に外字を作ることになります。

次に、作りたい外字を方眼紙上にフリーハンドで描きます。ロゴマークなどはトレースします。

さらに今度は、描いた線を方眼で塗りつぶしていきます。斜線や曲線は方眼では塗りつぶせませんが、なるべくそれに近く見えるように塗っていきます。ここでできたものが、16ドットの外字の完成図です。



1. **取消** を押して、**呼** を押します。
外字のモード選択画面が表示されます。

外字モード選択
 作成 削除

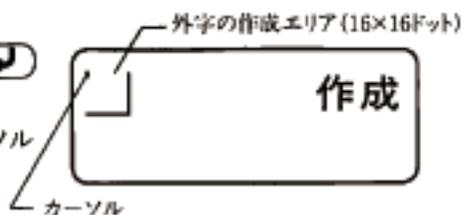
2. **1** または **2** を押して「作成」を反転表示させ、**呼** を押します。
作成する外字の番号を選択する画面が表示されます。

作成外字選択
 2 3

参考：

オプションのファイルカートリッジをセットしているときは、4～6までの番号もあわせて表示されます。

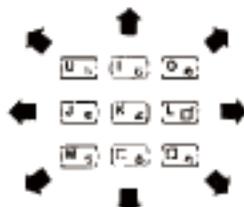
3.  または  を押して適当な番号を反転表示させ、 を押します。
外字の作成画面が表示されます。左上端に、カーソルが点灯しています。



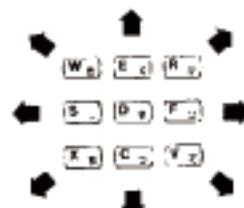
4. 下図のキーを使って、先ほどの完成図面を見ながら画面の方眼を塗りつぶしていきます。

カーソルキーは、ドットを描かずにカーソルを移動します。

それぞれのキーを押すと、ドットを描いたあと図の矢印方向に移動します。真ん中の  は、描いたまま移動しません。



ドットを消すときは、下図のキーを使います。それぞれのキーは、ドットを消したあと矢印方向に移動します。 はドットを消しそのまま移動しません。



ご注意：

外字を作成中に  を押すと、「中止しますか?」と表示され、 を押すと作成中の外字が破棄されます。

5. ドットを描き終わったら、 を押します。
外字モード選択画面に戻ります。

外字モード選択
呼出  編集 削除

6.  を押すと外字の作成を終了し、もとの画面に戻ります。

■ 外字を呼び出す

うまくできたかどうか、プリントして試してみましょう。

1. を押して、外字を押します。
外字のモード選択画面が表示されます。

外字モード選択
 作成 編集 削除

2. またはを押して「呼出」を反転表示させ、
を押します。
呼び出す外字の番号を選択する画面が表示されます。
登録済みの番号には「*」がついています。

呼出外字選択
 * 2 3

3. またはを押して呼び出したい外字の番号を反転表示させ、
を押します。
もとの画面のカーソル位置に外字が挿入されます。外字は画面ではこのように表示されます。
プリントしてみてください。うまくできていましたか？

外部：なし 幅：12mm
 *
 外字の画面表示

外字は16×16の方眼(16ドット)で作りました。実は16ドットのフォント(書体)というのは、「文字高さ：SS」をプリントするときのフォントです。したがって、16ドットのフォントを大きなサイズでプリントすると、文字のギザギザが目立って、あまり美しい仕上がりが得られないと思われるかもしれません。でも、「文字高さ：SS」でプリントしてみてください。結構きれいにできてませんか？

文字高さ：SS



文字高さ：L



これを「SS」以外の文字高さでもきれいにプリントするには、16ドットのフォントを編集して、24ドット(文字高さ：S)、32ドット(文字高さ：M)、48ドット(文字高さ：L)用のフォントにする必要があります。

参考：

「レタリ」の文字が美しいのは、すべての文字がこの4つのフォントを持っているためです。

■ 外字を編集する

では、編集をはじめてみましょう。まず24ドットにしてみます。

1. を押して、を押します。
外字のモード選択画面が表示されます。

外字モード選択
 作成 編集 削除

2. またはを押して「編集」を反転表示させ、
を押します。
編集する外字の番号を選択する画面が表示されます。
登録済みの番号には「*」がついています。

編集外字選択
 * 2 3

3. またはを押して編集したい外字の番号を反転表示させ、
を押します。
編集するドット数を選択する画面が表示されます。

ドット数選択
 16 : 24 : 32 : 48

4. 「24」を反転表示させ、を押します。
16ドットで作った外字が、24ドットの編集エリアに表示されます。

24ドットの編集エリア
 編集

参考：

- ・16ドットで作った外字を修正したいときは、ここで「16」を選択してください。
- ・48ドットの文字を選択すると、外字の下が隠れて表示されます。見えない部分を表示させるときはまたはを押し続けてください。
- ・外字の位置をずらしたいときは、を押して「移動」を選択するとカーソルキーで編集エリアの外字を平行移動することができます。外字の移動について詳しくは136ページを参照してください。

5. 130ページのキーの働きを参照して、表示されている外字の輪郭を滑らかにしていきます。
マス目が24×24に増えたので、16ドットの画面より斜線や曲線が表現しやすくなります。

ご注意：

外字を作成中に **ESC** を押すと、「中止しますか?」と表示され、**ESC** を押すと作成中の外字が破棄されます。

6. ドットを描きおわったら、**ESC** を押します。
外字モード選択画面に戻ります。

参考：

32ドット、48ドットの編集を続けるときは、手順2から繰り返してください。

外字モード選択
呼出 作成 **ESC** 削除

7. **ESC** を押すと外字の作成を終了し、もとの画面に戻ります。

■ 既製の文字を参照して外字を作る

外字を作るとき既製の文字が参照できると、楽にすることができます。漢字の異体字を作るときなどは特に威力を発揮します。たとえば、「藤」を草冠の間が切れている「𦵏」にしてみましょう。

1. 参照したい文字「藤」を入力し、カーソルを文字の下に移動します。

外部：なし 幅：12mm
𦵏 藤
カーソル位置

2. 129ページを参照して、外字の作成画面を表示させます。

「」 作成

3. **ESC** を押します。
移動/参照の選択画面が表示されます。

移動 / 参照選択
移動 参照

4. **ESC** を押して「参照」を反転表示させ、**ESC** を押します。
外字の作成エリアに参照したい文字「藤」が入りました。

藤 参照

参照する文字

ご注意：

手順1で、参照したい文字の下にカーソルをあわせていないときは、「参照文字がありません!」のエラーメッセージが表示され、参照できません。

5. もう一度 **[↵]** を押すと、カーソルが表示され、外字の作成モードになります。
以降は130ページのキーの働きを参照して、ドットに手を加えてください。



6. 修正が終了したら **[↵]** を押し、**[ESC]** を押してください。
もとの画面に戻ります。
参照すると、外字が簡単にできますね。

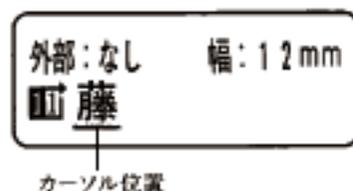
便利：

2つの既製の文字を組み合わせて1つの外字を作ることができます。詳しい操作については、「2つの文字を参照して外字を作る」(136ページ)を参照してください。

■ 既製の文字を参照して編集する

作成した外字をすべての文字サイズできれいにプリントするには、24ドット、32ドット、48ドットでそれぞれ編集する必要があります。既製の文字を参照して作った外字は、編集するときも参照すると、簡単できれいに仕上がります。

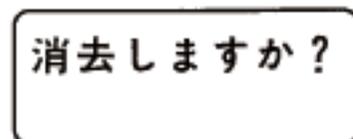
1. 参照したい文字「藤」の下にカーソルを移動します。



2. 132ページを参照して、まず24ドットの編集画面を表示させます。
ここで表示されているのは、先ほど作成した16ドットのフォントが24ドットに拡大されたものです。



3. **[ESC]** を押して **[DEL]** を押します。
編集エリアに表示されているフォントの消去を確認するメッセージが表示されます。



4. を押します。
16ドットのフォントが消去されます。

5. を押します。
移動/参照の選択画面が表示されます。

移動 / 参照 選択
移動 参照

6. を押して「参照」を反転表示させ、を押します。
外字の編集エリアに参照したい文字「藤」が入りました。

藤 参照

← 参照する文字

参考：

ここで表示されているのは本体に内蔵されている24ドットのフォントです。24ドットの文字に手を加える方が簡単にきれいに仕上げられるので、手順3と4で16ドットのフォントを消去しています。

7. もう一度を押すとカーソルが表示され、外字の編集モードになります。
以降は130ページのキーの働きを参照して、ドットに手を加えてください。

藤 作成

← カーソル

8. 編集が終了したらを押します。
外字のモード選択画面に戻ります。

参考：

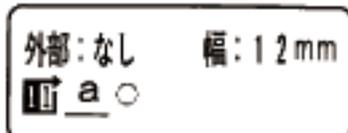
32ドット、48ドットの編集を続けるときは、手順2以降を繰り返してください。

9. を押すと外字の編集を終了し、もとの画面に戻ります。

■ 2つの文字を参照して外字を作る

2つの既製の文字を組み合わせて外字を作ることができます。ここでは「a」と「○」の2つの文字を組み合わせて、「@」という外字を作ってみましょう。

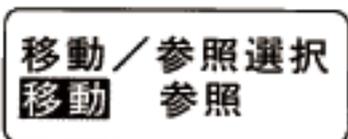
1. 「a」と「○」を入力して、カーソルを「a」の下に移動します。



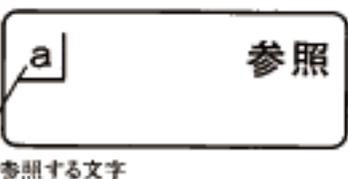
2. 129ページを参照して、外字の作成画面を表示させます。



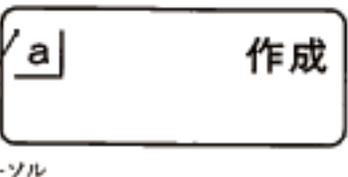
3. **移動**を押します。
移動/参照の選択画面が表示されます。



4. **参照**を押して「参照」を反転表示させ、**移動**を押します。
外字の作成エリアに参照したい文字「a」が入ります。



5. もう一度**移動**を押すとカーソルが表示され、外字の作成モードになります。



6. ここでいったん**移動**を押します。
「a」が外字として登録されます。

7. **取消**を押していったん外字登録モードを終了させ、カーソルを「○」の下に移動します。
132ページを参照して、16ドットの外字の編集画面を表示させます。



8. 手順3、4を繰り返します。
「○」が「a」と組み合わせられます。ところが、「a」が「○」の中心にありません。



9. を押して、参照をいったん取りやめます。

10. を押し を押して、「移動」を反転表示させ を押します。
外字の移動モードに入ります。



11. 「a」が「○」の中心になるように、 を何度か押して「a」を移動し を押します。
外字の編集モードに戻ります。

参考：

- ・移動モードでは、カーソルキーを押すとその方向に外字が移動します。いったん作成した外字の位置をずらすときなども、移動モードで移動させてください。
- ・外字を作成エリア外に移動して を押すと、エリア外に出た部分が消去されます。内蔵フォントの一部を流用するときなどは、このようにしても不要な部分を消すことができます。

12. もう一度手順3と4を繰り返し、「a」が「○」の中心にあることを確認して を押します。
外字の編集モードに戻ります。



13. もう一度 を押します。
「ⓐ」が外字として登録されます。

以下同様にして、24ドット、32ドット、48ドットのフォントを作ってください。

■ 外字を削除する

登録した外字を削除します。

1. を押して、を押します。
外字のモード選択画面が表示されます。

外字モード選択
 作成 編集 削除

2. またはを押して「削除」を反転表示させ、
を押します。
削除する外字の番号を選択する画面が表示されます。
登録済みの番号には「*」がついています。

削除外字選択
 * 2 3

3. またはを押して削除したい外字の番号を反転表示させ、
を押します。
削除を確認するメッセージが表示されます。

削除しますか？
 * 2 3

4. を押します。
再び、削除する外字を選択する画面が表示されます。

削除外字選択
 2 3

参考：

続けて外字を削除するときは、手順3、4を繰り返します。

5. を2回押します。
もとの画面に戻ります。

バーコードを作る

「レタリ」ではJAN/EAN13、JAN/EAN8、CODE 39、I-2/5、CODABAR、UPC-A、UPC-Eの各コード規格のバーコードを入力、プリントすることができます。これらのバーコードはラベルの任意の位置に、また、1枚のラベルに5つまで入力できます。

ご注意：

- ・バーコードは白地に黒インクのテープにプリントしてください。
- ・作成したバーコードラベルは、バーコードリーダーで読み取りの確認をしてからお使いください。

では、バーコードを入力してみましょう。

1. を押して、 を押します。

コード入力画面が表示されます。

画面の右上には、バーコードの規格(この例では「JAN/EAN13」)が表示されます。

表示されている規格でデータを入力するときは、このまま

入力してください。異なる規格でバーコードを作りたいときは、次ページ「表示されている以外のコード規格を使う」を参照してください。



ご注意：

- ・コード規格によって入力する桁数に規定があるものは、末尾マークが規定の桁位置に固定されて表示されます。規定の桁数を入力しないで を押すと、「入力桁数不足!」のエラーメッセージが表示されます。
- ・入力できる最小桁数は4、最大は22です。
- ・規格によって入力できる文字は下表のように異なります。入力できない文字は、キーを押しても入力を受け付けません。

JAN/EAN13、8	数字0～9
CODE39	数字0～9 アルファベット大文字 記号(\$ / % + - .) およびスペース
I-2/5	数字0～9
CODABAR	数字0～9 記号(\$: / + - .) A B C D
UPC-A、E	数字0～9

*CODABARのスタート/ストップコードはA～Dのいずれかを使用します。

参考：

最後に作成したバーコードのデータは記憶されています。データ入力画面で  または  を押すと呼び出すことができます。

2. 入力が終了したら、 を押します。
もとの画面に戻ります。バーコードは画面のカーソル位置に入力されます。

入力されたバーコードは、画面の2文字分の大きさで表示されます。画面表示は、規格によって下記のようになります。

- ・ JAN/EAN13 : 
- ・ JAN/EAN 8 : 
- ・ CODE 39 : 
- ・ I-2/5 : 
- ・ CODABAR : 
- ・ UPC-A : 
- ・ UPC-E : 

外部：なし 幅：12mm

  _

ご注意：

- ・ 画面上のバーコード表示は2文字分で1つを表わします。したがって、カーソルがバーコード表示の右側部分にあるときに文字の入力やファイルの連結などをしようとする、「入力不可/」や「呼出不可/」が表示されます。
- ・ バーコードには、「文字高さ」「鏡像」「罫線(全体書式、行書式)」「配置(全体書式、行書式)」以外の書式設定は無効です。

- 表示されている以外のコード規格を使う、または
- バーコードの幅などの設定を変えるときは

1. 各コードの入力画面で、 を押して  を押します。
バーコード規格ほか、各設定項目を設定する画面が表示されます。

規格：JAN/EAN13
幅：中

2.  または  を押して各項目の設定値を表示し、
 または  を押すと、各項目の設定値が選択できます。
 を押すと選択した設定値のコード入力画面に戻ります。

設定できる項目と設定値は下表を参照してください。

項目	設定値 (太字は初期値です)
規格	JAN/EAN13 、JAN/EAN 8 CODE 39、I-2/5、CODABAR、UPC-A、 UPC-E
幅	中、小、大
下部文字	あり、なし
桁数	自動 4～22
比率	3、2.5、2
チェックデジット	なし、あり

ご注意：

選択したコード規格によっては、表示されない項目もあります。

- ・幅： バーとバーの間隔を設定します。
「小」に設定すると間隔は2ドット（およそ1.28mm）、「中」では3ドット、「大」では4ドットです。

ご注意：

読み取り精度を上げるため、幅は「中」以上でのご使用をおすすめします。

- ・下部文字： バーコードの下に、入力したデータをプリントします。

ご注意：

文字高さ「M」以下でプリントするときには、「下部文字：あり」でもプリントされません。

- ・桁数： 入力桁数に規定がない「CODE 39」などのコード規格でも、独自に入力桁数を設定することができます。桁数を設定すると、入力するとき末尾マークが設定した位置に表示されます。また、入力が桁数に満たないときは、「入力桁数不足」が表示されます。

ご注意：

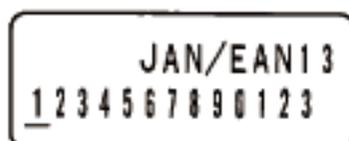
桁数にはスタート/ストップコード、チェックデジットも含まれます。

- ・比率： 太いバーと細いバーとの比率を設定します。
「3」に設定すると比率は「3：1」、「2.5」では「2.5：1」、「2」では「2：1」です。
- ・チェックデジット： チェックデジットをデータの右端に「つける」「つけない」の設定します。

● バーコードを変更するときは

バーコードのデータやチェックデジットの有無などのプリント形式は変更することができます。

1. バーコード表示の右側部分にカーソルを移動し、を押して^{バーコード}を押します。
もとのバーコードのデータが表示されます。

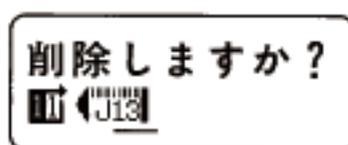


2. カーソルを移動し、データを修正します。
を押して^{修正}を押すと、バーコードのプリント形式を変更することができます。

3. を押します。
もとの文章入力画面に戻ります。

● バーコードを削除するときは

入力したバーコードを削除するには、他の文字と同様、バーコードの下にカーソルを移動し^{削除}を押します。削除を確認するメッセージが表示されますので、削除するときは^{はい}を押してください。



付録

エラーメッセージが表示されたときは	144
こんなときは?	148
お手入れのしかた	150
アフターサービスについて	151
ローマ字入力規則表	152
絵文字・記号一覧表	154
区点コード一覧表	156
主な仕様	169

LETARI

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。対処のしかたがわからないときは、それぞれの解説を五十音順で示しますので、参照してください。

文章の入力・編集時のエラーメッセージは、何かキーを押すと消えます。

エラーメッセージ	原因と対策	参照ページ
4桁以上入力!	バーコードのデータは4桁以上入力してください。	139
5行までです!	1ブロックに6行以上は入力できません。	77
	連結すると6行以上になるとき、ブロックの連結はできません。	83
5ブロックまでです!	6ブロック以上の入力はできません。	81
5文字まで!	6桁以上は連番の指定はできません。	112
6mmを入れて下さい!	6mm幅テープ用の「はやわざ」レイアウトを使用中にテープを抜いたり、他の幅のテープをセットしたとき表示されます。	-
	6mm幅テープ以外をセットしているときに、6mm幅で設定されているオリジナルの「はやわざ」レイアウトを呼び出そうとしたとき表示されます。	-
9mmを入れて下さい!	9mm幅テープ用の「はやわざ」レイアウトを使用中にテープを抜いたり、他の幅のテープをセットしたとき表示されます。	-
	9mm幅テープ以外をセットしているときに、9mm幅で設定されているオリジナルの「はやわざ」レイアウトを呼び出そうとしたとき表示されます。	-
10個までです!	熟語は10個以上登録できません。	126
12mmを入れて下さい!	12mm幅テープ用の「はやわざ」レイアウトを使用中にテープを抜いたり、他の幅のテープをセットしたとき表示されます。	-
	12mm幅テープ以外をセットしているときに、12mm幅で設定されているオリジナルの「はやわざ」レイアウトを呼び出そうとしたとき表示されます。	-
18mmを入れて下さい!	18mm幅テープ用の「はやわざ」レイアウトを使用中にテープを抜いたり、他の幅のテープをセットしたとき表示されます。	-
	18mm幅テープ以外をセットしているときに、18mm幅で設定されているオリジナルの「はやわざ」レイアウトを呼び出そうとしたとき表示されます。	-
24mmを入れて下さい!	24mm幅テープ用の「はやわざ」レイアウトを使用中にテープを抜いたり、他の幅のテープをセットしたとき表示されます。	-
	24mm幅テープ以外をセットしているときに、24mm幅で設定されているオリジナルの「はやわざ」レイアウトを呼び出そうとしたとき表示されます。	-
 指定不明!	行やブロックをまたいで連番の指定はできません。	112

		参照ページ
Rタイプの24mmを入れて下さい!	「はやわざ」レイアウトのうち、24mm幅テープ用の「ファイルインデックス」はレセプタ（ノンラミネート）テープ（タイプR）のテープ専用です。	57
アダプターを交換してください!	ACアダプタは「レタリ」専用のものを使ってください。	21
行数オーバー!	セットしているテープ幅にプリントできる行数を超えて行が入力されています。 行を削除してください。	77
サイズオーバー!	文字高さの設定が、セットしているテープ幅にプリントできるサイズを超えています。 各行の文字高さの設定を変えてください。	67
参照文字がありません!	外字の作成で文字を流用するときに、流用文字が指定されていません。 文章入力画面に戻り、流用したい文字にカーソルを合わせたあと、もう一度操作をやり直してください。	133
指定不可!	数字以外の文字を含んで連番の指定はできません。	112
書体カートリッジが必要です!	外字の作成で外部書体の文字を流用するときに、書体カートリッジがセットされていません。	-
書体カートリッジが必要です! 内蔵書体で印刷しますか	外部書体が設定された文章を、書体カートリッジをセットしないでプリントしようとしています。  を押すと内蔵書体でプリントを開始します。	-
字数オーバー!	入力できる総文字数は、1行1ブロックのときバーコード表示などを含んで280文字、5行5ブロックのとき160文字です。それ以上の文字は入力・挿入できません。	-
	ファイルを連結すると上記の入力制限文字数を超えてしまうとき表示されます。	121
	連番プリントで桁あがりすると上記の入力制限文字数を超えてしまうとき表示されます。	112
	外字を呼び出すと上記の入力制限文字数を超えてしまうとき表示されます。	131
先頭終了は英字指定です!	CODABAR規格でバーコードデータを入力するときは、スタート/ストップコードにA-Dを入力してください。	139
テープがありません!	テープカセットをセットしてください。	22
定長オーバー!	文字数が多い、文字が大きいなどで入力されている文章の長さが設定している定長を超えています。 イメージ表示を確認しながら、文章を短くするか、書式の設定を変えてください。	97
	設定したブロック長が、先に設定している定長を超えています。 イメージ表示を確認しながら、ブロック長の設定を変えてください。	99

電池交換!	電池残量がありません。 すぐに電池を交換してください。	20
電池弱!	電池残量が残り少なくなっています。 電池を交換してください。	20
入力オーバー!	プリントするとラベルが1メートルを超えるとき表示されます。 文章を短くするか、文字のサイズを変えるなど書式の設定を変えてください。	69
入力桁数不足!	バーコードのデータ入力か、設定された入力桁数を満たしていません。 設定されている桁数を確認してデータを入力してください。	141
入力データがありません!	プリントやイメージ表示、ファイル登録をしようとして、文章が何も入力されてません。	-
入力不明!	両面上のバーコード表示は2文字分で1つを表します。したがって、カーソルがバーコード表示の右側部分にあるときは、文字の入力・挿入などはできません。	140
バーコードは5個までです!	バーコードを6個以上入力しようとしています。	139
	ファイルを連結するとバーコードが6個以上になるとき表示されます。	139
ファイルカートリッジがない!	ファイルカートリッジをセットしないで文章を入力中に、外部ファイル操作をしようとしたとき表示されます。	120
ファイル未登録!	ファイルが登録されていないときは、ファイルの呼び出しや削除はできません。	-
ブロック長オーバー!	文字数が多い、文字が大きいなどでブロックの長さが設定しているブロック長を超えています。 イメージ表示を確認しながら、ブロックの文章を短くするか、書式の設定を変えてください。	99
メモリー・オーバー!	ファイルは100個、または最大文字数2,300文字を超えて登録できません。	118
	外字は最大3個まで登録できますが、3個以内でも外字に登録できるメモリーを超えてしまうときに表示されます。	129
	熟語は10個、または総文字数100文字を超えて登録できません。	126
呼出不明!	両面上のバーコード表示は2文字分で1つを表わします。したがって、カーソルがバーコード表示の右側部分にあるときは、熟語の呼び出しやファイルの連結はできません。	140

次のメッセージが表示されたときは、本体の電源をOFFにして、すみやかにご購入店またはお近くのマックスサービス（巻末を参照してください）までご連絡ください。

ERROR -XXXXXX-	KEY-ERROR XX	RAM
RAM異常!	ROM	ROM異常!
書体カートリッジ不良!	ソルダーポイント異常!	ファイルカートリッジ不良!

こんなときは？

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。それでも解決しないときは、ご購入店またはお近くのマックスサービス（巻末を参照してください）までご連絡ください。

現象	点検項目	対策	参照ページ
電源スイッチを押しても電源がはいらない	電池は入っていますか？	電池を入れてください。	20
	電池は正しい向きに入っていますか？	ケースの底に刻印されている向きに従って正しく入れ直してください。	20
	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。	20
	ACアダプタのプラグがきちんと差し込まれていますか？	きちんと差し込んでください。	21
	専用アダプタを使っていますか？	「レタリ」専用のACアダプタ（品番：LM-AD8V）をお使いください。	21
	テープカセットカバーはきちんと閉まっていますか？	テープカセットカバーが開いていると電源は入りません。カバーを開めてください。	27
プリントキーを押しても何もプリントされない	文章は入力されていますか？	何も入力されていないとプリントされません。何か入力してください。	49
	テープカセットはセットされていますか？	テープカセットを入れてください。	22
文章の途中でプリントが終わった	テープカセットの残量はありますか？	ゼブラバターンのテープが出てきたらテープの終了です。新しいテープと交換してください。	23
	電池は消耗していませんか？	「電池弱」「電池交換」が表示されたら、すべての電池を速やかに交換してください。	20
テープがカットできない	カットボタンを正しく押していますか？	テープをカットするときは、カットボタンが止まるまでしっかりと押し込んでください。	49
テープが貼れない	裏紙をはがしていますか？	付属のレタリングスティックを使うと、裏紙を簡単にはがすことができます。	51
	貼る場所がぬれていたり、汚れていたり、表面に凹凸がありませんか？	汚れなどはふき取り、表面が平らなところに貼ってください。	51
本体のファイルの内容が消えてしまった	電池を抜いて放置しませんでしたか？	消えてしまったファイルの内容は復旧できません。もう一度ファイルに登録してください。	20

現象	点検項目	対応	参照ページ
文字がきちんとプリントされない。	電池が消耗していませんか？	「電池弱」「電池交換」が表示されたら、すべての電池を速やかに交換してください。	20
	テープカセットはきちんとセットされていますか？	テープカセットをセットし直し、「テープ送り」をしてください。	22
	プリンターヘッドが汚れていませんか？	プリンターヘッドにゴミなどが付着すると文字がかすれることがあります。市販のクリーニング液などを使用して、プリンターヘッドのクリーニングをしてください。	150
プリント速度がばらつく	電池が消耗していませんか？	「電池弱」「電池交換」が表示されたら、すべての電池を速やかに交換してください。	20

お手入れのしかた

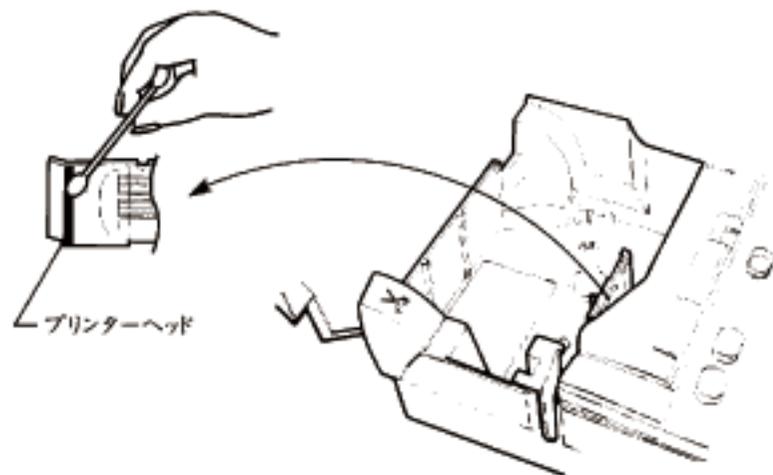
本体表面の汚れは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布を固くしぼってふきとり、そのあと乾いた布でふいてください。

ご注意：

- ・お手入れをするときは、電源スイッチを必ずOFFにしてください。
- ・シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。表面をいためます。

● プリンターヘッドのクリーニング

印字がかすれたりするときは、プリンターヘッドをクリーニングしてください。市販のオーディオ用ヘッドクリーニング液や熱転写プリンター用クリーニング液などで綿棒を濡らせ、軽くふきます。



ご注意：

- ・ナイフなどの鋭い器物でプリンターヘッドの汚れを削ぎ落とすようなことは絶対にしないでください。故障の原因になります。
- ・プリンターヘッドは高温になります。誤って手を触れたりしないよう、ご注意ください。

アフターサービスについて

● 保証書と保証期間について

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも修理が有料になることがあります。詳しくは保証書裏面の保証規定をお読みください。

● 修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、まず『こんなときは?』(148ページ)をご確認ください。それでも解決しないときは、ご購入店またはお近くのマックスサービス(巻末を参照してください)までご相談ください。

修理によって機能が維持できるときには、お客様のご要望により有料で修理いたします。

なお、修理をおこなうと、本体内部に保存されているファイルや学習内容などはすべて消去されますのでご了承ください。

ローマ字入力規則表

あ	a			が	ga		
い	i			ぎ	gi		
う	u			ぐ	gu		
え	e			げ	ge		
お	o			ご	go		
か	ka	ca		ざ	za		
き	ki			じ	ji	ji	
く	ku	cu	qu	ず	zu		
け	ke			ぜ	ze		
こ	ko	co		ぞ	zo		
さ	sa			だ	da		
し	si	ci	shi	ぢ	di		
す	su			ぢゅ	du		
せ	se	ce		ぢゅ	de		
そ	so			ど	do		
た	ta			ば	ba		
ち	ti	chi		び	bi		
つ	tu	tsu		ぶ	bu		
て	te			べ	be		
と	to			ぼ	bo		
な	na			ぱ	pa		
に	ni			ぴ	pi		
ぬ	nu			ぷ	pu		
ね	ne			ぺ	pe		
の	no			ぽ	po		
は	ha			きゃ	kya		
ひ	hi			きゅ	kyu		
ふ	hu	fu		きょ	kyo		
へ	he			きよ	kye		
ほ	ho			きゅう	kyyo		
ま	ma			しゃ	sha	sha	
み	mi			しゅ	shu		
む	mu			しゆ	shyu	shu	
め	me			しゅ	she	she	
も	mo			しよ	sho	sho	
や	ya			ちゅ	tya	cya	cha
い	yi			ちゅ	tyi	cyi	
ゆ	yu			ちゅ	tyu	cyu	chu
い	ye			ちゅ	tye	cye	che
よ	yo			ちゅ	tyo	cyo	cho
ら	ra			にゅ	nya		
り	ri			にゅ	nyi		
る	ru			にゅ	nyu		
ろ	ro			にゅ	nye		
わ	wa			にゅ	nyo		
ゐ	wi			ひゅ	hya		
う	wu			ひゅ	hyi		
ゑ	we			ひゅ	hyu		
を	wo			ひゅ	hye		
ん	n+	(Y以外の子音)+母音		ひゅ	hyo		

みや	mya		
みい	myi		
みゆ	myu		
みえ	mye		
みよ	myo		
りや	rya		
りい	ryi		
りゆ	ryu		
りえ	rye		
りよ	ryo		
ぎや	gya		
ぎい	gyi		
ぎゆ	gyu		
ぎえ	gye		
ぎよ	gyo		
じや	zya	jya	ja
じい	zyi	jyi	
じゆ	zyu	jyu	ju
じえ	zye	jye	je
じよ	zyo	jyo	jo
ぢや	dya		
ぢい	dyi		
ぢゆ	dyu		
ぢえ	dye		
ぢよ	dyo		
びや	bya		
びい	byi		
びゆ	byu		
びえ	bye		
びよ	byo		
ぴや	pya		
ぴい	pyi		
ぴゆ	pyu		
ぴえ	pye		
ぴよ	pyo		
くあ	qa		
くい	qi		
くゆ	qu		
くえ	qe		
くよ	qo		
くわ	qwa	kwa	
くい	qwi	kwi	
くゆ	qwu	kwu	
くえ	qwe	kwe	
くよ	qwo	kwo	
ぐわ	gwa		
ぐい	gwi		
ぐゆ	gwu		
ぐえ	gwe		
ぐよ	gwo		
つあ	tsa		
つい	tsi		
つゆ	tsu		
つえ	tse		
つよ	tsu		

てや	tha		
てい	thi		
てゆ	thu		
てえ	the		
てよ	tho		
てや	dha		
てい	dhi		
てゆ	dhu		
てえ	dhe		
てよ	dho		
ふあ	fa		
ふい	fi		
ふゆ	fu		
ふえ	fe		
ふよ	fo		
ふや	fyā		
ふい	fyi		
ふゆ	fyu		
ふえ	fye		
ふよ	fyo		
ヴァ	va		
ヴィ	vi		
ヴ	vu		
ヴェ	ve		
ヴォ	vo		
ヴァ	vya		
ヴィ	vyi		
ヴ	vyu		
ヴェ	vye		
ヴォ	vyo		
いえ	ye		
あ	la		
い	li		
う	lu		
え	le		
お	lo		
ツ	ltu	itsu	二重子音 +母音
や	lya		
ゆ	lyu		
よ	lyo		
わ	lwa		
か	lka		
け	lke		

区点コード一覧表

各漢字の区点コードは、例えば「壘」は「160」「1」のように、左の列の3桁に右側の1桁を組み合わせた、4桁の数字です。

JIS第1水準の漢字は読みで、第2水準の漢字は「へん」や「つくり」で探してください。

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	160	亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢
	161	葵	茜	穉	悉	握	渥	旭	葦	蓼
	162	梓	庠	幹	扱	宛	姐	虹	飴	絢
	163	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案
	164	鞍	杏							
い	164	以	伊	位	依	偉	圉	夷	委	
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壑	溢
	168	稻	茨	芋	罽	允	印	咽	員	因
う	169	引	飲	淫	胤	蔭				
	170	院	陰	隱	韻	吋				
	170								右	宇
	171	迂	雨	卯	鸛	窺	丑	確	白	渦
	172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	閏
え	173	云	運	雲						
	173	荏	餌	叡	營	嬰	影	映		
	174	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	英
	175	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悅	謁
	176	閏	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延
お	177	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩		
	178									於
	179	凹	央	奧	往	応				
	180	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯
か	181	鵠	黄	岡	冲	荻	億	屋	億	臆
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	
	182									下
	183	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	蛾
	188	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪
	189	恢	懷	戒	拐	改				
	190	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	
193	馨	蛙	垣	柿	蚯	鈎	劃	嚇	各	
194	拡	挽	格	核	穀	獲	確	穫	覚	
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	
196	顎	掛	笠	檜	櫃	梶	鯨	割	喝	
197	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	
198	叶	椀	樺	鞆	株	兜	窺	蒲	釜	
199	嚼	鴨	栢	茅	萱					
200	粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
201	勘	勘	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	
203	款	歛	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
205	諫	貫	還	鑑	問	閑	関	陥	韓	館
206	鰭	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
207	贖	雁	頑	顏	願					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	奇	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210	機	帛	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
213	儀	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	摠	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	亨	京					
220	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
221	脚	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭
222	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興
223	蕎	鄉	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉
224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
226									九	
227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駢	駢
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	离	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230	掘	窟	杏	靴	嚮	窪	熊	隈	糸	
231	栗	繰	桑	歟	勲	君	薰	訓	群	軍
232	郡									

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け 232	卦	袈	袂	係	傾	刑	兄	啓	圭	
233	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭
234	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼
235	繫	罽	莖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸
236	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240	檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	驗
242	鹵	元	原	蔽	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
二 243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鉅	屨
246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後
247	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	護	嗣
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	
251	巧	巷	幸	庠	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉞
256	砧	綱	閻	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌
259	忽	惚	骨	伯	込					
260	此	頃	今	困	坤	壑	婚	恨	懇	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
さ	261	昏	昆	根	柵	混	痕	紺	良	魂	
	261									些	
	262	佐	叉	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	263	詐	鎖	裳	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
	265	災	采	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	裁
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鸞	作	削
	268	咋	摔	咋	朔	柵	窄	策	索	錯	核
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
し	270	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	
	271	銷	捌	銷	餃	皿	晒	三	傘	參	山
	272	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚕
	273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘			
	273									仕	仔
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒
279	字	寺	慈	持	時						
280	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而		
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺	
282	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	
284	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜	煮	
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
286	尺	杓	灼	爵	酌	积	錫	若	寂	弱	
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
289	綬	需	囚	収	周					
290	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	
291	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	警	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	蓆	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	
301	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	娘	常
308	情	擾	条	杖	淨	状	登	穰	蒸	讓
309	釀	錠	囁	埴	飾					
310	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食	
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	昏	娠	寢	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞		
315										筈
316	須	酢	囃	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	318	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	難	据	杉
	319	相	菅	顔	雀	裾					
	320	澄	摺	寸							
せ	320				世	瀬	畝	是	凄	制	
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	稅
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	326	接	摂	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌
	327	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	328	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
	330	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	
	331	選	選	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	332	全	禪	繕	膳	纏					
そ	332				噌	塑	岨	措	曾		
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	336	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
	338	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騒	像	增	憎					
	340	臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打
	344	柁	舵	梢	陀	駄	驛	体	堆	対	耐
	345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	淹	瀧	卓	啄
	348	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	凧	蜻	只					
	350	叩	但	達	辰	奪	脱	異	豎	迪	
	351	棚	谷	狸	鱒	樽	誰	丹	单	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	單
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断
	354	暖	檀	段	男	談					
ち	354								值	知	地
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	榮
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	耐	鑄	駐	樽	豬	芋	著	貯	
	359	丁	兆	凋	喋	籠					
	360	帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑	
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	駭	脹	腸	蝶
	362	調	譟	超	跳	眺	長	頂	烏	勅	抄
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦	槻	佃
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鏝	椿	潰	坪	壺
	366	燻	袖	爪	吊	釣	鶴				
て	366								亭	低	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	梯	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	遞					
	370	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	
	371	的	笛	適	鑄	溺	哲	徹	徹	迭	
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	373	転	顛	点	伝	殿	灘	田	電	
と	273								兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	栲
	378	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	痔
	379	答	筒	精	統	到				
	380	董	蕩	藤	討	膽	豆	踏	逃	透
	381	鏡	陶	頭	騰	闕	働	動	同	堂
	382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅
	383	鴉	匿	得	德	浣	特	督	禿	篤
	384	独	読	柄	椽	凸	突	楸	届	薦
	385	寅	酉	游	噸	屯	倅	敦	沌	豚
	386	頓	吞	曇	鈍					
な	386								奈	那
	387	謎	灘	捺	鍋	櫛	馴	繩	暖	南
	388	軟	難	汝						
に	388								二	尼
	389	虹	甘	日	乳	入				
	390	如	尿	菲	任	妊	忍	認		
ぬ	390									濡
ね	390									襦
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃
	392	粘								
の	393	乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能
	393	腦	膿	農	覗	蚤				
は	393								巴	把
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
	395	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	396	倍	培	媒	梅	煤	煤	猥	買	売
	397	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博
	398	柏	泊	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝
	399	爆	縛	莫	駁	麦				
	400	函	箱	谿	箸	肇	箸	爐	幡	肌
	401	畑	畠	八	鉢	浼	兇	髮	伐	罰
	402	拔	筏	闕	鳩	嘶	塙	蛤	牟	伴
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采
	405	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蛮
ひ	405									匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥
	408	誹	費	避	非	飛	極	簸	備	尾
	409	枇	毘	毘	眉	美				
	410	鼻	終	裨	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	檢	姬	媛
	412	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錯	鋸
	414	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
	415	敏	瓶							
ふ	415								不	付
	416	府	佈	扶	敷	斧	普	浮	父	符
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮
	478	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺
	419	伏	副	復	幅	服				
	420	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	斛	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞			
へ	422									丙
										併
										兵
										堀

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋	偏	變
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
	426	鞭									
ほ	426	保	舖	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
	427	穂	募	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	
	431	蜂	喪	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	236	摩	磨	魔	麻	埋	妹				
	437	味	枚	每	哩	禎	幕	膜	枕	鮪	枉
	438	鱗	鱗	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	促
	439	蘭	磨	万	慢	滿					
	440	漫	蔓								
み	440	味	未	魅	巳	箕	岬	密			
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緇	面	麵				
も	244										摸
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	446	目	杳	勿	餅	尤	戾	矧	賁	問	悶

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	447	紋	門	匆							
や	447		也	治	夜	爺	耶	野	弥		
	448	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	敷
	449	鍵									
ゆ	249	愉	愈	油	癒						
	450	論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	252										予
	453	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	譎	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458										利
	459	履	李	梨	理	璃					
	460	痢	裏	裡	里	離	律	率	立		
	461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	兩	凌	寮	料	梁	涼	獵	瞭	稜	
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	465	厘	林	淋	熾	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	466	瑠	壘	淚	累	類					
る	466										令
	467	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
れ	467										令
	468	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	連	煉	廉	練	聯					
	470	連	連	鍊							

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
土	520		國	園	團	圖	園	齋		
	521	坏		址		垚	坡			
	522			圻	垠	垠	埃			
	523		圪	圪	垠	埋				
	524			毀		塹	塹			
	525	墟				墮				
	526	墟		塹						
	526						壺	壺		
	527	壺	壺	壽						
	夕	527						夥		
大	528	夭	夾	奕	奎	奘				
	529	奢	奠							
女	530	奸		佞						
	531	姜			娑	娜	娒			
	532	媪	婉	娶	婢	婪	媚	媪		
	533	媪	媪	媪						
	534	媪		媪	媪	媪				
子	535		孕			孰	夥			
	536	學								
一	536				宦	宸	寇			
	537			實	寔	寥	寶			
尤	538	寶								
	538						彪			
尸	539		屍	屎	屍					
	540		屏							
山	540					屺	岑	屹		
	541							岍		
	542		峙			崑	崑			
	543	崗	寄				峻			
	544	嵌						嶠		
	544									

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
工	545							嶮			
	546							巖			
	546								巫		
	546									巳	
	546									帝	
	547							帛	帷	幘	
	548	幘						幫			
	549	廂									
	550							廣			
	弓	552							弩		彌
且	553							彎			
	553								彗	彗	
彳	553									彷彿	
	554							徂	徂	徂	
个	555							徂	徂	徂	
	555								付	忸	忸
556	556							忿	怙	怙	怙
	558							恍	恣	恣	恣
559							悍	悍			
560							悄	悛	悛	悛	
561							惠	悛		悛	
562							惶		惶		
563							慙	慙	愧	慙	
564							愴	慙	慙	慙	
565									慙		
566							慙	慙	慙	慙	
567							慙	慙	慙	慙	
568							慙	慙	慙	慙	
戈	569							戍			
570										戡	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
戸	570									扁
才	571		扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
	572									扱
	573		拈	拈						扱
	574	拈	拈	拈						扱
	575									扱
	576	扱	扱							扱
	577	扱	扱	扱						扱
	578	扱	扱	扱						扱
	579	扱	扱							扱
	580									扱
	581									扱
	582		扱	扱						扱
支	584		扱	扱						扱
斗	584									扱
斤	584									扱
方	585		扱							扱
日	586									扱
	587	扱								扱
	588	扱	扱	扱	扱					扱
	590									扱
	590									扱
月	591									扱
木	592	扱	扱							扱
	593	扱								扱
	594	扱								扱
	595									扱
	596		扱							扱
	597	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
	598	扱								扱

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	599									扱
	600									扱
	601	扱								扱
	602	扱								扱
	603									扱
	604									扱
	605									扱
	606	扱								扱
	607									扱
	608									扱
	609									扱
	610	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
	611	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
	612	扱								扱
歹	615									扱
女	615									扱
毛	615									扱
	616	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
氏	616									扱
气	617	扱								扱
彡	617									扱
	618									扱
	620									扱
	621	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
	622									扱
	623									扱
	624	扱								扱
	625									扱
	626	扱								扱
	627	扱								扱

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	628	溥	漑	灌	滂	漿				
	629	滲	漱	漲	滌					
	630				澁					
	632		澤	澹	滯					
	633		瀆	濛	瀉	潘	瀑			
	634		濾	瀦	瀝	瀟	瀾			
	635		炙	炒	炯	炬	炸			
	636			烙	焉	烽	焙	煥		
	637	熙		煌	煬	燿				
	638	熨	燂	熹	熾		燎			
	639			燧	燼					
	640			燿	爛					
爪	640							爬		
	641	爲								
牛	642	犂								
犛	643			貉	狡					
	644	猯	猯	猴	猩	猥	猥			
	645			猥	獨	犛				
	646	獼								
王	646	珈	玕	珀						
	647	瑯	琥	琲	珉	瑕	瑤			
	648			瑣	瑪	瑤				
	649	璧								
瓜	650	瓠								
瓦	651				甍					
生	652	甦								
田	652				畎					
	653				畎	當	疆	疇		
疒	654		疔	疝	疔					
	655	疵	疽	疔	疼	疱		痒	癩	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	656	瘰					痰	痺		
	657	瘍					瘡	癩	瘤	
	658		痲							
	659	癩	癩							
	660	癩								
六	660				癸					
白	661	皓								
皮	661				胞			鼓		
皿	661								孟	
	662					盟				
目	663	眈		眈	眞			眷		
	664	眈		眈	眈	眈		睪		
	665			睪	睪	睪		睪		
	666	瞽		瞽						
矛	666					矜				
矢	666								矮	
石	667	砌	砒		礪					
	668		碌					礎	礎	
	669			磊						
	670					礪		礪		
	671	礪								
示	671	祀	祠	崇	祚	祓				
	672	禩	齋	禮						
內	672							禹		
禾	673								稠	
	674	稟	稟	稻		穗				
	675	穢		穢						
穴	675							弄		
	676	窩	窩			竄				
竹	678			筵	筵			筵		

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	679	答		筐						
米	681	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	682	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	683	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	684	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	685	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
米	687	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
米	688	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	689	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	690	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	691	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	692	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	693	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	694	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	695	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	696	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
缶	699	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
羊	700	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
羽	701	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
老	702	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
耳	703	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
聿	704	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
月	706	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	707	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈
	708	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈	笈

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	709	脛脩		腋						
舌	710	脛脩								
舟	711	脛脩								
	712	脛脩								
	713	脛脩								
	715	脛脩								
	716	脛脩								
	721	脛脩								
	722	脛脩								
	723	脛脩								
	724	脛脩								
	725	脛脩								
	726	脛脩								
	728	脛脩								
	729	脛脩								
	730	脛脩								
	731	脛脩								
虫	735	脛脩								
	738	脛脩								
	739	脛脩								
	740	脛脩								
	742	脛脩								
	743	脛脩								
才	747	脛脩								
	748	脛脩								
	749	脛脩								
	750	脛脩								
言	754	脛脩								
	755	脛脩								

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	756		諫	諳	諳	諳			諷	
	757		諛						諛	諛
	758	諛		諛					諛	
	759	諛		諛						
	760		諛			諛			諛	
	761	諛								
豆	761					豈	豈			
豕	762					貂	貂			
	763			貌						
貝	763					食				
	764	貳	貳		賤	賤	賤	賤	賤	
	765		貳	貳						貳
	766		貳	貳						
赤	766				赅					
走	766					赅	赅			
足	767				赅	赅				
	768		赅							
	769	赅	赅		赅					
	770		赅	赅	赅				赅	
	771			赅	赅	赅				
身	772	赅	赅	赅	赅					
	772					赅				
車	773		赅							
	773				赅					
	774	赅							赅	
	775	赅	赅	赅					赅	
	776	赅		赅	赅					
辛	776								赅	赅
走	777		赅		迢	迢	迢		迢	
	778	迢	迢		迢	迢			迢	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	779	迢								
	781								迢	迢
	782	迢	迢	迢						
邑	782			邨	邨	邨				
	783			邨	邨					
酉	783								酉	
	784	酪							酪	
	785	酪								
采	785								采	采
金	787	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	788	鉞			鉞	鉞			鉞	
	789				鉞					
	790			鉞	鉞					
	791	鉞	鉞						鉞	鉞
	792	鉞	鉞	鉞						
	793					鉞			鉞	
	794				鉞	鉞				
	795	鉞	鉞			鉞				
門	795								門	
	796	閨			閨				閨	
	797		閨		閨				閨	
	798			閨						
阜	799	陋								
	800								陋	陋
隹	802	雉	雉			雉				
雨	802								雨	
	803					霖				霖
	804	霖	霖			霖			霖	
革	805					鞞			鞞	
	806	鞞	鞞			鞞			鞞	

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
韋	807				韃					
	807					韋				
音	807									竟
	808				頷	頷			頷	頷
頁	809				颯					
	810				颯	颯				颯
風	811				餛	餃	餛			餛
	812				餛				饅	饅
會	813					饅				
	813									馥
香	813									馥
	814					駝	駝			駝
馬	815									駝
	817				駝					
骨	817									駝

区点コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
門	818									體
	821									閨
鬼	821									魄
	822									魄
魚	822									鮑
	823									鮑
魚	823									鮑
	824									鮑
魚	825									鮑
	826									鮑
魚	827									鮑
	833									鸚
鳥	833									鸚
	834									鸚
鹿	834									鸚
	840									瑤
その他	840									瑤

JIS規格以外の漢字を示します。入力するときは、下記の読みを入力して^{漢字}を何度か押してください。

読み	漢字								
きょう	卿	はつ	浚	せみ	蟬	いつ	盜	たかい	高
きょう	俠	めん	麵	おし	啞	かい	恢	さき	崎
く	軀	らい	萊	くず	葛	ほのお	焰	のぼる	昇
つかむ	摑	ぎ	祇	かつ	喝	てい	氐	やなぎ	柳
てい	鄭	る	屨	うまや	厩	そつ	醉	はま	濱
てん	填	しゅう	脩	たく	啄	い	狷	さば	鯖
かむ	噛	しゅう	繡	たつみ	異	えつ	喝	だ	驛
けん	倦	しよく	蝕	たん	簞	よし	吉		
けん	鯨	うつ	鬱	つか	塚	きょう	橋		
こうじ	麴	おう	鶇	あめ	飴	しおり	糸		

- 参照して編集する134
- 修正する132
- 制限文字数129
- 登録する129
- 編集する132
- 呼び出す131
- 外部書体
 - インジケータ19,75
 - プリントサンプル74
- 外部ファイル
 - 登録する120
- 改ブロックマーク18
 - 削除する83
 - 挿入する82
- 変える
 - イメージ表示の大きさを48
 - イメージ表示を確認しながら書式を48
 - 文字サイズ67
 - 読みの長さを38
- 鏡
 - インジケータ106
- 鏡文字
 - 設定する106
 - プリントサンプル106
- 角ゴシック体74
- 学習機能35,42
- 拡大プリント114
 - 設定する114
- 確定文字
 - 制限文字数46
- 下線
 - インジケータ93
- カタカナ
 - 入力する34
 - 変換する34
- カットポーズ50
 - インジケータ19
 - 初期値に戻す113
 - 「なし」を設定する113
- かな
 - インジケータ19,30
- かな小文字
 - 入力する32
- かな入力
 - 切り替える30
- 両面表示
 - バーコードの140
- 漢字
 - 変換する35,36
- 漢字変換
 - うまくできない38
- 乾電池
 - 交換する20
 - 廃棄する20
- ▼き
- 規格
 - バーコードの139
- 記号
 - 入力する41,42
 - 連続して入力する43
- 機能
 - インジケータ19
- 行
 - 消去する79
 - 挿入する79
 - 連結する79
- 行書式
 - 一覧107
 - インジケータ19
 - 初期値107
 - 初期値に戻す108
- 行数
 - 制限77
- 行頭マーク18
- 行の配置
 - 初期値に戻す88
 - 設定する86
 - テクニック87,98
 - プリントサンプル85
- 切り替える
 - 英数入力に40
 - かな入力に30
 - ローマ字入力に30
- ▼く
- 区点コード
 - 変換する39
- 句読点
 - 入力する32,33
- ▼け
- 罫線（行書式）
 - 種類92

- 参照して編集する134
- 修正する132
- 制限文字数129
- 登録する129
- 編集する132
- 呼び出す131
- 外部書体
 - インジケータ19,75
 - プリントサンプル74
- 外部ファイル
 - 登録する120
- 改ブロックマーク18
 - 削除する83
 - 挿入する82
- 変える
 - イメージ表示の大きさを48
 - イメージ表示を確認しながら書式を48
 - 文字サイズ67
 - 読みの長さを38
- 鏡
 - インジケータ106
- 鏡文字
 - 設定する106
 - プリントサンプル106
- 角ゴシック体74
- 学習機能35,42
- 拡大プリント114
 - 設定する114
- 確定文字
 - 制限文字数46
- 下線
 - インジケータ93
- カタカナ
 - 入力する34
 - 変換する34
- カットポーズ50
 - インジケータ19
 - 初期値に戻す113
 - 「なし」を設定する113
- かな
 - インジケータ19,30
- かな小文字
 - 入力する32
- かな入力
 - 切り替える30
- 両面表示
 - バーコードの140
- 漢字
 - 変換する35,36
- 漢字変換
 - うまくできない38
- 乾電池
 - 交換する20
 - 廃棄する20
- ▼き
- 規格
 - バーコードの139
- 記号
 - 入力する41,42
 - 連続して入力する43
- 機能
 - インジケータ19
- 行
 - 消去する79
 - 挿入する79
 - 連結する79
- 行書式
 - 一覧107
 - インジケータ19
 - 初期値107
 - 初期値に戻す108
- 行数
 - 制限77
- 行頭マーク18
- 行の配置
 - 初期値に戻す88
 - 設定する86
 - テクニック87,98
 - プリントサンプル85
- 切り替える
 - 英数入力に40
 - かな入力に30
 - ローマ字入力に30
- ▼く
- 区点コード
 - 変換する39
- 句読点
 - 入力する32,33
- ▼け
- 罫線（行書式）
 - 種類92

- 初期値に戻す93
- 設定する92
- プリントサンプル92
- 罫線 (全体書式)
 - 種類94
 - 初期値に戻す95
 - 設定する95
 - プリントサンプル94
- 消す
 - イメージ表示を48
- 桁合わせ
 - インジケータ106
 - 設定する106
 - プリントサンプル106
- ▼こ
- 交換する
 - 乾電池を20
 - リチウム電池を25
- コピーする
 - 「はやわざ」のメッセージ行を124
- 小文字入力40
- 小文字ロック40
- ▼さ
- 最長一致変換38
- 削除した文字
 - 復活する45
- 削除する
 - 改行マークを79
 - 外字を138
 - 改ブロックマークを83
 - 熟語を127
 - すべての登録熟語を128
 - すべてのファイルを122
 - バーコードを142
 - ファイルを122
 - 未確定文字を31, 33
 - 文字を45
- 参照して作る
 - 外字を133
- 参照して編集する
 - 外字を134
- ▼し
- 自動調整
 - 文字サイズ50
- 斜体
 - インジケータ72
 - 初期値に戻す73
 - 設定する72
 - プリントサンプル71
- 修正する
 - 外字を132
 - 文章を44
- 終了する
 - 「はやわざ」を63
- 熟語
 - 削除する127
 - 制限文字数126
 - 登録する126
 - 変換する35
 - 呼び出す127
- 種類
 - 罫線 (行書式) の92
 - 罫線 (全体書式) の94
 - 書体の74
 - テープカセットの22
 - バーコードの139
 - 文字高さの67
 - 文字幅の68
- 消去する
 - 行を79
 - 全文章を47
 - 複数のブロックを84
- 初期値50
 - 行書式の107
 - 全体書式の108
 - バーコードの141
- 初期値に戻す
 - カットポーズを113
 - 行書式を108
 - 行の配置を88
 - 罫線 (行書式) を93
 - 罫線 (全体書式) を95
 - 斜体を73
 - 書体を76
 - すべての書式を47, 108
 - 全体書式を108
 - 登録を73
 - 縦書きを89
 - 定長を97
 - ブロック長を100
 - ブロックの配置を102

- 文字高さを70
 文字幅を70
 連続プリントを110
 連番プリントを112
- 書体
 種類74
 初期値に戻す76
 設定する75
 プリントサンプル74
- 書体カートリッジ4
 入れる26
 角ゴシック体74
 はずす26
- ▼す
 スクロール44, 48
 すべての書式
 初期値に戻す108
 すべての登録熟語
 削除する128
 すべてのファイル
 削除する122
- ▼せ
 制限
 行数の77
 ブロック数の81
 ラベル長の69
- 制限文字数
 外字の129
 確定文字の46
 熟語の126
 ファイルの118
 未確定文字の31, 33
- 設定項目
 バイコード141
- 設定する
 鏡文字を106
 拡大プリントを114
 行の配置を86
 罫線（行書式）を92
 罫線（全体書式）を95
 斜体を72
 書体を75
 全体書式を89
 装飾を72
 縦書きを89, 90
- 定長を96
 ブロック長を99
 ブロックの配置を101
 文字間を105
 文字高さを68
 文字の桁合わせを106
 文字幅を68
 余白を105
 連続プリントを110
 連番プリントを111
- 設定を続けておこなう
 他の行の同じ項目の69
- 全体書式
 一覧108
 インジケータ19
 初期値108
 初期値に戻す108
 設定する89
- 全文章を
 消去する47
- ▼そ
 操作を取り消す17
- 装飾
 インジケータ72
 初期値に戻す73
 設定する72
 プリントサンプル71
- 挿入する
 改行マークを79
 改ブロックマークを82
 行を79
 ファイルを121
 ブロックを82
 文字を46
- 促音
 入力する32, 33
- ▼た
 タイプL22
 タイプR22
 多行組み77
- 濁音
 入力する31, 33
- 縦書き
 初期値に戻す89
 設定する90

- インジケータ (行書式)89,91
- インジケータ (全体書式)89,91
- 縦書き・横書き
 - 選ぶ.....61
- 縦書き・横書きの混在90
- 他の行の同じ項目
 - 設定を続けておこなう.....69
- 多ブロック81

- ▼ち
 - チェックデジット141
 - 長体.....68

- ▼つ
 - 使う
 - ACアダプタを.....21
 - 「はやわざ」を60,123
 - レタリングスティックを51

- ▼て
 - テープ送り28
 - テープカセット.....4,22
 - 入れる22
 - 種類.....22
 - テープ幅と設定文字高さ67
 - テープ幅と入力行数77
 - テープ幅を表示させてファイルに
 - 登録する119
 - 定長62,96
 - インジケータ.....97
 - 初期値に戻す.....97
 - 設定する96
 - ディレクトリ.....120
 - デザインのしかた.....66
 - 転写する51
 - 転写テープ.....51
 - 電池交換
 - ファイルカートリッジの25

- ▼と
 - 登録する
 - 外字を129
 - 外部ファイルに120
 - 熟語を126
 - テープ幅を表示させてファイルに.....119
 - ファイルを118
 - ファイルを上書きして119

- 特殊な「かな」
 - 入力する32,33

- ▼な
 - 内蔵書体
 - プリントサンプル74
 - 「なし」に設定する
 - カットポーズを113

- ▼に
 - 入力する
 - 絵文字を42
 - カタカナを34
 - かな小文字を32
 - 記号を41,42
 - 句読点を32,33
 - 英小文字を40
 - 促音を32,33
 - 濁音を31,33
 - 特殊な「かな」を.....32,33
 - バーコードを139
 - 撥音を33
 - 半濁音を31,33
 - ひらがなを31
 - 拗音を33
 - 読めない漢字を39
 - 入力制限
 - 未確定文字の31,33
 - 入力方法
 - 文字の30

- ▼は
 - バーコード
 - 西面表示140
 - 規格139
 - 削除する142
 - 種類139
 - 初期値141
 - 設定項目141
 - 入力する139
 - 変更する142
 - 有効な書式140
 - 廃棄する
 - 乾電池を20
 - リチウム電池を25
 - はずす
 - 書体カートリッジを26

- ファイルカートリッジを24
- 撥音
 - 入力する33
- はやわざ
 - インジケータ19
 - 終了する63
 - 使う60, 123
- 「はやわざ」入力
 - うまくできない62
- 「はやわざ」のファイル呼び出し
 - 通常のファイル呼び出しとの違い125
- 「はやわざ」のメッセージ行を
 - コピーする124
- 「はやわざ」レイアウト54~59
 - イメージ表示60
 - 選ぶ60
- 半濁音
 - 入力する31, 33
- ▼ひ
- ピッチ91, 106
- 表
 - インジケータ95
- 表罫94
- ひらがな
 - 入力する31
- ▼ふ
- ファイル
 - 削除する122
 - 制限文字数118
 - 挿入する121
 - 登録する118
 - 登録する（上書きして）119
 - 呼び出す（上書きして）120
 - 呼び出す（連結して）121
- ファイルカートリッジ4
 - 入れる24
 - はずす24
 - 電送交換25
- ファイルの登録番号118
- ファイル呼び出しとの違い
 - 「はやわざ」のファイル呼び出しと通常の125
- 複数の行
 - 消去する80
- 複数のブロック
 - 消去する84
- 復活する
 - 削除した文字を45
- プリントイメージ48
- プリントサンプル
 - 外部書体74
 - 鏡文字106
 - 拡大プリント115
 - 行の配置85
 - 罫線（行書式）92
 - 罫線（全体書式）94
 - 桁合わせ106
 - 斜体71
 - 装飾71
 - 内蔵書体74
 - ブロックの配置101
 - 文字間105
 - 文字高さ67
 - 文字幅68
 - 余白105
- ブロック66, 81
 - 消去する84
 - 挿入する82
 - 連結する83
- ブロック数
 - 制限81
- ブロック長
 - 初期値に戻す100
 - 設定する99
- ブロック長の合計99
- ブロックの配置
 - 初期値に戻す102
 - 設定する101
- プリントサンプル101
- ブロックの番号99
- 文章
 - 修正する44
- ▼へ
- 平体68
- 変換する
 - カタカナに34
 - 漢字に35
 - 区点コードで39
 - 熟語を35
- 変更する
 - バーコードを142

- 編集する
外字を132
- ▼み
- 未確定文字31,33
削除する31,33
制限文字数31,33
入力制限31,33
- 見る
イメージ表示の隠れている部分を48
- 明朝体74
- ▼も
- 文字
移動する45
削除する45
挿入する46
入力方法30
- 文字間
設定する105
プリントサンプル105
- 文字サイズ
変える67
自動調整50
- 文字高さ
初期値に戻す70
設定する68
プリントサンプル67
種類67
- 文字幅
初期値に戻す70
設定する68
プリントサンプル68
種類68
- 戻す
横書きに89
- 有効な書式
バーコードに140
- ▼よ
- 発音
入力する33
- 横書き
戻す89
- 余白
設定する105
プリントサンプル105
- 呼び出す
外字を131
熟語を127
ファイルを上書きして120
ファイルを連結して121
- 読み
絵文字の43
読みの長さ
変える38
- 読めない漢字
入力する39
- ▼ら
- ラベル長
制限69
ラベル長表示を消す
イメージ表示の48
ラベルの裏紙をはがす51
ラミネートテープ22
- ▼れ
- レセプタテープ22
レタリングスティック4,14
使う51
- 連結する
行を79
ブロックを83
- 連続して入力する
絵文字・記号を43
- 連続プリント110
初期値に戻す110
設定する110
- 連番プリント111
初期値に戻す112
設定する111
- ▼ろ
- ローマ字
インジケータ19,30
- ローマ字入力
切り替える30
- ▼わ
- 枠 (行書式)
インジケータ93
- 枠 (全体書式)
インジケータ95